

鈴鹿亀山地区
高齢者介護に関する調査結果報告書
〔在宅介護実態調査〕

令和5年3月
鈴鹿亀山地区広域連合

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	配布・回収数	1
4	報告書の見方(注意事項)	1
II	調査結果	2
1	調査対象者ご本人について	2
2	生活の場について	6
3	介護サービスへの希望などについて	17
4	ご本人の傷病と通院などについて	31
5	主な介護者の方について【介護者への質問】	47
6	主な介護者の方の就労について【介護者への質問】	66
7	ご本人の介護・療養生活について【介護者への質問】	72
8	地域における支援体制(地域包括ケア)について【介護者への質問】	100
	属性	106

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、令和6年度から実施する「第9期介護保険事業計画」の策定作業の中で、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の保健福祉サービスを充実させるための基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

2 調査の方法

- ①調査対象地域 鈴鹿亀山地区全域
- ②調査対象者 鈴鹿亀山地区広域にお住まいの介護保険による要介護認定(要介護1～5)または要支援認定(要支援1・2)を受けている在宅の方とその介護者の方
- ③調査期間 令和4年12月(調査基準日は令和4年11月15日)
- ④調査方法 調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

3 配布・回収数

有効配布数	回収数	回収率	白紙回答	有効回収数	有効回収率
2,000 件	1,013 件	50.7%	27 件	986 件	49.3%

4 報告書の見方(注意事項)

- ① グラフおよび表中のN数(number of case)は、「無回答」や「不明」を除く回答者数を表しています。
- ② 調査結果(グラフおよび表中)の比率は、その設問の回答者数(N数)を分母として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、端数処理のため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答形式(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問については、その設問の回答者数(N数)を分母として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ④ 令和元年度に実施した前回調査(第8期介護保険事業計画の策定にかかる調査)において同一の設問を行っている場合は、前回調査との比較を行っています。その際、前回調査については「第8期調査」と表示しています。
- ⑤ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- ⑥ 参考として代表的な設問に対しクロス集計分析を行っています。その際、回答数の少ない属性についてのコメントは控えている場合があります。
- ⑦ 地区別クロス集計については、日常生活圏域である『鈴鹿第1』、『鈴鹿第2』、『鈴鹿第3』、『鈴鹿第4』、『鈴鹿第5』、『鈴鹿第6』、『鈴鹿第7』、『鈴鹿第8』、『亀山第1』、『亀山第2』の10区分での集計を行っています。
- ⑧ 認知症自立度別クロス集計については、『軽度あるいは該当しない方』(自立、Ⅰ)、『認知症の方』(Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb、Ⅳ、M)の2区分での集計を行っています。

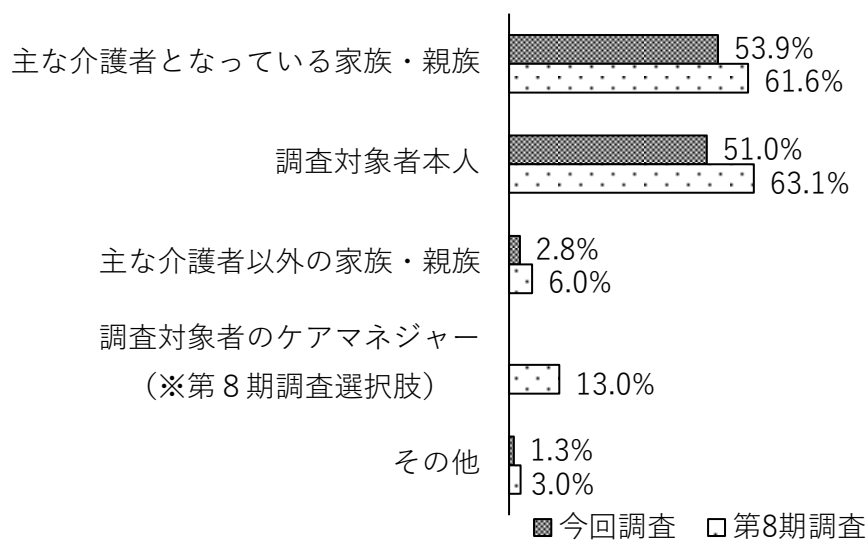
II 調査結果

1 調査対象者ご本人について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数選択可)

【N=934、537(第8期調査)】

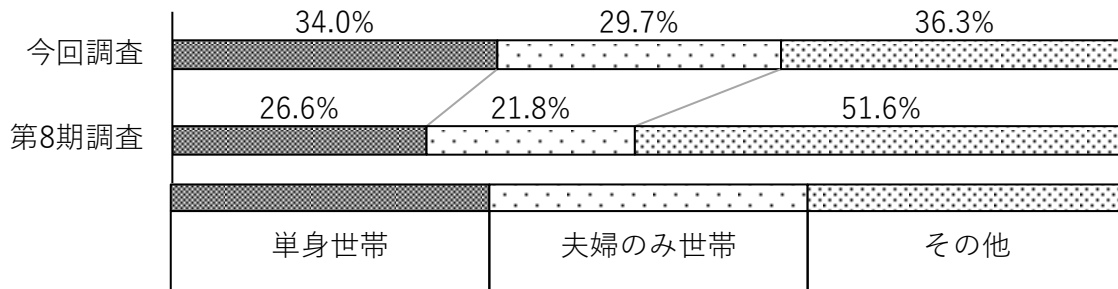
調査票の回答者については、「主な介護者となっている家族・親族」が53.9%、「調査対象者本人」が51.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.8%となっています。



問2 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）【N=854、564(第8期調査)】

世帯類型については、「その他」が36.3%、「単身世帯」が34.0%、「夫婦のみ世帯」が29.7%となっています。

第8期調査と比較すると、「その他」が15.3ポイント低下する一方、「夫婦のみ世帯」は7.9ポイント、「単身世帯」は7.4ポイント上昇しています。



日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第4』『鈴鹿第7』『亀山第2』では「単身世帯」が最も高く、特に『鈴鹿第7』では44.1%を占めています。

	合計	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他
全体	853	34.0	29.8	36.2
鈴鹿第1	74	23.0	40.5	36.5
鈴鹿第2	107	30.8	36.4	32.7
鈴鹿第3	77	35.1	26.0	39.0
鈴鹿第4	70	38.6	37.1	24.3
鈴鹿第5	103	32.0	28.2	39.8
鈴鹿第6	68	33.8	35.3	30.9
鈴鹿第7	93	44.1	19.4	36.6
鈴鹿第8	58	34.5	24.1	41.4
亀山第1	92	29.3	27.2	43.5
亀山第2	111	37.8	26.1	36.0

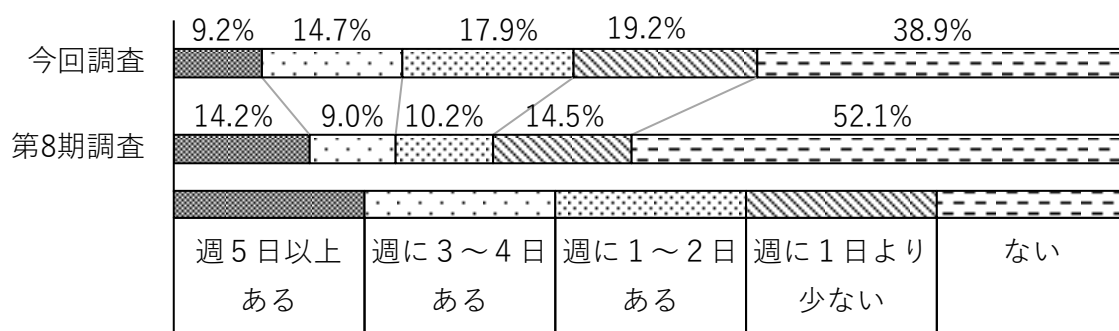
問2で「単身世帯」または「その他」と回答した方にお伺いします。

問2－② ご本人は、日中、一人になることがありますか。(1つを選択)

【N=552、401(第8期調査)】

日中一人になることがあるかどうかについては、「ない」が約4割(38.9%)を占めています。一方、「週5日以上ある」は9.2%となっています。

第8期調査と比較すると、「ない」が13.2ポイント、「週5日以上ある」が5.0ポイント低下する一方、「週に1～2日ある」は7.7ポイント、「週に3～4日ある」は5.7ポイント上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、いずれの要介護度でも「ない」が最も高くなっています。特に『要介護5』では64.0%と高くなっています。一方、「週5日以上ある」では『要支援1』が15.5%、『要支援2』が10.8%、『要介護1』が11.4%と、10%以上あります。

	合計	週5日以上ある	週に3～4日ある	週に1～2日ある	週に1日より少ない	ない
全体	548	9.3	14.6	17.9	19.2	39.1
要支援1	97	15.5	16.5	18.6	14.4	35.1
要支援2	111	10.8	24.3	14.4	18.0	32.4
要介護1	123	11.4	14.6	22.0	18.7	33.3
要介護2	83	7.2	10.8	21.7	24.1	36.1
要介護3	67	3.0	6.0	20.9	22.4	47.8
要介護4	42	2.4	7.1	9.5	21.4	59.5
要介護5	25	4.0	12.0	4.0	16.0	64.0

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、いずれの日常生活圏域でも「ない」が最も高くなっています。特に『鈴鹿第5』では54.4%と高くなっています。一方、「週5日以上ある」では『鈴鹿第1』が14.3%、『鈴鹿第2』が14.1%、『亀山第2』が11.6%と、10%以上あります。

	合 計	る 週 5 日 以 上 あ	あ 週 る に 3 〜 4 日	あ 週 る に 1 〜 2 日	少 週 な に い 1 日 よ り	な い
全体	551	9.3	14.7	18.0	19.2	38.8
鈴鹿第1	56	14.3	14.3	17.9	21.4	32.1
鈴鹿第2	71	14.1	12.7	9.9	25.4	38.0
鈴鹿第3	49	8.2	18.4	20.4	18.4	34.7
鈴鹿第4	42	7.1	19.0	21.4	21.4	31.0
鈴鹿第5	68	5.9	13.2	13.2	13.2	54.4
鈴鹿第6	44	6.8	9.1	20.5	22.7	40.9
鈴鹿第7	52	9.6	11.5	19.2	19.2	40.4
鈴鹿第8	37	2.7	13.5	24.3	16.2	43.2
亀山第1	63	7.9	17.5	20.6	14.3	39.7
亀山第2	69	11.6	17.4	18.8	20.3	31.9

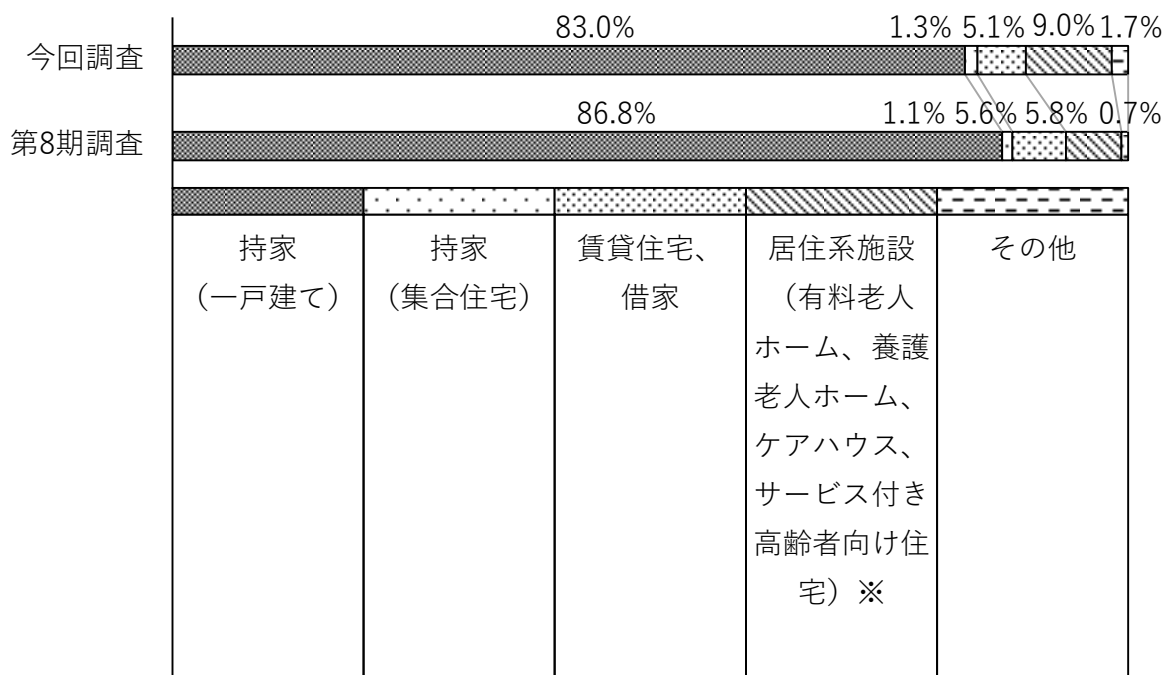
2 生活の場について

すべての方にお伺いします。

問3 お住まいは、次のうちどれですか。（1つを選択）【N=968、569(第8期調査)】

住まいについては、「持家（一戸建て）」が83.0%を占めています。「居住系施設」は9.0%、「賃貸住宅、借家」は5.1%、「持家（集合住宅）」は1.3%となっています。

第8期調査と比較すると、「持家（一戸建て）」が3.8ポイント低下する一方、「居住系施設」は3.2ポイント上昇しています。



※第8期調査選択肢：「居住系施設（有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅）」

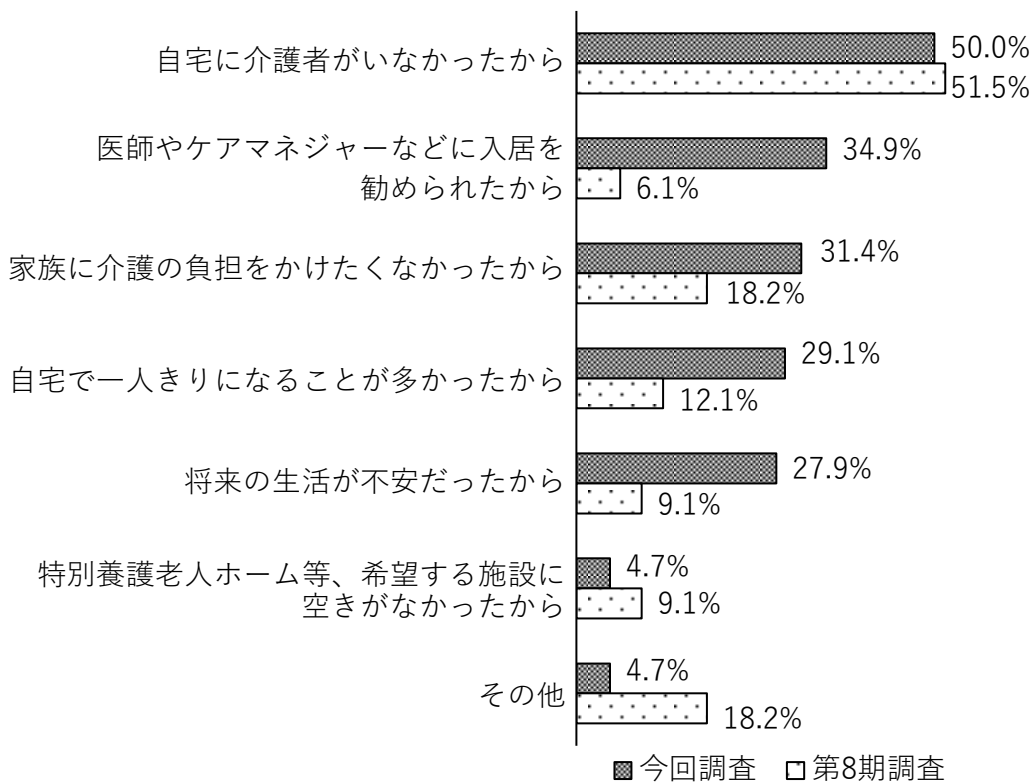
問3で「居住系施設」と回答した方にお伺いします。

問3－② 現在の居住系施設に入居した理由は何ですか。（複数選択可）

【N=86、33(第8期調査)】

現在の居住系施設に入居した理由については、「自宅に介護者がいなかったから」が50.0%と最も高く、次いで「医師やケアマネジャーなどに入居を勧められたから」(34.9%)、「家族に介護の負担をかけたくなかったから」(31.4%)、「自宅で一人きりになることが多かったから」(29.1%)と続いています。

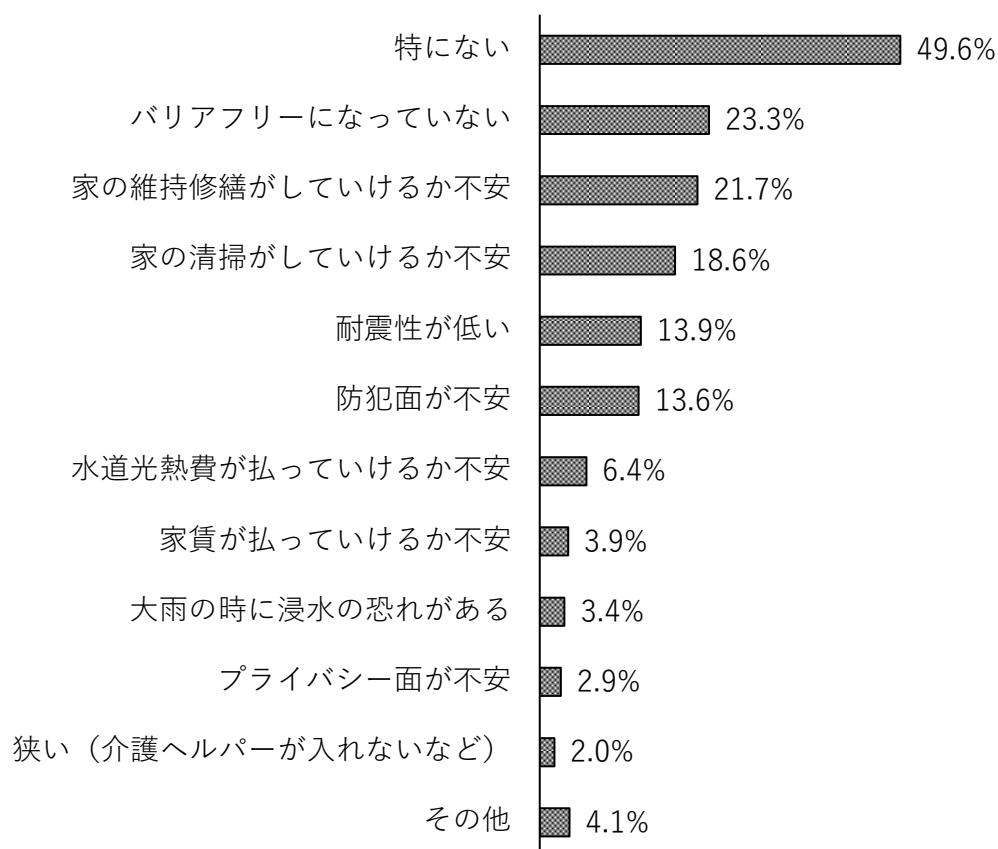
第8期調査と比較すると、「医師やケアマネジャーなどに入居を勧められたから」が28.8ポイント、「将来の生活が不安だったから」が18.8ポイント、「自宅で一人きりになることが多かったから」が17.0ポイント、「家族に介護の負担をかけたくなかったから」が13.2ポイント上昇しています。



再びすべての方にお伺いします。

問4 ご本人は、現在のお住まいに対し、今後に向けて不安がありますか。(複数選択可)【N=951】

現在の住まいに対する今後に向けての不安については、「特にない」が49.6%と最も高くなっています。不安に思うこととしては、「バリアフリーになっていない」が23.3%と最も高く、次いで「家の維持修繕がしていけるか不安」(21.7%)、「家の清掃がしていけるか不安」(18.6%)と続いています。



性・年齢別

性・年齢別にみると、男性と『75歳以上女性』では「特にない」が最も高くなっています。一方、『64歳未満女性』では「家の維持修繕がしていけるか不安」「家の清掃がしていけるか不安」「バリアフリーになっていない」が、『65～74歳女性』では「特にない」「家の維持修繕がしていけるか不安」が同率で高くなっています。

		合計	特にない	家の維持修繕がしていけるか不安	家の清掃がしていけるか不安	家の維持修繕がしていけるか不安	家の清掃がしていけるか不安	バリアフリーになっていない	狭い（介護ヘルパーが入れないなど）	プライバシー面が不安
男性	全体	327	50.5	4.3	6.7	20.8	16.2	22.3	1.5	2.4
	64歳未満	8	75.0	12.5	12.5	-	-	12.5	-	12.5
	65～74歳	61	37.7	11.5	18.0	31.1	14.8	27.9	3.3	3.3
	75～84歳	145	52.4	0.7	4.8	20.0	17.2	24.1	0.7	2.1
	85歳以上	113	53.1	4.4	2.7	17.7	16.8	17.7	1.8	1.8
女性	全体	623	49.3	3.7	6.3	22.0	19.7	23.9	2.2	3.2
	64歳未満	12	16.7	8.3	8.3	33.3	33.3	33.3	8.3	-
	65～74歳	59	32.2	8.5	18.6	32.2	25.4	28.8	6.8	6.8
	75～84歳	193	42.5	2.1	6.7	25.9	23.3	24.9	2.1	5.2
	85歳以上	359	56.8	3.6	3.9	17.8	16.4	22.3	1.4	1.7

		防犯面が不安	耐震性が低い	大雨の時に浸水の恐れがある	その他
男性	全体	9.8	15.3	2.8	3.7
	64歳未満	12.5	-	-	-
	65～74歳	6.6	14.8	3.3	4.9
	75～84歳	11.7	14.5	1.4	3.4
	85歳以上	8.8	17.7	4.4	3.5
女性	全体	15.4	13.2	3.7	4.3
	64歳未満	8.3	-	-	16.7
	65～74歳	15.3	16.9	5.1	5.1
	75～84歳	18.7	15.0	4.7	4.7
	85歳以上	13.9	12.0	3.1	3.6

世帯類型別

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも「特にない」が最も高くなっています。不安に思うこととしては、『単身世帯』では「家の維持修繕がしていけるか不安」が、『夫婦のみ世帯』『その他』では「バリアフリーになっていない」が高くなっています。

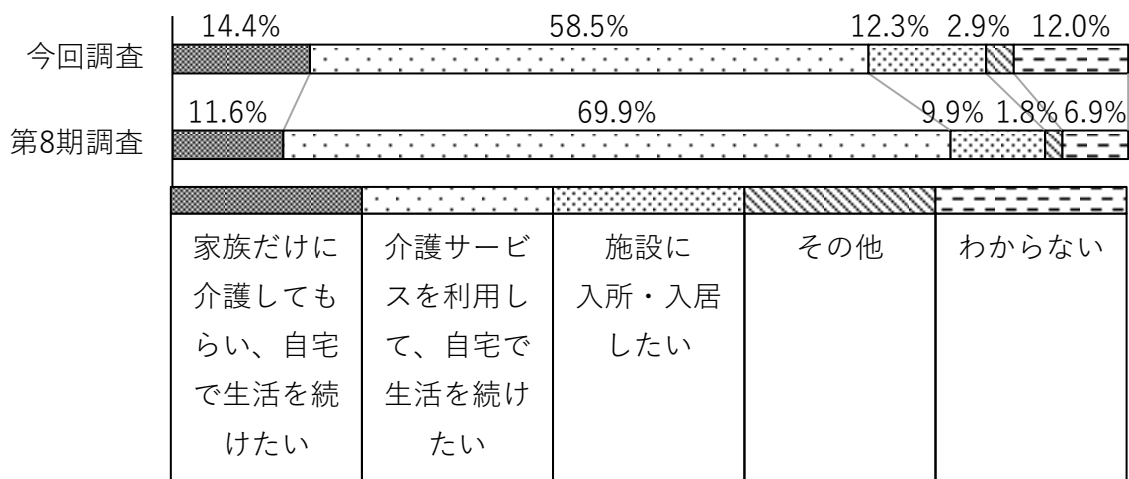
	合計	特にない	家賃が払っていない不安	水道光熱費が払っていない不安	家の維持修繕がしていけるか不安	家の清掃がしていけるか不安	バリアフリーになっていない不安	狭い（介護ヘルパーが入れないなど）不安	プライバシー面が不安
全体	838	48.7	4.2	6.8	21.8	18.7	23.9	2.1	3.1
単身世帯	279	40.5	6.1	9.0	26.5	25.4	24.4	1.8	4.3
夫婦のみ世帯	252	46.0	4.0	7.5	24.6	21.0	26.2	2.4	0.4
その他	307	58.3	2.6	4.2	15.3	10.7	21.5	2.3	4.2

	防犯面が不安	耐震性が低い	大雨の時に浸水の恐れがある	その他
全体	14.0	14.7	3.6	4.4
単身世帯	22.2	15.4	7.2	3.2
夫婦のみ世帯	10.7	17.9	1.2	5.2
その他	9.1	11.4	2.3	4.9

問5 ご本人は、これからの生活をどこでどのように送りたいとお考えですか。（1つを選択）
【N=944、568(第8期調査)】

これからの生活をどこでどのように送りたいかについては、「介護サービスを利用して、自宅で生活を続けたい」が58.5%を占め、「家族だけに介護してもらい、自宅で生活を続けたい」は14.4%、「施設に入所・入居したい」は12.3%となっています。

第8期調査と比較すると、「介護サービスを利用して、自宅で生活を続けたい」が11.4ポイント低下する一方、「家族だけに介護してもらい、自宅で生活を続けたい」は2.8ポイント、「施設に入所・入居したい」は2.4ポイント上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、いずれの要介護度でも「介護サービスを利用して、自宅で生活を続けた
い」が最も高く、『要支援2』『要介護1』『要介護2』では60%以上となっています。一方、『要
支援1』『要介護3』では「家族だけに介護してもらい、自宅で生活を続けたい」(17.3%、17.1%)
が、『要介護4』では「施設に入所・入居したい」(15.0%)が他の要介護度に比べて高くなってい
ます。

	合計	をもちたい 家族だけに 介護して 生活	継続したい 介護サ ービスを 利用	施設に入 所・入居 し	その他	わから ない
全体	937	14.3	58.7	12.3	2.8	12.0
要支援1	191	17.3	53.9	12.0	2.6	14.1
要支援2	188	14.9	60.1	14.4	1.1	9.6
要介護1	214	11.2	65.9	11.7	2.3	8.9
要介護2	138	14.5	60.9	13.0	3.6	8.0
要介護3	105	17.1	50.5	9.5	5.7	17.1
要介護4	60	15.0	55.0	15.0	1.7	13.3
要介護5	41	4.9	56.1	7.3	4.9	26.8

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも「介護サービスを利用して、自宅で生活を続けた
い」が最も高く、『夫婦のみ世帯』『その他』では60%以上となっています。一方、『単身世帯』で
は「施設に入所・入居したい」が20.0%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	をもちたい 家族だけに 介護して 生活	継続したい 介護サ ービスを 利用	施設に入 所・入居 し	その他	わから ない
全体	832	14.3	58.2	13.1	2.5	11.9
単身世帯	280	10.0	53.2	20.0	3.2	13.6
夫婦のみ世帯	245	18.8	60.8	10.2	1.6	8.6
その他	307	14.7	60.6	9.1	2.6	13.0

日常生活圏域別クロス

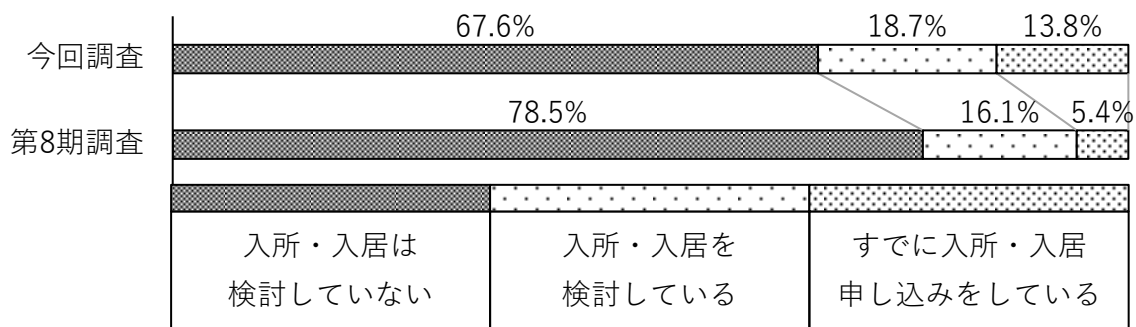
日常生活圏域別にみると、いずれの日常生活圏域でも「介護サービスを利用して、自宅で生活を続けたい」が最も高く、『鈴鹿第1』『鈴鹿第6』『亀山第2』では60%以上となっています。一方、『鈴鹿第2』では「家族だけに介護してもらい、自宅で生活を続けたい」が17.6%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。また、『鈴鹿第3』『鈴鹿第4』『鈴鹿第6』では「施設に入所・入居したい」が15%を超えており、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

	合計	をもちたい 家族だけに 介護してもらい、 自宅で生活して	続けたい 介護サービス を利用して	施設に入所・ 入居したい	その他	わからない
全体	943	14.4	58.5	12.3	2.8	12.0
鈴鹿第1	87	10.3	67.8	9.2	4.6	8.0
鈴鹿第2	119	17.6	59.7	12.6	2.5	7.6
鈴鹿第3	89	10.1	53.9	15.7	4.5	15.7
鈴鹿第4	78	15.4	47.4	15.4	5.1	16.7
鈴鹿第5	108	14.8	53.7	11.1	3.7	16.7
鈴鹿第6	73	11.0	61.6	15.1	2.7	9.6
鈴鹿第7	104	16.3	58.7	13.5	1.9	9.6
鈴鹿第8	60	16.7	55.0	10.0	1.7	16.7
亀山第1	104	16.3	58.7	10.6	1.0	13.5
亀山第2	121	14.0	65.3	10.7	0.8	9.1

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）
【N=894、521(第8期調査)】

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が67.6%を占め、「入所・入居を検討している」は18.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は13.8%となっています。

第8期調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」が10.9ポイント低下する一方、「すでに入所・入居申し込みをしている」は8.4ポイント上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要支援1』『要支援2』では「入所・入居は検討していない」が80%前後となっています。一方、『要介護2』『要介護3』では「入所・入居を検討している」が20%を超えています。また、『要介護4』『要介護5』では「すでに入所・入居申し込みをしている」が30%前後となっています。

	合計	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている
全体	888	67.8	18.5	13.7
要支援1	170	80.0	12.9	7.1
要支援2	176	77.8	17.6	4.5
要介護1	203	67.0	18.7	14.3
要介護2	138	59.4	23.9	16.7
要介護3	101	60.4	20.8	18.8
要介護4	61	50.8	19.7	29.5
要介護5	39	48.7	17.9	33.3

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』では「入所・入居を検討している」が21.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が23.0%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合 計	て入 い所 ない 入 居 は 検 討 し	て入 い所 る 入 居 を 検 討 し	しす 込で みに を入 所し て入 居 申
全体	789	68.2	18.9	12.9
単身世帯	269	55.8	21.2	23.0
夫婦のみ世帯	230	75.2	17.8	7.0
その他	290	74.1	17.6	8.3

介護者別クロス

介護者別にみると、『兄弟・姉妹』では「入所・入居を検討している」が43.8%と高くなっています。また、『孫』では「すでに入所・入居申し込みをしている」が40.0%と、他の介護者に比べて高くなっています。

	合 計	て入 い所 ない 入 居 は 検 討 し	て入 い所 る 入 居 を 検 討 し	しす 込で みに を入 所し て入 居 申
全体	721	68.4	20.2	11.4
配偶者	254	79.5	13.4	7.1
子	329	63.5	23.1	13.4
子の配偶者	81	69.1	25.9	4.9
孫	5	40.0	20.0	40.0
兄弟・姉妹	16	25.0	43.8	31.3
その他	36	55.6	19.4	25.0

利用状況別クロス

介護保険サービスの利用状況別にみると、『利用している』では「入所・入居を検討している」が20.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が15.3%と、『利用していない』よりも高くなっています。

	合 計	て入 い所 ない 入 居 は 検 討 し	て入 い所 る 入 居 を 検 討 し	しす 込で みに を入 所し て入 居 申
全体	875	67.4	19.0	13.6
利用している	681	63.9	20.9	15.3
利用していない	194	79.9	12.4	7.7

認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『認知症の方』では「入所・入居を検討している」が21.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が22.1%と、『軽度あるいは該当しない方』よりも高くなっています。

	合 計	て入 い所 な・ い入 居は 検討 し	て入 いる ・ 入 居を 検討 し	しす 込で みに を入 所・ 入居 申し
全体	821	67.6	18.3	14.1
軽度あるいは 該当しない方	382	80.1	14.9	5.0
認知症の方	439	56.7	21.2	22.1

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第3』では「入所・入居を検討している」が31.3%、『鈴鹿第4』では「すでに入所・入居申し込みをしている」が23.7%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

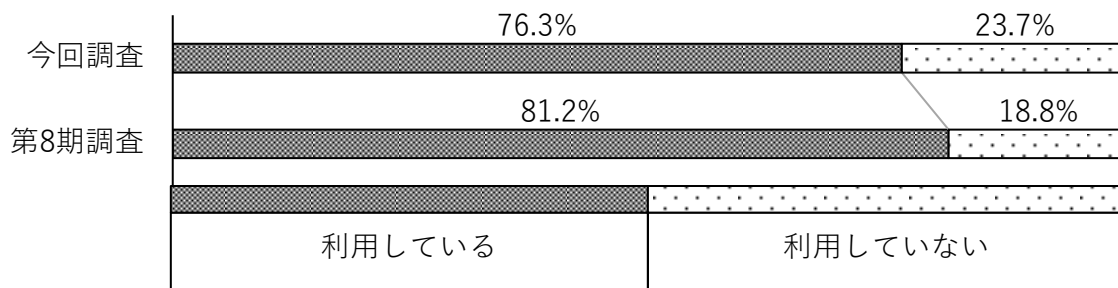
	合 計	て入 い所 な・ い入 居は 検討 し	て入 いる ・ 入 居を 検討 し	しす 込で みに を入 所・ 入居 申し
全体	893	67.6	18.6	13.8
鈴鹿第1	81	71.6	18.5	9.9
鈴鹿第2	109	69.7	19.3	11.0
鈴鹿第3	83	54.2	31.3	14.5
鈴鹿第4	76	63.2	13.2	23.7
鈴鹿第5	108	70.4	12.0	17.6
鈴鹿第6	70	65.7	17.1	17.1
鈴鹿第7	96	70.8	19.8	9.4
鈴鹿第8	60	70.0	15.0	15.0
亀山第1	100	74.0	11.0	15.0
亀山第2	110	64.5	27.3	8.2

3 介護サービスへの希望などについて

すべての方にお伺いします。

問7 現在、ご本人は住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか。
(1つを選択)【N=947、564(第8期調査)】

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が76.3%を占め、「利用していない」は23.7%となっています。
第8期調査と比較すると、「利用している」が4.9ポイント低下しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護2』『要介護4』では90%以上の利用率となっています。

	合計	利用している	利用していない
全体	940	76.5	23.5
要支援1	186	61.8	38.2
要支援2	186	71.5	28.5
要介護1	212	74.5	25.5
要介護2	142	93.0	7.0
要介護3	108	80.6	19.4
要介護4	63	90.5	9.5
要介護5	43	86.0	14.0

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』では利用率は79.9%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	利用している	利用していない
全体	830	77.8	22.2
単身世帯	283	79.9	20.1
夫婦のみ世帯	242	75.6	24.4
その他	305	77.7	22.3

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第4』では利用率が81.6%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています

	合 計	い る 利 用 し て	い な い 利 用 し て
全体	946	76.4	23.6
鈴鹿第1	88	72.7	27.3
鈴鹿第2	118	73.7	26.3
鈴鹿第3	91	75.8	24.2
鈴鹿第4	76	81.6	18.4
鈴鹿第5	113	79.6	20.4
鈴鹿第6	76	78.9	21.1
鈴鹿第7	99	71.7	28.3
鈴鹿第8	61	78.7	21.3
亀山第1	105	75.2	24.8
亀山第2	119	78.2	21.8

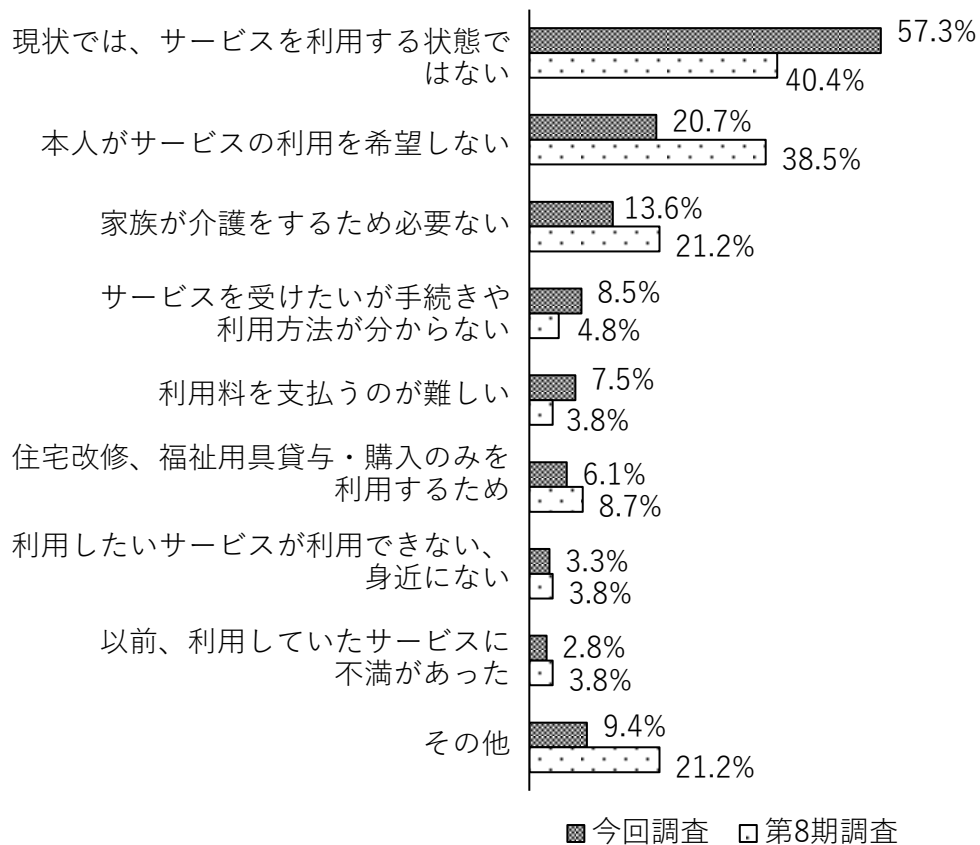
問7で「利用していない」と回答した方にお伺いします。

問7－② 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

【N=213、104(第8期調査)】

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用する状態ではない」が57.3%と最も高く、次いで「本人がサービスの利用を希望しない」(20.7%)、「家族が介護をするため必要ない」(13.6%)と続いています。

第8期調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が16.9ポイント上昇する一方、「本人がサービスの利用を希望しない」が17.8ポイント低下しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護5』では「その他」が、他の要介護度では「現状では、サービスを利用する状態ではない」が最も高くなっています。また、『要介護3』では「家族が介護をするため必要ない」が30.0%、『要介護2』では「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が37.5%と、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	現状では、サービスを利用する状態ではない	本人がサービスの利用を希望しない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたが、利用しなくて満い	利用料を支払うのが難しい	利用したいが、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のため	サービスが手続から受けられない	その他
全体	210	57.1	20.5	13.8	2.4	6.7	3.3	6.2	8.6	9.5
要支援1	67	62.7	16.4	11.9	4.5	9.0	1.5	4.5	9.0	11.9
要支援2	52	57.7	17.3	13.5	1.9	7.7	3.8	7.7	9.6	5.8
要介護1	52	61.5	28.8	13.5	1.9	3.8	1.9	5.8	7.7	3.8
要介護2	8	50.0	25.0	-	-	12.5	12.5	37.5	-	-
要介護3	20	40.0	20.0	30.0	-	5.0	5.0	-	10.0	15.0
要介護4	5	80.0	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0
要介護5	6	-	33.3	16.7	-	-	16.7	-	-	50.0

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも「現状では、サービスを利用する状態ではない」が最も高くなっています。また、『夫婦のみ世帯』では「本人がサービスの利用を希望しない」が27.8%、「家族が介護をするため必要ない」が18.5%、『その他』では「利用料を支払うのが難しい」が12.1%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が10.6%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	現状では、サービスを利用する状態ではない	本人がサービスの利用を希望しない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたが、利用しなくて満い	利用料を支払うのが難しい	利用したいが、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のため	サービスが手続から受けられない	その他
全体	176	56.3	22.7	12.5	2.8	8.5	3.4	4.5	7.4	11.4
単身世帯	56	50.0	16.1	7.1	3.6	8.9	1.8	-	8.9	19.6
夫婦のみ世帯	54	57.4	27.8	18.5	3.7	3.7	9.3	1.9	5.6	9.3
その他	66	60.6	24.2	12.1	1.5	12.1	-	10.6	7.6	6.1

日常生活圏域別クロス

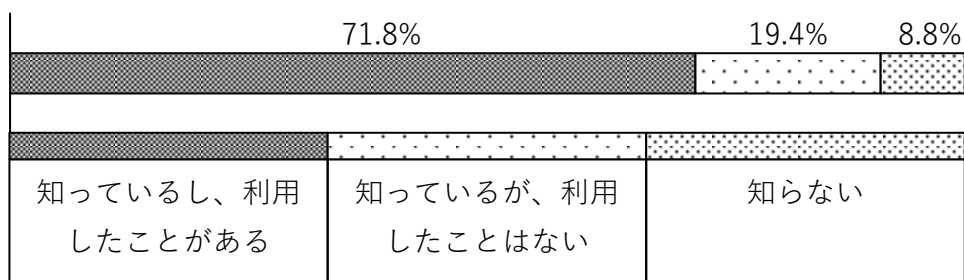
日常生活圏域別にみると、いずれの日常生活圏域でも「現状では、サービスを利用する状態ではない」が最も高くなっています。『鈴鹿第7』では「本人がサービスの利用を希望しない」が35.7%、「家族が介護をするため必要ない」が25.0%、『鈴鹿第6』では「以前、利用していたサービスに不満があった」が12.5%、『亀山第1』では「利用料を支払うのが難しい」が13.0%、『鈴鹿第1』では「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が13.0%、『鈴鹿第4』では「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が15.4%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

	合計	現状では、サービスを利用しない状態	本人がサービス希望しない	家族が介護を必要とする	以前、利用していたサービスに不満	利用料を支払うのが難しい	利用したいが身近にないサービス	利用・購入のための福祉用具貸与・購入	サービスの手続きや受け取りが難しい	その他
全体	212	57.1	20.8	13.7	2.8	7.1	3.3	6.1	8.5	9.4
鈴鹿第1	23	56.5	26.1	13.0	4.3	4.3	4.3	13.0	4.3	-
鈴鹿第2	30	53.3	13.3	23.3	-	6.7	-	3.3	10.0	3.3
鈴鹿第3	21	66.7	19.0	-	4.8	9.5	4.8	-	4.8	9.5
鈴鹿第4	13	53.8	-	7.7	-	7.7	-	-	15.4	23.1
鈴鹿第5	22	72.7	13.6	9.1	-	9.1	-	9.1	9.1	18.2
鈴鹿第6	16	56.3	25.0	12.5	12.5	6.3	6.3	-	12.5	12.5
鈴鹿第7	28	46.4	35.7	25.0	-	10.7	7.1	10.7	14.3	10.7
鈴鹿第8	11	54.5	18.2	18.2	-	-	9.1	9.1	-	9.1
亀山第1	23	56.5	17.4	4.3	4.3	13.0	-	4.3	-	13.0
亀山第2	25	56.0	28.0	16.0	4.0	-	4.0	8.0	12.0	4.0

再びすべての方にお伺いします。

問8 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス（訪問型サービス、通所型サービス）とは、要支援の方や基本チェックリストで対象者になった方に対するサービスです。あなたは、このサービスを利用したことがありますか。（1つを選択）【N=948】

介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの利用状況については、「知っているし、利用したことがある」が71.8%を占め、「知っているが、利用したことはない」は19.4%となっています。一方、「知らない」は8.8%となっています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護2』では「知っているし、利用したことがある」が81.1%と、他の要介護度に比べて高くなっています。一方、「知らない」は『要介護1』『要介護3』『要介護5』では10%を超えています。

	合計	知っているし、利用したことがあるが、	知っているが、利用したことはない	知らない
全体	941	71.8	19.3	8.8
要支援1	186	66.1	27.4	6.5
要支援2	187	69.5	23.5	7.0
要介護1	211	68.2	19.4	12.3
要介護2	143	81.1	12.6	6.3
要介護3	108	74.1	14.8	11.1
要介護4	65	78.5	15.4	6.2
要介護5	41	78.0	4.9	17.1

日常生活圏域別クロス

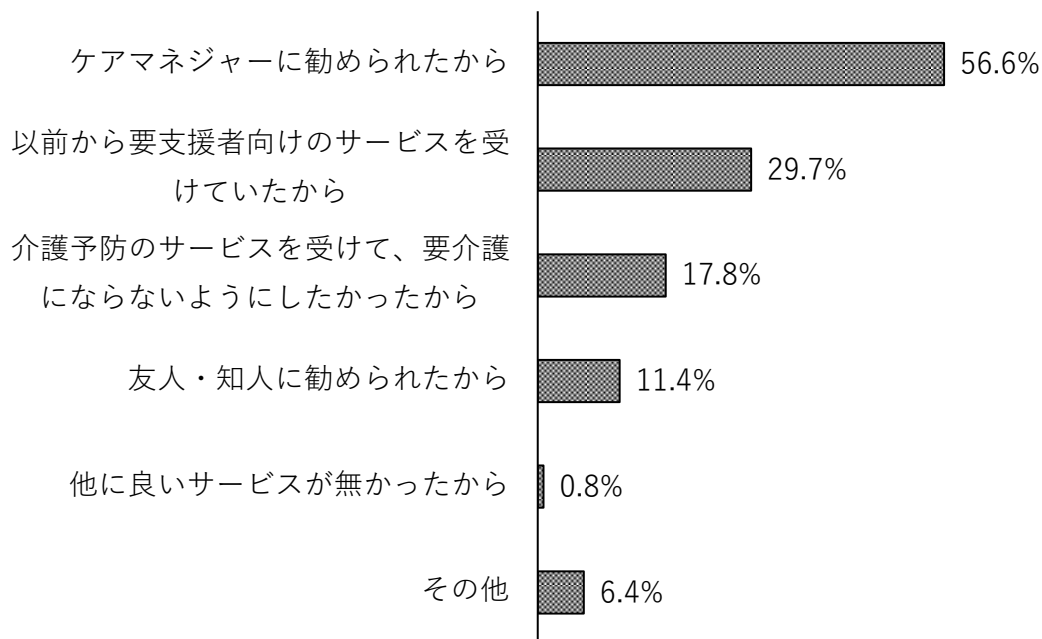
日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第4』では「知っているし、利用したことがある」が82.9%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。一方、「知らない」は『鈴鹿第1』『鈴鹿第7』『亀山第1』では10%を超えています。

	合 計	あ る 利 用 し て い る こ と が、	な い 利 用 し て い る こ と が、	知 ら な い
全体	947	71.9	19.3	8.8
鈴鹿第1	88	65.9	23.9	10.2
鈴鹿第2	116	70.7	23.3	6.0
鈴鹿第3	90	72.2	18.9	8.9
鈴鹿第4	76	82.9	11.8	5.3
鈴鹿第5	113	79.6	14.2	6.2
鈴鹿第6	74	73.0	17.6	9.5
鈴鹿第7	103	70.9	17.5	11.7
鈴鹿第8	62	72.6	17.7	9.7
亀山第1	104	69.2	18.3	12.5
亀山第2	121	65.3	26.4	8.3

問8で「知っているし、利用したことがある」と回答した方にお伺いします。

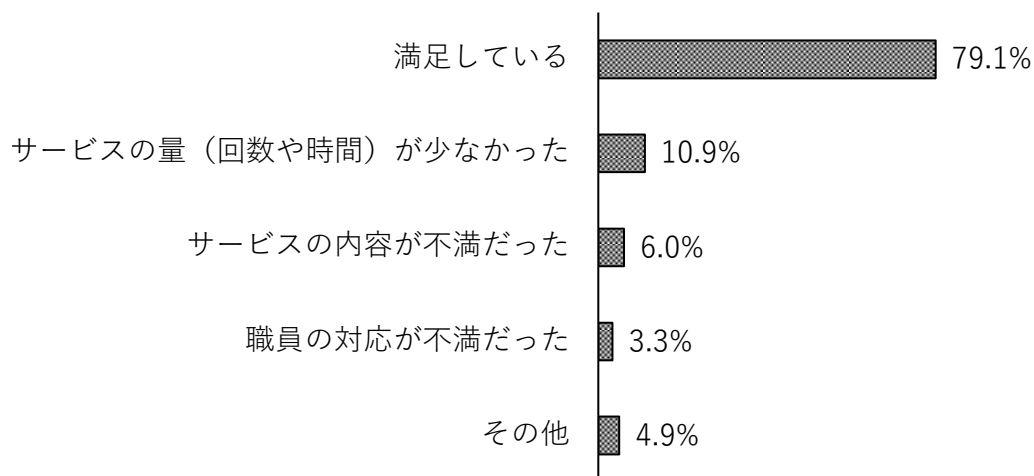
問8－② 利用しようと思ったきっかけは何ですか。（複数選択可）【N=640】

サービスを利用しようと思ったきっかけについては、「ケアマネジャーに勧められたから」が56.6%と最も高く、次いで「以前から要支援者向けのサービスを受けていたから」(29.7%)、「介護予防のサービスを受けて、要介護にならないようにしたかったから」(17.8%)と続いています。



問8－③ 利用してみて、いかがでしたか。（複数選択可）【N=631】

サービスを利用した感想については、「満足している」が79.1%と高くなっています。「サービスの量（回数や時間）が少なかった」は10.9%、「サービスの内容が不満だった」は6.0%、「職員の対応が不満だった」は3.3%となっています。

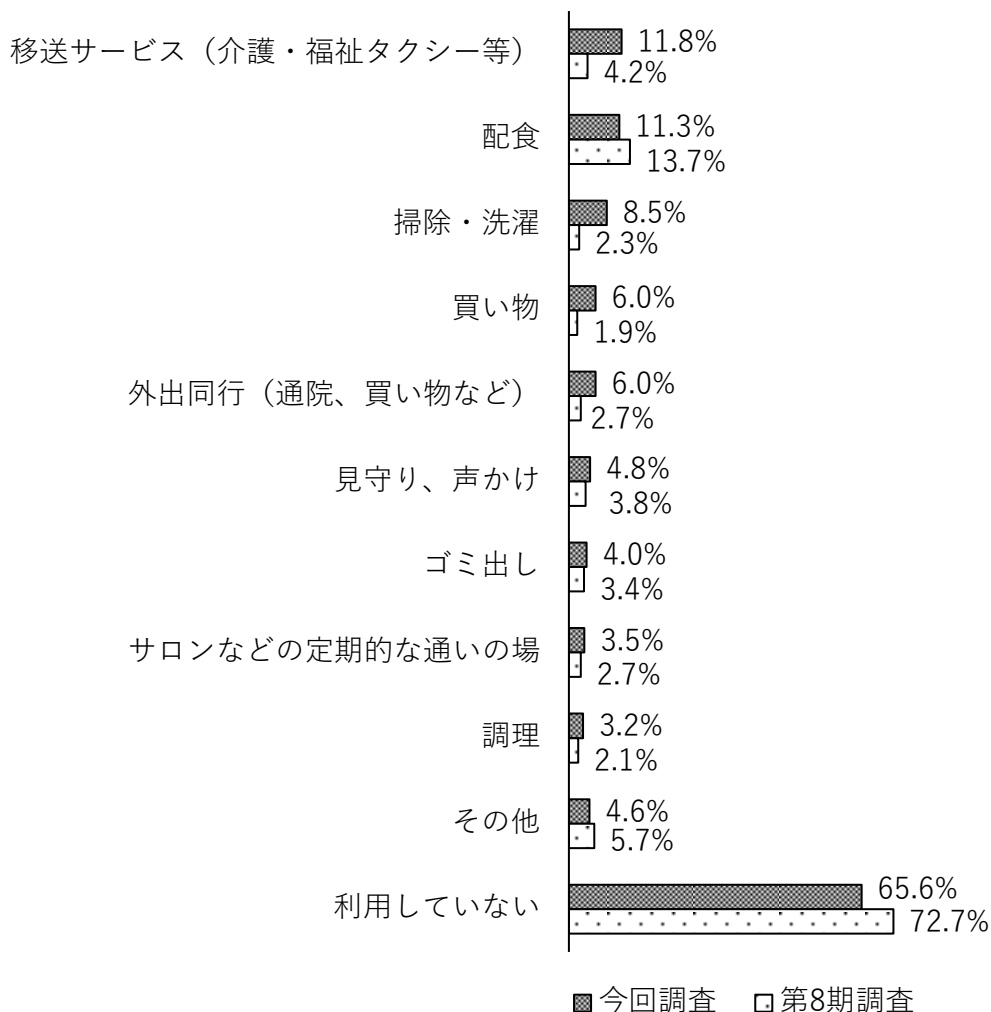


再びすべての方にお伺いします。

問9 ご本人が現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）【N=847、527(第8期調査)】

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」が65.6%と高くなっています。利用している支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.8%、「配食」が11.3%ありますが、他はいずれも10%未満と低くなっています。

第8期調査と比較すると、「利用していない」が7.1ポイント、「配食」が2.4ポイント低下する一方、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は7.6ポイント、「掃除・洗濯」は6.2ポイント上昇するなど、他の支援・サービスはいずれも上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護5』では「配食」「調理」「買い物」「外出同行」「見守り、声かけ」などの利用が他の要介護度に比べて高くなっています。また、『要介護4』では「移送サービス」の利用が23.6%と、他の要介護度に比べて高くなっています。『要支援2』では「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「サロンなどの定期的な通いの場」の利用が他の要介護度に比べて高くなっています。

	合 計	配 食	調 理	掃 除 ・ 洗 濯	買 い 物	ゴ ミ 出 し	外 出 同 行 （ 院、 買 い 物 な ど ）	移 送 サ ー ビ ス （ 介 護 ・ 福 祉 タ ク シ ー 等 ）	見 守 り、 声 かけ	サ ロ ン な どの 定 期 的 な 通 い の 場	そ の 他	利 用 し て い な い
全体	841	11.3	3.2	8.4	5.9	3.9	6.1	11.9	4.9	3.6	4.6	65.6
要支援 1	163	9.8	2.5	6.7	6.1	2.5	5.5	8.6	3.7	3.1	6.7	66.9
要支援 2	166	9.0	5.4	12.0	7.8	6.0	7.2	11.4	6.6	6.0	2.4	61.4
要介護 1	206	12.6	1.0	5.8	6.8	3.9	5.3	8.3	3.9	2.9	6.3	66.0
要介護 2	121	12.4	4.1	9.9	5.8	5.0	8.3	15.7	4.1	2.5	5.0	65.3
要介護 3	96	9.4	3.1	9.4	1.0	3.1	5.2	13.5	5.2	4.2	3.1	72.9
要介護 4	55	14.5	1.8	7.3	1.8	-	1.8	23.6	1.8	1.8	-	67.3
要介護 5	34	17.6	8.8	8.8	11.8	5.9	8.8	14.7	14.7	2.9	5.9	55.9

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』ではいずれの支援・サービスの利用も他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合 計	配 食	調 理	掃 除 ・ 洗 濯	買 い 物	ゴ ミ 出 し	外 出 同 行（通 院、買 い 物 な ど）	移 送 サ ー ビ ス タ（介 護 ・ 福 祉 タ ク シ ー 等）	見 守 り、 声 か け	サ ロ ン な どの 定 期的 な 通 い の 場	そ の 他	利 用 し て い な い
全体	754	11.5	3.2	8.8	6.2	4.1	6.1	11.5	4.8	3.3	4.8	65.9
単身世帯	257	24.1	6.2	16.7	11.3	6.6	10.9	14.0	8.2	4.7	5.4	47.1
夫婦のみ世帯	216	6.5	2.3	5.6	6.0	4.6	5.6	11.6	5.1	2.8	4.6	70.4
その他	281	3.9	1.1	3.9	1.8	1.4	2.1	9.3	1.4	2.5	4.3	79.7

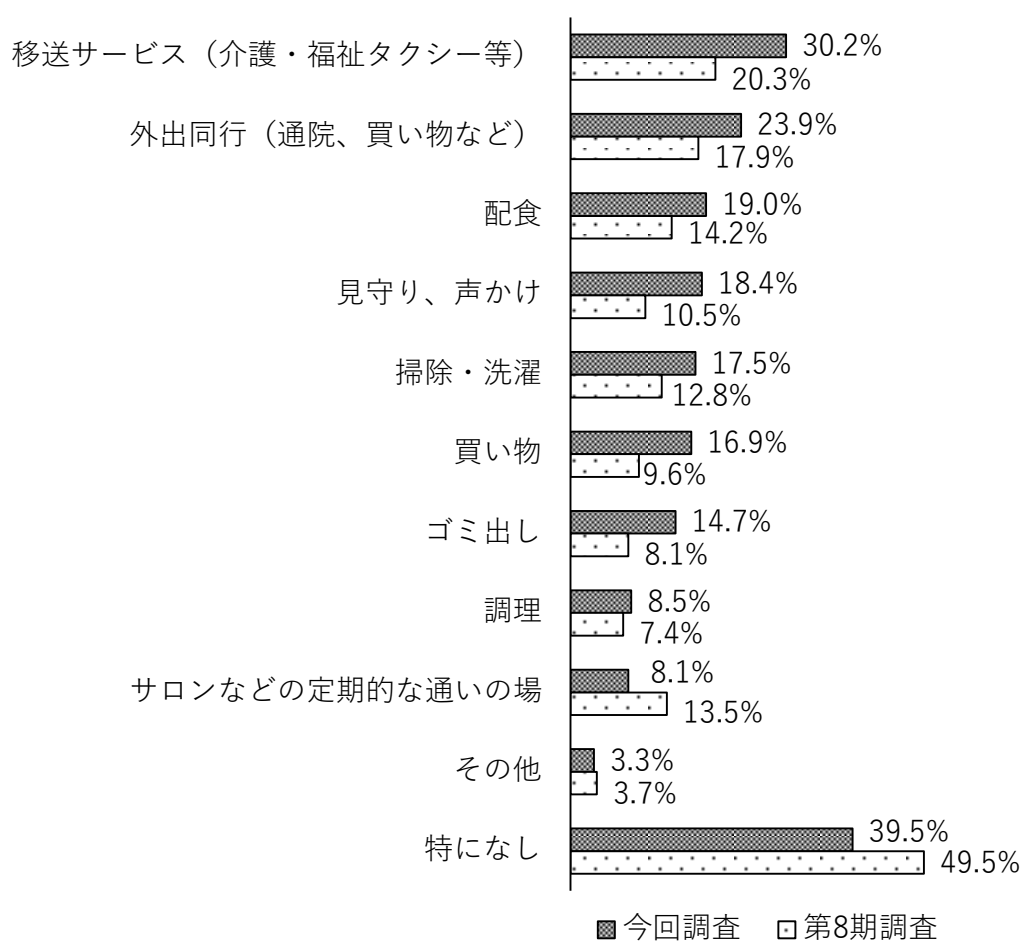
日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、いずれの日常生活圏域でも「利用していない」が最も高く、特に『鈴鹿第5』では78.4%と高くなっています。また、『鈴鹿第4』では「配食」「調理」「買い物」「外出同行」「見守り、声かけ」の利用が、『鈴鹿第6』では「掃除・洗濯」「移送サービス」「サロンなどの定期的な通いの場」の利用が、『亀山第2』では「ゴミ出し」の利用が他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物	ゴミ出し	（外、 院、 買、 同行、 物、 な、 通 ど）	ク（移 シ介 ー護 等サ ）ー 福ビ 祉ス タ	見 守 り、 声 か け	期サ 的ロ なン 通の いの 場定	そ の 他	利 用 し て い な い
全体	846	11.3	3.2	8.5	6.0	4.0	6.0	11.8	4.8	3.5	4.6	65.6
鈴鹿第1	77	10.4	3.9	6.5	6.5	2.6	3.9	10.4	3.9	7.8	5.2	70.1
鈴鹿第2	106	4.7	0.9	7.5	4.7	2.8	3.8	10.4	0.9	-	3.8	72.6
鈴鹿第3	80	10.0	1.3	6.3	6.3	1.3	1.3	11.3	2.5	2.5	3.8	71.3
鈴鹿第4	66	19.7	7.6	9.1	12.1	6.1	13.6	12.1	12.1	4.5	4.5	53.0
鈴鹿第5	102	5.9	2.9	6.9	5.9	2.9	4.9	9.8	3.9	1.0	3.9	78.4
鈴鹿第6	68	10.3	4.4	16.2	7.4	7.4	8.8	19.1	4.4	8.8	4.4	55.9
鈴鹿第7	94	18.1	1.1	10.6	5.3	2.1	8.5	9.6	8.5	2.1	3.2	57.4
鈴鹿第8	59	10.2	5.1	10.2	3.4	3.4	8.5	15.3	10.2	3.4	8.5	61.0
亀山第1	90	11.1	2.2	6.7	3.3	4.4	2.2	14.4	4.4	-	4.4	71.1
亀山第2	104	15.4	4.8	7.7	6.7	7.7	7.7	9.6	1.9	7.7	5.8	57.7

問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）
【N=851、541(第8期調査)】

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が39.5%と最も高くなっています。必要と感じる支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(30.2%)、「外出同行（通院、買い物など）」(23.9%)、「配食」(19.0%)などが挙がっています。
第8期調査と比較すると、「特になし」が10.0ポイント、「サロンなどの定期的な通いの場」が5.4ポイント低下する一方、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は9.9ポイント、「見守り、声かけ」は7.9ポイント、「買い物」は7.3ポイント上昇するなど、他の支援・サービスはいずれも上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要支援2』『要介護5』では「移送サービス」が、他の要介護度では「特になし」が最も高くなっています。また、『要介護2』では「外出同行」が32.2%と、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物	ゴミ出し	（） 院、外出同行 買い物へな通	ク（ヘ） シ（介） （護サ） 等ー） （福） （祉） （ス） （タ）	見守り、 声かけ	期的な 通いの 場定	その他	特になし
全体	844	19.0	8.5	17.5	16.8	14.7	23.8	30.3	18.4	8.2	3.3	39.6
要支援1	162	17.9	9.3	19.8	17.3	16.7	24.1	30.2	16.0	7.4	2.5	35.8
要支援2	170	21.2	10.6	21.8	22.4	17.1	29.4	35.9	18.2	12.4	1.2	30.0
要介護1	206	22.3	4.9	15.0	14.6	12.1	18.0	25.7	21.8	7.8	2.9	42.2
要介護2	121	18.2	13.2	21.5	20.7	19.0	32.2	30.6	19.8	8.3	6.6	37.2
要介護3	96	13.5	7.3	9.4	10.4	8.3	19.8	24.0	13.5	5.2	5.2	54.2
要介護4	55	18.2	3.6	14.5	12.7	14.5	16.4	32.7	14.5	3.6	1.8	49.1
要介護5	34	11.8	11.8	14.7	11.8	11.8	23.5	44.1	23.5	8.8	5.9	41.2

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』では「外出同行」が、他の世帯類型では「特になし」が最も高くなっています。また、『夫婦のみ世帯』では「移送サービス」が35.0%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。他の支援・サービスはいずれも『単身世帯』で高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物	ゴミ出し	（） 院、外出同行 買い物へな通	ク（ヘ） シ（介） （護サ） 等ー） （福） （祉） （ス） （タ）	見守り、 声かけ	期的な 通いの 場定	その他	特になし
全体	752	19.1	8.0	17.7	17.7	15.7	24.9	30.5	19.7	7.8	3.5	39.2
単身世帯	259	27.8	12.4	28.6	29.0	25.5	34.4	30.5	27.8	10.4	4.2	26.6
夫婦のみ世帯	217	14.3	6.5	16.1	16.6	15.2	22.6	35.0	17.1	7.4	3.2	37.8
その他	276	14.9	5.1	8.7	8.0	6.9	17.8	26.8	14.1	5.8	2.9	52.2

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第6』『鈴鹿第7』『亀山第2』では「移送サービス」が、他の日常生活圏域では「特になし」が最も高くなっています。また、『鈴鹿第7』では「外出同行」が30.9%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

	合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物	ゴミ出し	（外、院、買、い、物、な、通、ど）	（移、送、サ、ー、ビ、ス、タ、ク、シ、ー、等）	見守り、声かけ	期、サ、的、な、通、い、の、場、定	その他	特になし
全体	850	18.9	8.5	17.5	16.8	14.6	23.8	30.2	18.4	8.1	3.3	39.5
鈴鹿第1	74	18.9	8.1	20.3	12.2	12.2	21.6	23.0	20.3	10.8	-	45.9
鈴鹿第2	101	14.9	5.9	12.9	10.9	13.9	18.8	24.8	21.8	6.9	2.0	46.5
鈴鹿第3	83	18.1	6.0	13.3	14.5	10.8	26.5	32.5	20.5	8.4	1.2	41.0
鈴鹿第4	71	22.5	9.9	22.5	18.3	15.5	25.4	31.0	14.1	8.5	2.8	36.6
鈴鹿第5	105	14.3	3.8	12.4	13.3	11.4	21.0	26.7	16.2	4.8	5.7	46.7
鈴鹿第6	71	18.3	14.1	23.9	18.3	15.5	25.4	40.8	12.7	8.5	5.6	35.2
鈴鹿第7	94	22.3	13.8	19.1	20.2	20.2	30.9	36.2	23.4	8.5	3.2	29.8
鈴鹿第8	56	19.6	7.1	16.1	19.6	14.3	21.4	28.6	21.4	7.1	-	42.9
亀山第1	89	19.1	3.4	10.1	14.6	11.2	19.1	29.2	14.6	5.6	2.2	40.4
亀山第2	106	22.6	13.2	26.4	26.4	19.8	27.4	31.1	17.9	12.3	7.5	31.1

4 ご本人の傷病と通院などについて

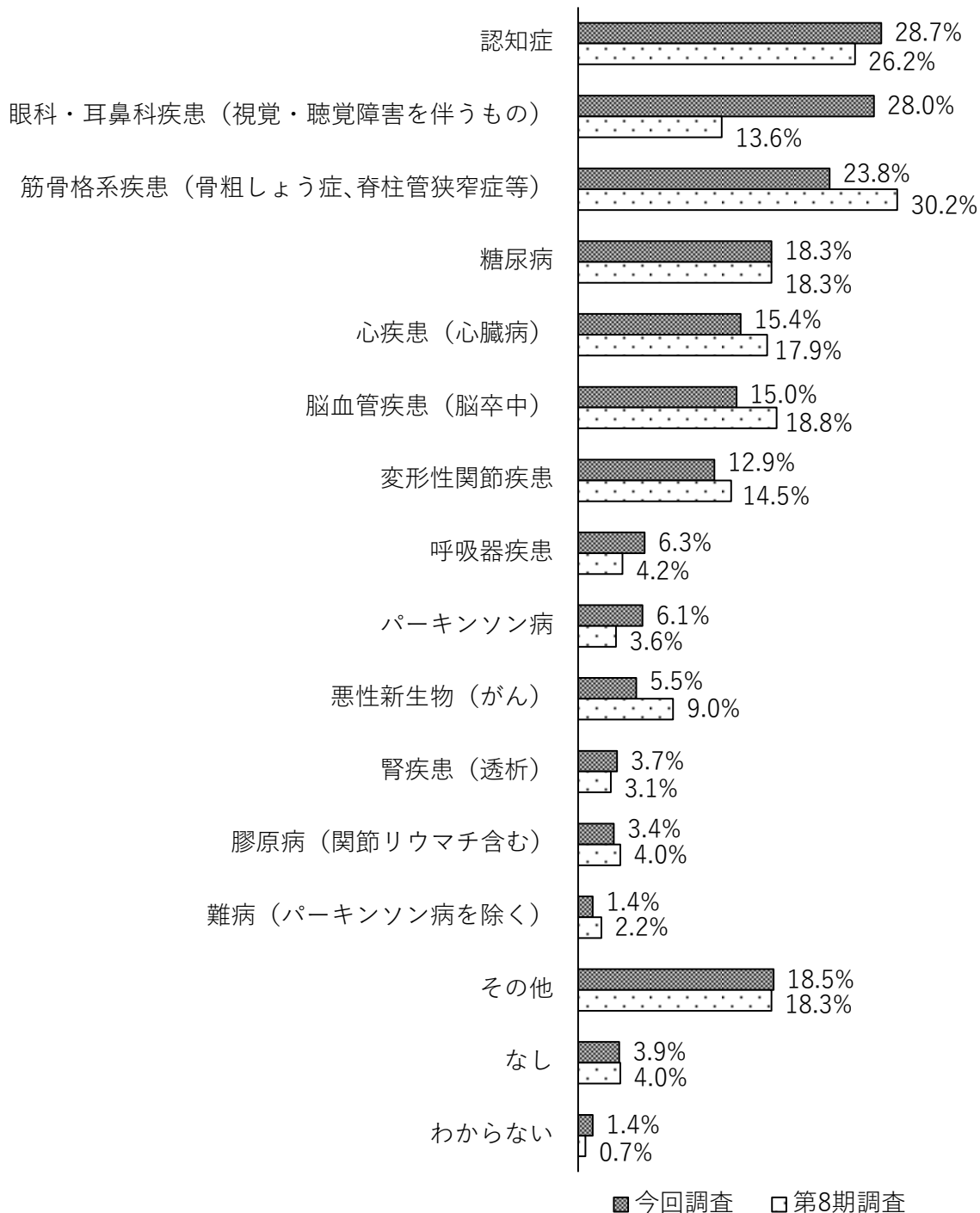
すべての方にお伺いします。

問11 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

【N=921、553(第8期調査)】

現在抱えている傷病については、「認知症」が28.7%と最も高く、僅差で「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が28.0%で続いています。以下、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（23.8%）、「糖尿病」（18.3%）と続いています。

第8期調査と比較すると、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が14.4ポイント上昇しています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『64歳未満』男女と『65～74歳男性』では「脳血管疾患」が、『75～84歳男性』『85歳以上女性』では「認知症」が、『85歳以上男性』『75～84歳女性』では「眼科・耳鼻科疾患」が最も高くなっています。

		合 計	脳 血 管 疾 患	心 疾 患	悪 性 新 生 物	呼 吸 器 疾 患	腎 疾 患	患 筋 骨 格 系 疾	膠 原 病	疾 患 変 形 性 関 節
男 性	全体	320	24.1	18.8	9.7	8.8	6.3	12.8	1.6	6.3
	64歳未満	8	50.0	-	-	-	12.5	-	-	-
	65～74歳	62	40.3	14.5	8.1	3.2	3.2	8.1	-	1.6
	75～84歳	143	23.8	17.5	9.1	9.8	5.6	11.9	1.4	7.0
	85歳以上	107	13.1	24.3	12.1	11.2	8.4	17.8	2.8	8.4
女 性	全体	600	10.2	13.5	3.3	5.0	2.3	29.5	4.3	16.5
	64歳未満	13	46.2	-	-	-	-	7.7	15.4	7.7
	65～74歳	57	22.8	12.3	7.0	1.8	10.5	15.8	5.3	12.3
	75～84歳	186	13.4	12.4	4.8	3.2	1.6	31.2	6.5	21.0
	85歳以上	344	4.9	14.8	2.0	6.7	1.5	31.7	2.6	15.1
		認 知 症	ン パ ー キ ン ソ	難 病	糖 尿 病	科 眼 疾 患 ・ 耳 鼻	そ の 他	な し	わ か ら な い	
男 性	全体	23.8	9.7	1.9	20.6	24.4	16.9	3.4	1.9	
	64歳未満	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	
	65～74歳	14.5	11.3	-	25.8	22.6	14.5	4.8	1.6	
	75～84歳	27.3	11.9	2.8	23.1	23.8	18.2	2.1	2.8	
	85歳以上	24.3	4.7	1.9	14.0	28.0	15.9	4.7	0.9	
女 性	全体	31.3	4.2	1.2	17.0	29.8	19.3	4.2	1.2	
	64歳未満	15.4	7.7	-	15.4	7.7	23.1	-	-	
	65～74歳	17.5	15.8	1.8	24.6	21.1	17.5	-	-	
	75～84歳	26.3	5.4	2.2	21.5	32.3	17.7	2.2	0.5	
	85歳以上	36.9	1.5	0.6	13.4	30.8	20.3	6.1	1.7	

要介護度別クロス

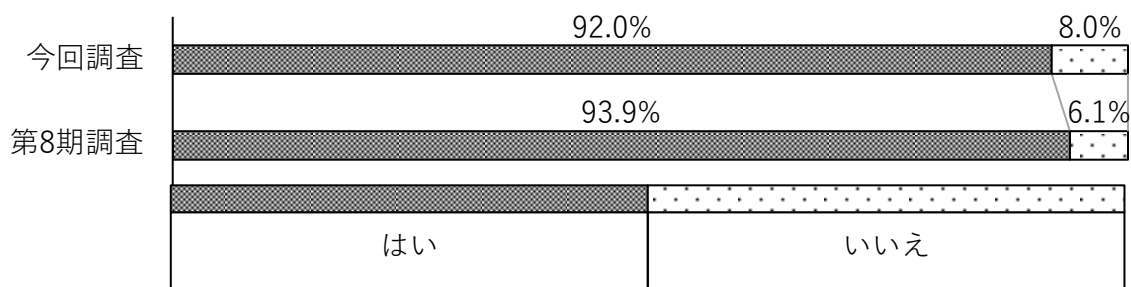
要介護度別にみると、『要支援1』『要支援2』では「眼科・耳鼻科疾患」が、『要介護1』以上では「認知症」が最も高くなっています。

	合 計	脳血管疾患	心疾患	悪性新生物	呼吸器疾患	腎疾患	患筋骨格系疾	膠原病	変形性関節疾患
全体	914	14.9	15.3	5.6	6.3	3.7	23.6	3.4	13.0
要支援 1	180	12.2	18.9	4.4	7.2	3.3	28.3	3.9	18.3
要支援 2	181	13.8	17.1	5.0	6.1	7.7	30.9	5.0	16.6
要介護 1	205	12.7	14.1	8.3	5.9	2.0	17.6	2.0	9.3
要介護 2	139	19.4	18.0	4.3	5.0	3.6	25.2	4.3	15.1
要介護 3	106	11.3	12.3	6.6	7.5	2.8	20.8	1.9	7.5
要介護 4	63	20.6	11.1	4.8	6.3	1.6	15.9	3.2	11.1
要介護 5	40	27.5	2.5	2.5	7.5	2.5	15.0	2.5	2.5
	認知症	パーキンソン病	難病	糖尿病	眼科疾患・耳鼻科	その他	なし	わからない	
全体	28.4	6.0	1.4	18.3	28.0	18.5	3.8	1.4	
要支援 1	7.8	3.9	1.7	18.9	33.9	19.4	6.1	1.7	
要支援 2	3.3	3.3	0.6	16.6	38.1	14.9	4.4	0.6	
要介護 1	46.8	4.9	1.0	17.6	24.9	17.1	2.4	1.5	
要介護 2	36.7	6.5	1.4	20.1	25.2	17.3	5.0	0.7	
要介護 3	47.2	8.5	-	21.7	15.1	21.7	2.8	1.9	
要介護 4	39.7	7.9	6.3	17.5	25.4	22.2	-	3.2	
要介護 5	45.0	22.5	2.5	12.5	20.0	27.5	2.5	2.5	

問12 ご本人は、現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。（1つを選択）
【N=934、560(第8期調査)】

現在の病院・医院への通院状況については、「はい」が92.0%を占めており、「いいえ」は8.0%となっています。

第8期調査と比較すると、「はい」が1.9ポイント低下しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要支援1』『要支援2』『要介護1』『要介護2』では「はい」が90%以上となっています。一方、「いいえ」は要介護度が重くなるに従い割合も高くなり、『要介護5』では31.6%となっています。

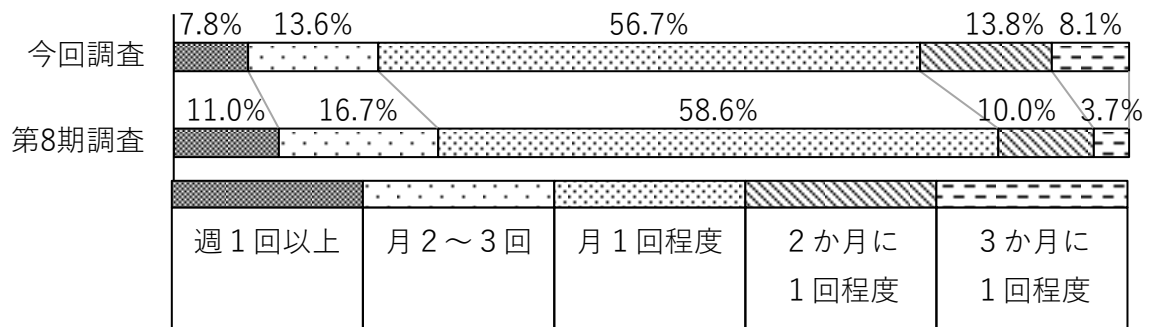
	合計	はい	いいえ
全体	928	92.1	7.9
要支援1	183	97.8	2.2
要支援2	189	95.8	4.2
要介護1	211	93.8	6.2
要介護2	141	92.2	7.8
要介護3	103	85.4	14.6
要介護4	63	84.1	15.9
要介護5	38	68.4	31.6

問12で「はい」と回答した方にお伺いします。

問12-② その頻度は次のどれですか。(1つを選択)【N=841、510(第8期調査)】

通院頻度については、「月1回程度」が過半数(56.7%)を占め、「2か月に1回程度」は13.8%、「月2～3回」は13.6%、「週1回以上」は7.8%となっています。

第8期調査と比較すると、「週1回以上」が3.2ポイント、「月2～3回」が3.1ポイント低下しています。



要介護度別クロス

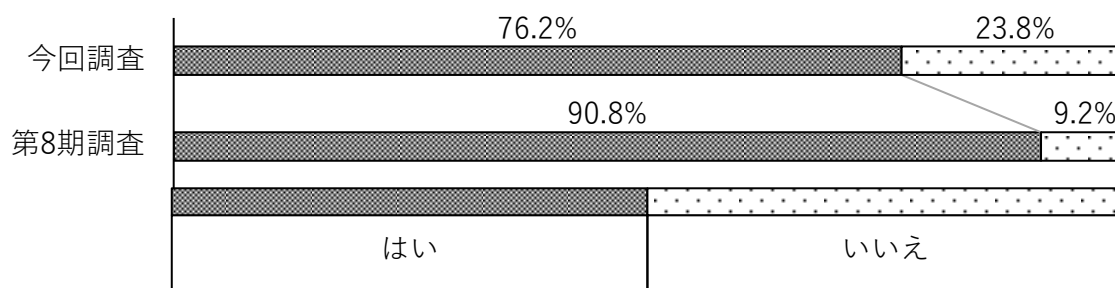
要介護度別にみると、いずれの要介護度でも「月1回程度」が最も高くなっています。また、『要支援2』では「週1回以上」が15.2%と、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	週1回以上	月2～3回	月1回程度	2か月に1回程度	3か月に1回程度
全体	837	7.9	13.6	56.8	13.6	8.1
要支援1	175	6.3	16.0	57.1	12.6	8.0
要支援2	178	15.2	12.4	54.5	13.5	4.5
要介護1	195	5.6	10.3	64.1	11.3	8.7
要介護2	129	7.8	13.2	53.5	17.8	7.8
要介護3	85	1.2	21.2	47.1	14.1	16.5
要介護4	49	8.2	18.4	55.1	12.2	6.1
要介護5	26	7.7	-	65.4	19.2	7.7

問12-③ ご本人は、通院に介助が必要ですか。(1つを選択)【N=782、478(第8期調査)】

通院に介助が必要かどうかについては、『通院に介助が必要な人』(「はい」と回答)が76.2%を占め、『介助が不要の人』(「いいえ」と回答)は23.8%となっています。

第8期調査と比較すると、『介助が不要の人』が14.6ポイント上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、要介護度が重くなるに従い『通院に介助が必要な人』の割合が高くなり、『要介護3』以上では90%を超え、『要介護5』では100%となっています。

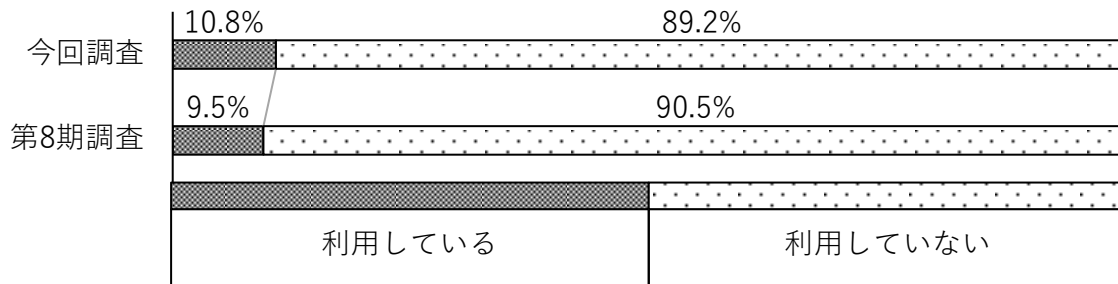
	合計	はい	いいえ
全体	778	76.3	23.7
要支援1	167	50.9	49.1
要支援2	156	66.7	33.3
要介護1	180	82.2	17.8
要介護2	120	88.3	11.7
要介護3	80	96.3	3.8
要介護4	50	98.0	2.0
要介護5	25	100.0	-

再びすべての方にお伺いします。

問13 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）【N=922、558(第8期調査)】

訪問診療の利用状況については、「利用している」は10.8%となっており、「利用していない」が89.2%を占めています。

第8期調査と比較すると、「利用している」が1.3ポイント上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護5』では「利用している」が35.1%と高くなっています。一方、『要介護1』以下では「利用していない」が90%以上となっています。

	合計	利用している	利用していない
全体	916	10.8	89.2
要支援1	179	5.0	95.0
要支援2	189	9.0	91.0
要介護1	208	7.2	92.8
要介護2	138	13.8	86.2
要介護3	104	12.5	87.5
要介護4	61	21.3	78.7
要介護5	37	35.1	64.9

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第4』では「利用している」が15.8%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

	合計	利用している	利用していない
全体	921	10.9	89.1
鈴鹿第1	86	8.1	91.9
鈴鹿第2	116	5.2	94.8
鈴鹿第3	86	10.5	89.5
鈴鹿第4	76	15.8	84.2
鈴鹿第5	111	13.5	86.5
鈴鹿第6	74	14.9	85.1
鈴鹿第7	103	8.7	91.3
鈴鹿第8	61	11.5	88.5
亀山第1	99	9.1	90.9
亀山第2	109	13.8	86.2

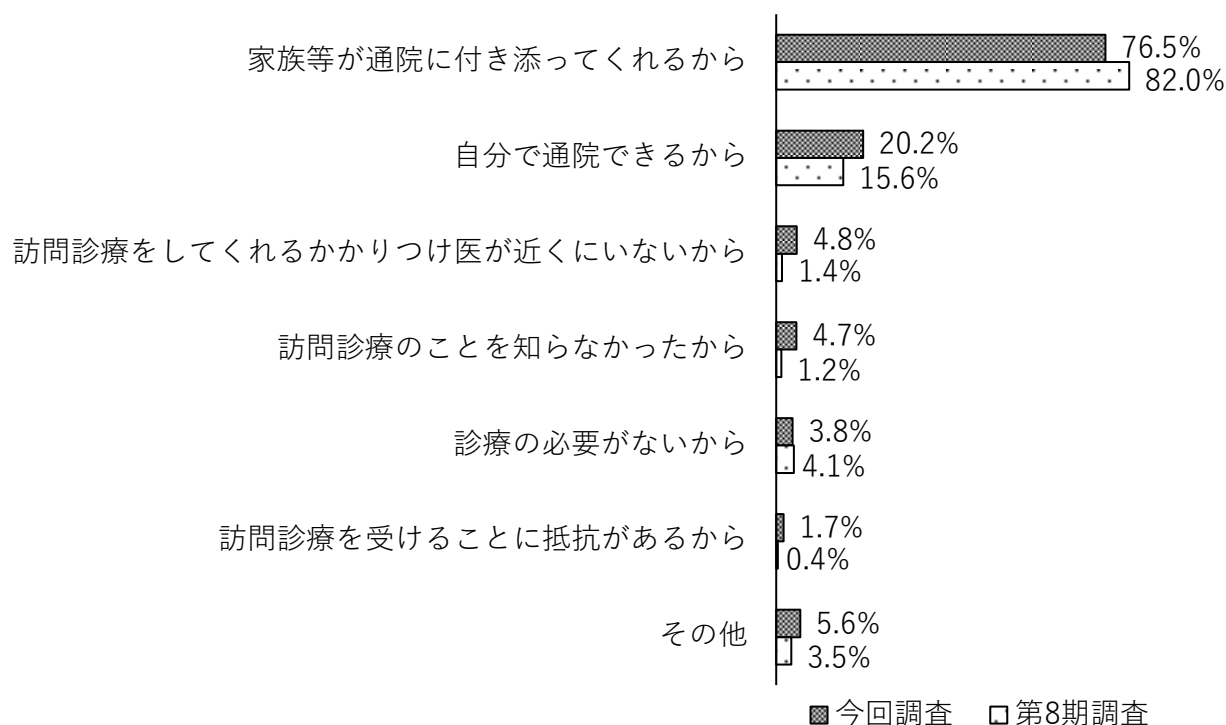
問13で「利用していない」と回答した方にお伺いします。

問13－② 「訪問診療」を受けていない理由は何ですか。（複数選択可）

【N=808、488(第8期調査)】

訪問診療を受けていない理由については、「家族等が通院に付き添ってくれるから」が76.5%と高くなっています。次いで、「自分で通院できるから」が20.2%と続いています。

第8期調査と比較すると、「家族等が通院に付き添ってくれるから」が5.5ポイント低下する一方、「自分で通院できるから」は4.6ポイント、「訪問診療のことを知らなかったから」は3.5ポイント、「訪問診療をしてくれるかかりつけ医が近くにいないから」は3.4ポイント上昇しています。



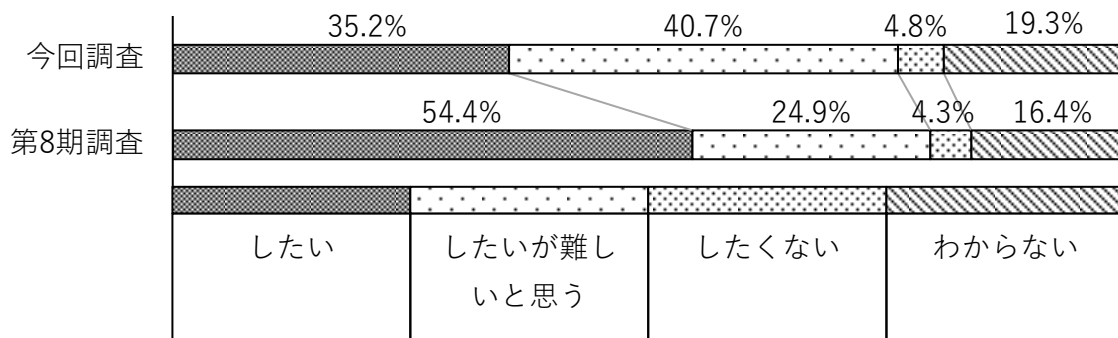
再びすべての方にお伺いします。

問14 ご本人は、自宅で最期まで療養したいと思いますか。(1つを選択)

【N=914、562(第8期調査)】

自宅で最期まで療養したいと思うかについては、「したいが難しいと思う」が40.7%と最も高く、「したい」は35.2%、「したくない」は4.8%となっています。

第8期調査と比較すると、「したい」が19.2ポイント低下する一方、「したいが難しいと思う」は15.8ポイント上昇しています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『65～74歳男性』『85歳以上男性』『64歳未満女性』では「したい」が最も高くなっています。一方、『75～84歳』男女と『85歳以上女性』では「したいが難しいと思う」が最も高くなっています。

		合計	したい	したいが難しい	したくない	わからない
男性	全体	313	40.3	40.3	4.2	15.3
	64歳未満	7	28.6	28.6	-	42.9
	65～74歳	63	41.3	38.1	4.8	15.9
	75～84歳	137	35.8	43.1	6.6	14.6
	85歳以上	106	46.2	38.7	0.9	14.2
女性	全体	600	32.7	40.8	5.2	21.3
	64歳未満	13	38.5	23.1	7.7	30.8
	65～74歳	58	22.4	27.6	6.9	43.1
	75～84歳	188	35.1	43.1	4.8	17.0
	85歳以上	341	32.8	42.5	5.0	19.6

要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要支援2』『要介護3』『要介護5』では「したい」が約40%と高くなっています。一方、他の要介護度では「したいが難しいと思う」40%以上と高くなっています。

	合計	したい	としたいが難しい	したくない	わからない
全体	907	35.2	40.8	4.9	19.2
要支援1	179	29.1	44.1	7.3	19.6
要支援2	187	40.1	36.4	4.8	18.7
要介護1	210	32.9	42.4	2.9	21.9
要介護2	136	35.3	43.4	8.8	12.5
要介護3	100	40.0	40.0	1.0	19.0
要介護4	60	35.0	40.0	3.3	21.7
要介護5	35	40.0	31.4	2.9	25.7

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』では「したいが難しいと思う」が45.0%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。『夫婦のみ世帯』『その他』では「したい」と「したいが難しいと思う」が同率となっています。

	合計	したい	としたいが難しい	したくない	わからない
全体	799	34.8	41.1	5.0	19.1
単身世帯	269	26.4	45.0	7.8	20.8
夫婦のみ世帯	237	38.8	38.8	3.4	19.0
その他	293	39.2	39.2	3.8	17.7

介護者別クロス

介護者別にみると、『配偶者』では「したい」が、他の介護者では「したいが難しいと思う」が最も高くなっています。また、『孫』では回答が分散しています。

	合計	したい	としたいが難しい	したくない	わからない
全体	728	36.7	41.3	3.3	18.7
配偶者	267	42.3	37.1	2.6	18.0
子	322	36.0	42.9	4.0	17.1
子の配偶者	81	27.2	51.9	1.2	19.8
孫	6	33.3	33.3	-	33.3
兄弟・姉妹	16	25.0	37.5	12.5	25.0
その他	36	27.8	38.9	2.8	30.6

日常生活圏域別クロス

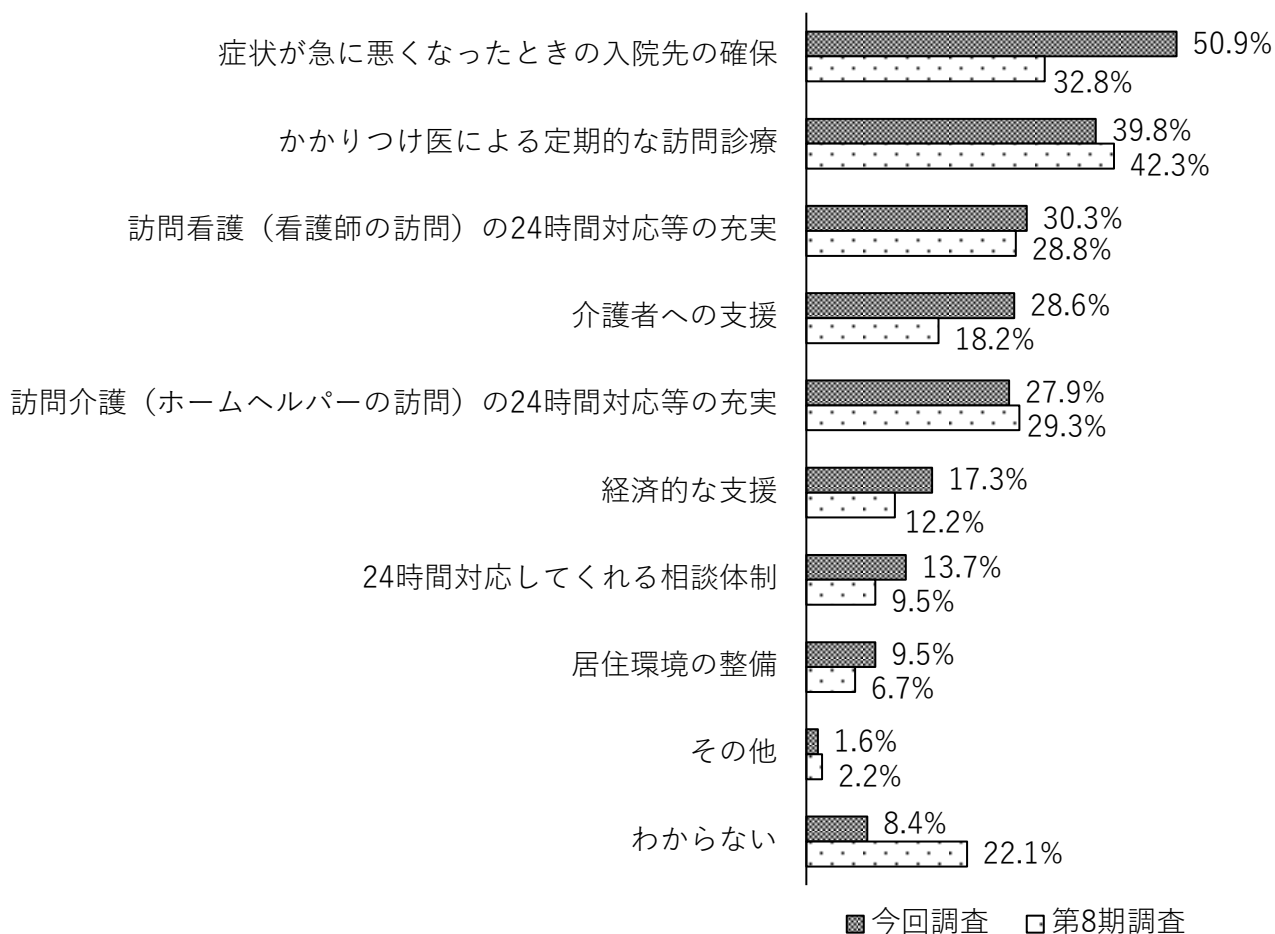
日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第2』『鈴鹿第5』『鈴鹿第8』『亀山第2』では「したい」が最も高くなっています。他の日常生活圏域では「したいが難しいと思う」が最も高くなっています。

	合計	したい	としたいが難しい	したくない	わからない
全体	913	35.3	40.6	4.8	19.3
鈴鹿第1	87	33.3	43.7	3.4	19.5
鈴鹿第2	117	42.7	39.3	5.1	12.8
鈴鹿第3	84	28.6	44.0	7.1	20.2
鈴鹿第4	73	32.9	39.7	5.5	21.9
鈴鹿第5	108	41.7	30.6	3.7	24.1
鈴鹿第6	69	31.9	43.5	5.8	18.8
鈴鹿第7	102	22.5	48.0	8.8	20.6
鈴鹿第8	61	37.7	32.8	1.6	27.9
亀山第1	99	36.4	46.5	4.0	13.1
亀山第2	113	40.7	38.1	2.7	18.6

問15 自宅で最期まで療養するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまでを選択)
【N=856、539(第8期調査)】

自宅で最期まで療養するために必要なことについては、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が50.9%と最も高く、次いで「かかりつけ医による定期的な訪問診療」(39.8%)、「訪問看護(看護師の訪問)の24時間対応等の充実」(30.3%)と続いています。

第8期調査と比較すると、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が18.1ポイント、「介護者への支援」が10.4ポイント上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護5』では「訪問看護（看護師の訪問）の24時間対応等の充実」が最も高くなっていますが、他の要介護度ではいずれも「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が最も高くなっています。

	合計	かかりつけ医による定期的な訪問診療	訪問看護（看護師の訪問）の24時間対応等の充実	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の24時間対応等の充実	24時間対応してくれる相談体制	介護者への支援	症状が急に悪くなったときの入院先の確保	居住環境の整備	経済的な支援	その他	わからない
全体	849	39.8	30.4	28.0	13.8	28.7	50.9	9.4	17.3	1.5	8.4
要支援1	164	40.2	31.7	24.4	22.0	19.5	51.2	5.5	12.8	2.4	12.2
要支援2	171	44.4	25.1	25.7	16.4	26.3	53.8	6.4	18.1	0.6	6.4
要介護1	200	37.0	28.0	31.0	11.0	30.5	55.5	11.0	19.0	0.5	8.5
要介護2	126	42.9	36.5	29.4	11.9	29.4	47.6	12.7	18.3	1.6	7.1
要介護3	98	32.7	26.5	22.4	10.2	39.8	42.9	12.2	17.3	2.0	9.2
要介護4	56	39.3	32.1	30.4	7.1	37.5	48.2	12.5	16.1	3.6	7.1
要介護5	34	41.2	50.0	47.1	5.9	26.5	47.1	8.8	23.5	2.9	2.9

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも「」が最も高くなっています。また、『単身世帯』では「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の24時間対応等の充実」が32.9%、『夫婦のみ世帯』では「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が46.3%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	かかりつけ医による定期的な訪問診療	訪問看護（看護師の訪問）の24時間対応等の充実	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の24時間対応等の充実	24時間対応してくれる相談体制	介護者への支援	症状が急に悪くなったときの入院先の確保	居住環境の整備	経済的な支援	その他	わからない
全体	752	41.8	30.7	28.9	13.6	29.3	49.7	10.1	16.2	1.7	8.5
単身世帯	249	38.2	32.5	32.9	12.4	22.5	47.8	12.0	14.9	2.8	12.0
夫婦のみ世帯	231	46.3	28.1	26.4	13.9	31.2	49.4	7.8	16.5	1.3	6.1
その他	272	41.2	31.3	27.2	14.3	33.8	51.8	10.3	17.3	1.1	7.4

介護者別クロス

介護者別にみると、『孫』では「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が、他の介護者ではいずれも「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が最も高くなっています。

	合 計	な か か か かり つ け 医 による 定 期的 訪 問 診 療	の 訪 問 2 4 時 間 （ 看 護 師 対 応 等 の 充 実 の 訪 問 ）	の 訪 問 2 4 時 間 （ ホ ー ム ヘル パ ー 対 応 等 ）	談 2 体 4 制 時 間 対 応 し て く れ る 相	介 護 者 へ の 支 援	の 症 状 入 院 先 が 急 に 悪 く な っ た と き の 確 保	居 住 環 境 の 整 備	経 済 的 な 支 援	そ の 他	わ か ら な い
全体	687	40.6	30.3	27.8	13.1	31.6	52.7	9.8	17.9	1.3	7.1
配偶者	258	43.4	29.1	22.9	12.8	32.2	55.8	8.1	19.8	1.9	5.0
子	303	38.9	31.4	32.3	13.5	32.0	50.8	12.9	15.8	0.7	7.3
子の配偶者	75	40.0	28.0	30.7	12.0	30.7	52.0	4.0	18.7	2.7	10.7
孫	5	80.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	20.0
兄弟・姉妹	16	31.3	18.8	25.0	18.8	37.5	56.3	6.3	18.8	-	12.5
その他	30	33.3	43.3	23.3	13.3	26.7	50.0	10.0	23.3	-	10.0

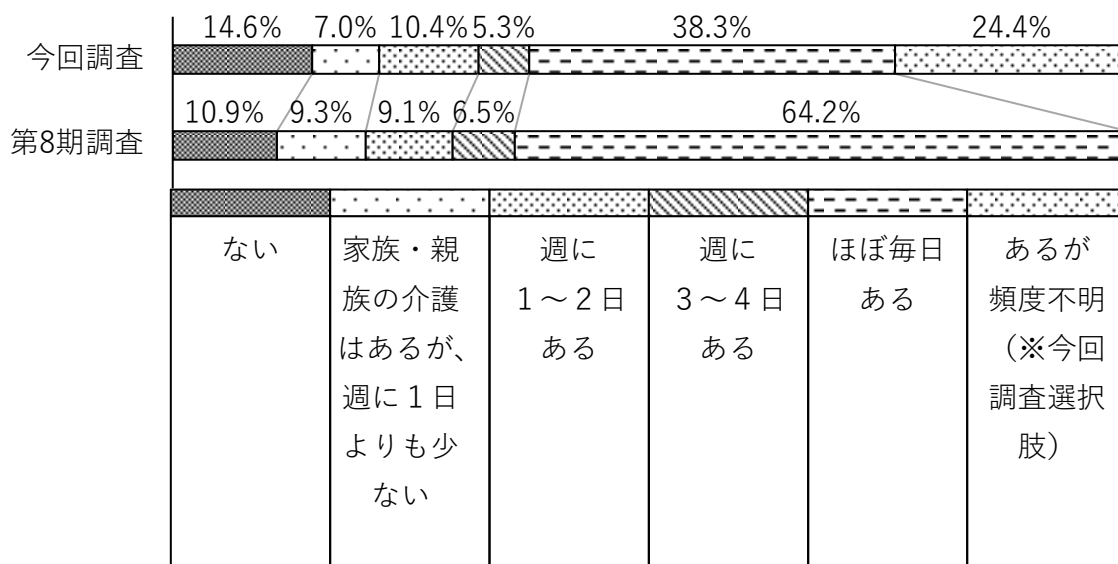
日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第5』では「かかりつけ医による定期的な訪問診療」と「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が、『鈴鹿第6』では「介護者への支援」と「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が同率で高くなっています。他の日常生活圏域ではいずれも「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が最も高くなっており、特に『亀山第2』では62.4%と全体を11.4ポイント上回っています。

	合計	な か か り つ け 医 に よ る 定 期 的 な 訪 問 診 療	の 訪 問 時 間 （ 2 4 時 間 対 応 の 看 護 師 の 充 実 ）	の 訪 問 時 間 （ 2 4 時 間 対 応 の ホ ー ム ヘル パー 等 ）	2 4 時 間 対 応 し て く れ る 相 談 体 制	介 護 者 へ の 支 援	の 症 状 が 急 に 悪 く な っ た 時 きの 入 院 先 の 確 保	居 住 環 境 の 整 備	経 済 的 な 支 援	そ の 他	わ か ら な い
全体	855	39.9	30.2	28.0	13.7	28.7	51.0	9.4	17.3	1.5	8.4
鈴鹿第1	80	43.8	38.8	30.0	11.3	27.5	53.8	2.5	15.0	-	7.5
鈴鹿第2	110	34.5	23.6	29.1	11.8	21.8	48.2	10.0	12.7	0.9	14.5
鈴鹿第3	81	34.6	22.2	24.7	17.3	17.3	51.9	12.3	23.5	1.2	6.2
鈴鹿第4	69	36.2	23.2	27.5	10.1	30.4	53.6	5.8	17.4	1.4	14.5
鈴鹿第5	98	50.0	31.6	27.6	12.2	29.6	50.0	10.2	16.3	1.0	10.2
鈴鹿第6	63	44.4	31.7	19.0	14.3	46.0	46.0	19.0	25.4	-	6.3
鈴鹿第7	96	40.6	27.1	34.4	21.9	32.3	49.0	8.3	11.5	1.0	8.3
鈴鹿第8	59	37.3	35.6	16.9	10.2	30.5	49.2	15.3	28.8	5.1	1.7
亀山第1	90	37.8	33.3	25.6	15.6	30.0	43.3	8.9	17.8	3.3	7.8
亀山第2	109	39.4	35.8	35.8	11.0	27.5	62.4	5.5	13.8	1.8	4.6

問16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つを選択）【N=951、558(第8期調査)】

家族等からの介護頻度については、「ほぼ毎日ある」が38.3%と最も高く、次いで「あるが頻度不明」が24.4%と続いています。一方、「ない」は14.6%となっています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要支援1』では「ない」が、『要支援2』では「あるが頻度不明」が最も高くなっています。『要介護1』以上では「ほぼ毎日ある」が最も高くなっています。

	合 計	な い	少 ない	るが、 家族・ 週に1 親族の 1日の 介護は ありあ る	週に 1～2 日ある	週に 3～4 日ある	ほ ぼ毎 日ある	ある が頻 度不明
全体	944	14.7	6.9	10.5	5.2	38.5	24.3	
要支援 1	183	30.1	7.7	9.8	4.4	21.9	26.2	
要支援 2	189	18.0	8.5	11.1	5.3	27.0	30.2	
要介護 1	214	7.5	8.4	11.2	7.0	45.3	20.6	
要介護 2	145	9.0	4.8	6.9	6.2	53.8	19.3	
要介護 3	107	9.3	6.5	13.1	3.7	47.7	19.6	
要介護 4	65	9.2	3.1	15.4	4.6	44.6	23.1	
要介護 5	41	12.2	2.4	4.9	-	41.5	39.0	

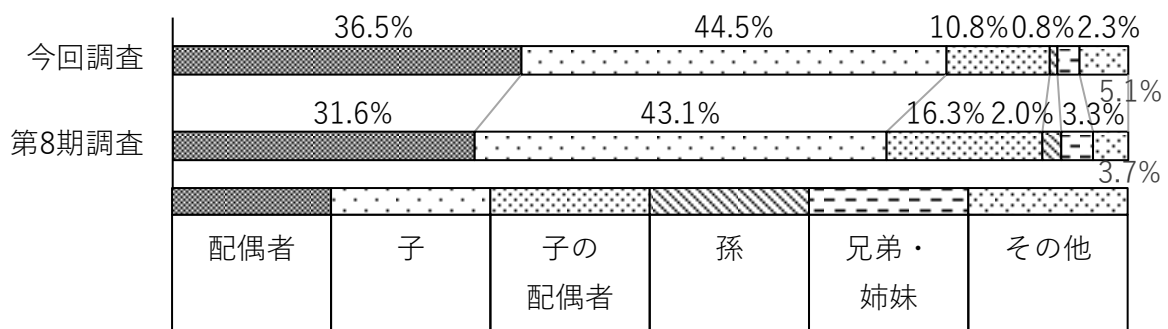
5 主な介護者の方について【介護者への質問】

すべての介護者の方にお伺いします。

問17 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）【N=778、490(第8期調査)】

主な介護者については、「子」が44.5%と最も高く、次いで「配偶者」(36.5%)、「子の配偶者」(10.8%)と続いています。

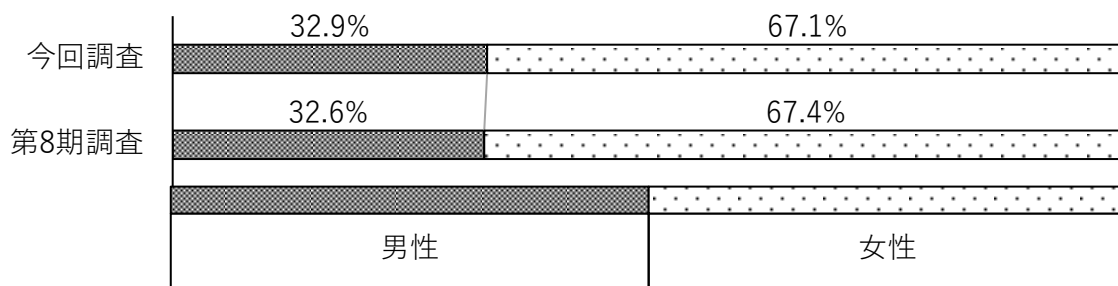
第8期調査と比較すると、「配偶者」が4.9ポイント上昇する一方、「子の配偶者」は5.5ポイント低下しています。



問18 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）【N=787、482(第8期調査)】

主な介護者の性別については、「女性」が67.1%、「男性」が32.9%と、「女性」が「男性」の約2倍となっています。

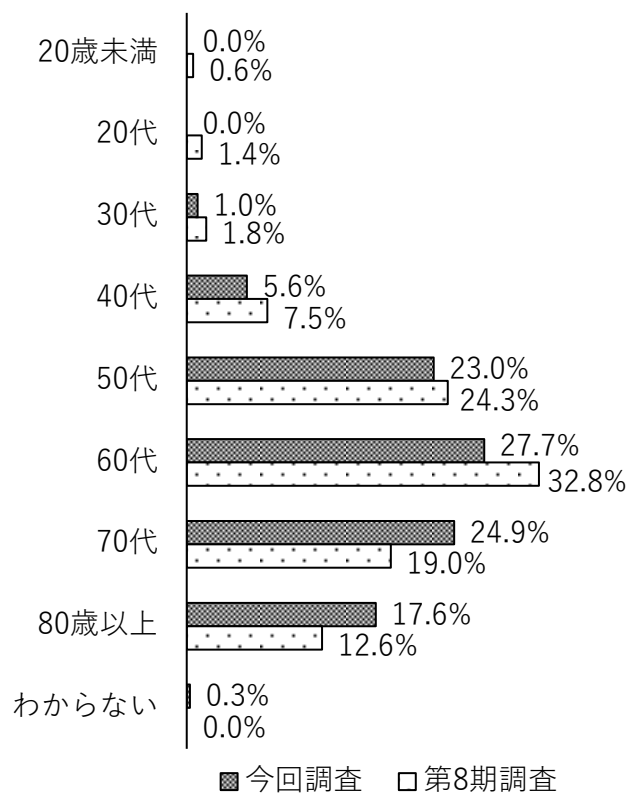
第8期調査と比較すると、ほとんど変化はみられません。



問19 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)【N=784、494(第8期調査)】

主な介護者の年齢については、「60代」が27.7%と最も高く、次いで「70代」(24.9%)、「50代」(23.0%)、「80歳以上」(17.6%)と続いています。

第8期調査と比較すると、「70代」が5.9ポイント、「80歳以上」が5.0ポイント上昇する一方で60代以下はすべて低下しており、介護者の年齢が上昇しています。

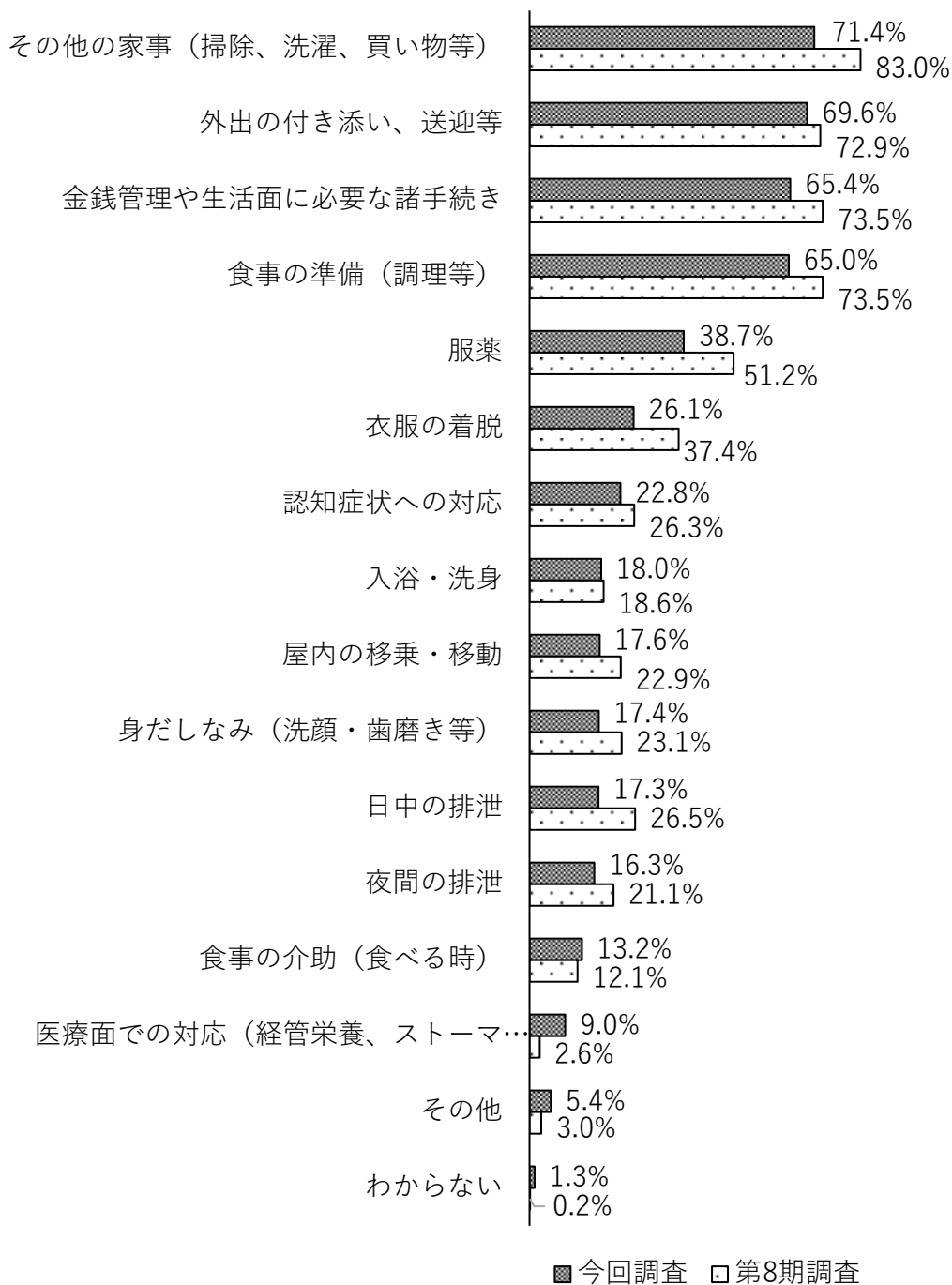


問20 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

【N=763、494(第8期調査)】

主な介護者が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が71.4%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（69.6%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（65.4%）、「食事の準備（調理等）」（65.0%）と続いています。

第8期調査と比較すると、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が6.4ポイント上昇する一方、「服薬」は12.5ポイント、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は11.6ポイント、「衣服の着脱」は11.3ポイント低下しています。

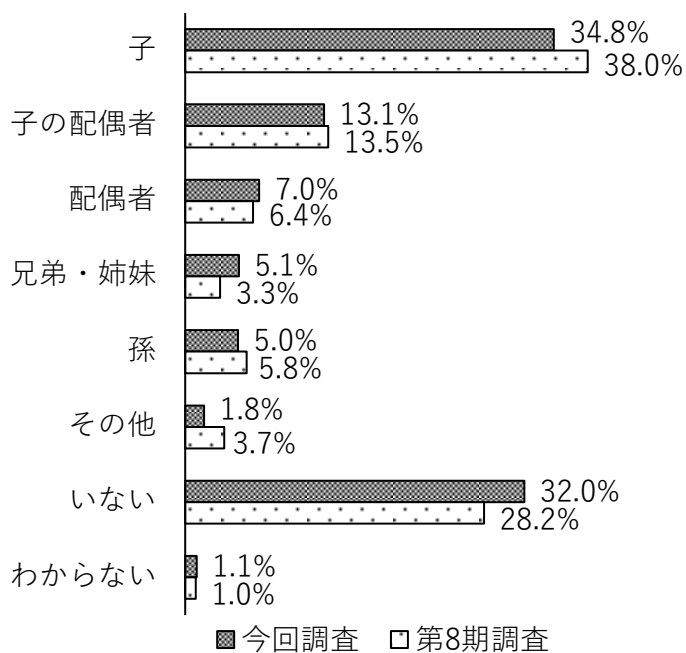


問21 ご家族の中で、主な介護者の方以外に補助的な介護者はいですか。(1つを選択)

【N=738、482(第8期調査)】

主な介護者以外の補助的な介護者については、「子」が34.8%と最も高く、次いで「子の配偶者」が13.1%と続いています。一方、「いない」は32.0%となっています。

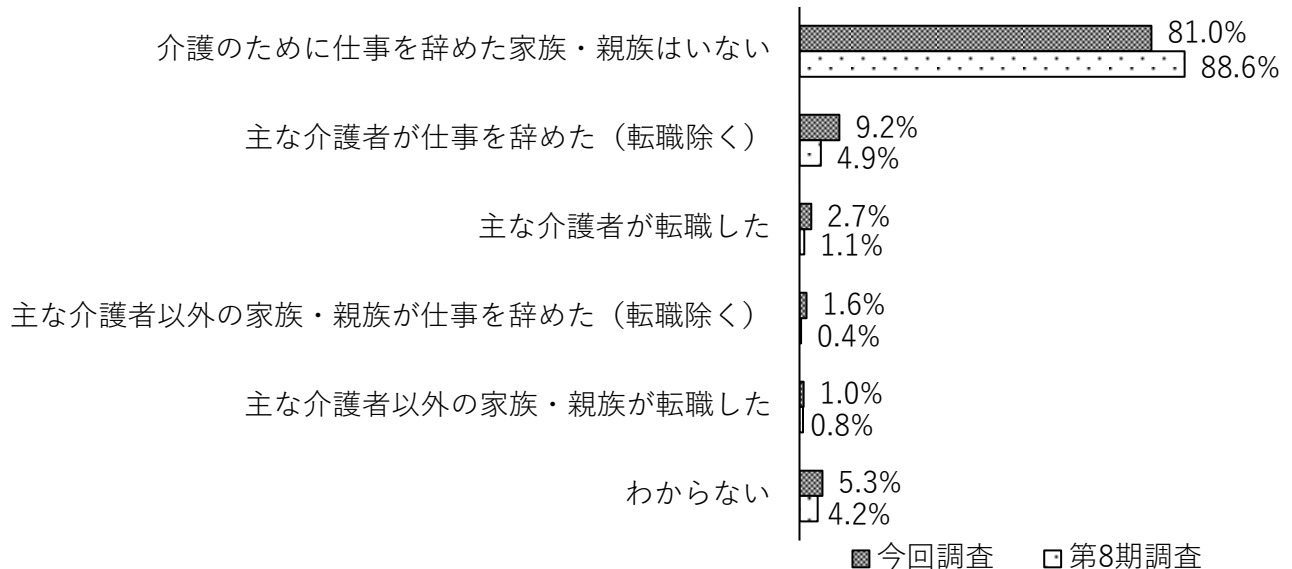
第8期調査と比較すると、「子」が3.2ポイント低下する一方、「いない」が3.8ポイント上昇しています。



問22 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(複数選択可)【N=622、473(第8期調査)】

介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた家族等がいるかどうかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が81.0%と高くなっています。「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は9.2%となっています。

第8期調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が7.6ポイント低下する一方、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は4.3ポイント上昇しています。



介護者別クロス

介護者別にみると、いずれの介護者も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も高くなっていますが、『子』と『子の配偶者』では「主な介護者が仕事を辞めた」と「主な介護者が転職した」を合わせて、それぞれ13.4%、15.7%が離職・転職しています。

	合計	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した(親族が仕事を辞めた)	主な介護者が転職した	主な介護者が転職した(親族が転職した)	介護のために家族・親族に仕事を辞めた	わからない
全体	609	9.2	1.6	2.8	0.8	81.3	5.1
配偶者	199	6.5	1.5	2.0	1.0	84.9	5.0
子	291	10.0	1.7	3.4	1.0	80.8	3.8
子の配偶者	76	11.8	2.6	3.9	-	78.9	3.9
孫	3	33.3	-	-	-	66.7	-
兄弟・姉妹	10	-	-	-	-	90.0	10.0
その他	30	13.3	-	-	-	66.7	20.0

介護者の年齢別クロス

介護者の年齢別にみると、いずれの年代でも「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も高くなっていますが、『60代』では「主な介護者が仕事を辞めた」が全体を3.3ポイント上回っており、『40代』と『50代』では「主な介護者が仕事を辞めた」と「主な介護者が転職した」を合わせて、それぞれ17.1%、15.8%が離職・転職しています。

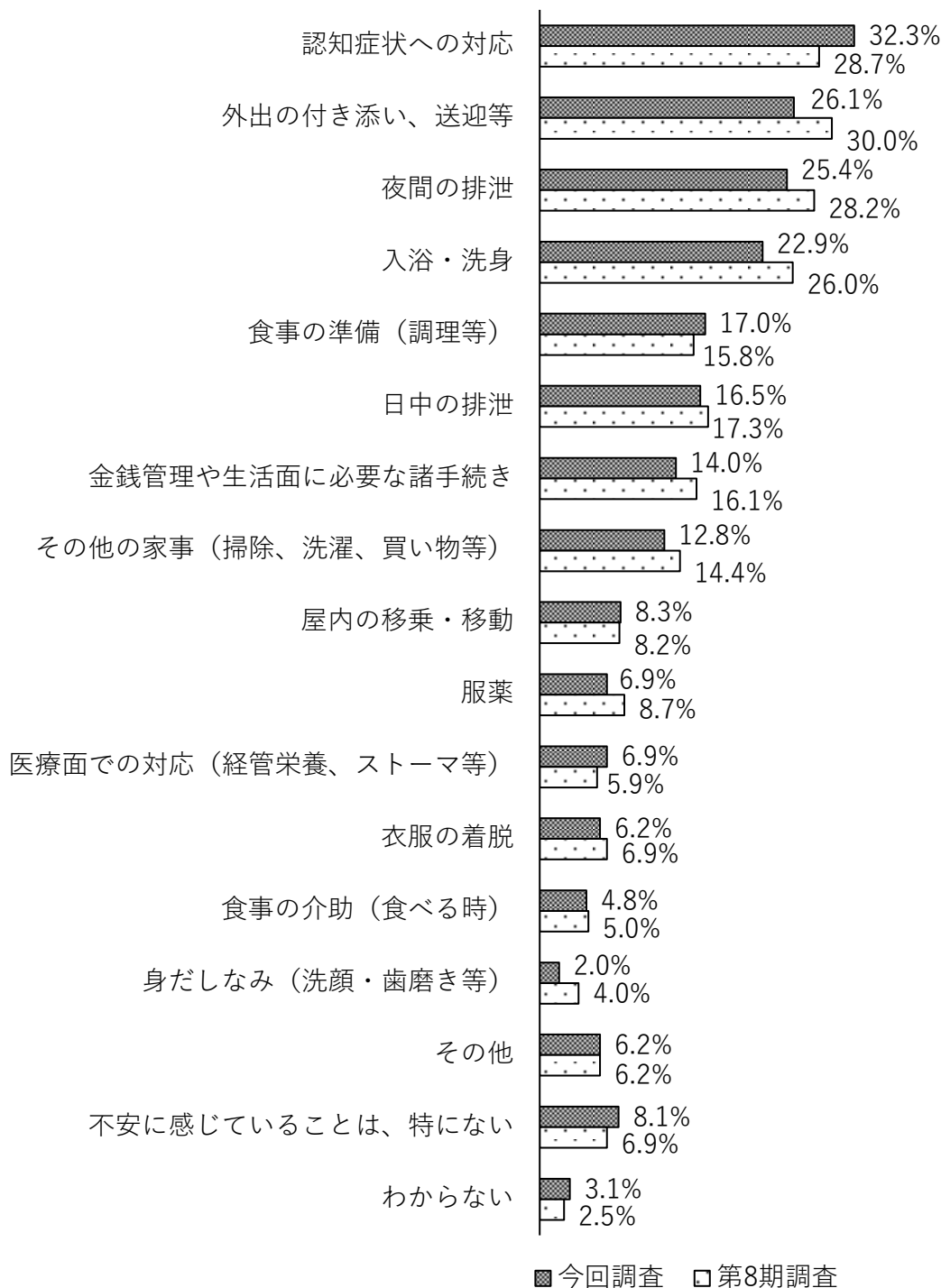
	合 計	主 な 介 護 者 が 工 事 を 辞 め た （ 転 職 除 く ）	主 な 介 護 者 が 工 事 を 辞 め た （ 転 職 除 く ） た 族 ・ 親 族 が 工 事 を 辞 め た	主 な 介 護 者 が 転 職 し た	主 な 介 護 者 が 転 職 し た 族 ・ 親 族 が 転 職 し た	主 な 介 護 者 が 工 事 を 辞 め た （ 転 職 除 く ） た 族 ・ 親 族 が 工 事 を 辞 め た	わ か ら な い
全体	612	9.3	1.6	2.8	0.8	81.0	5.2
20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
20代	-	-	-	-	-	-	-
30代	5	40.0	-	-	-	60.0	-
40代	41	9.8	-	7.3	-	82.9	2.4
50代	152	9.9	2.0	5.9	0.7	75.0	6.6
60代	183	12.6	1.1	1.6	0.5	83.1	2.2
70代	140	7.1	2.9	1.4	0.7	81.4	7.9
80歳以上	89	3.4	1.1	-	2.2	86.5	6.7
わからない	2	-	-	-	-	100.0	-

問23 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまで選択可）

【N=641、404(第8期調査)】

不安を感じる介護等については、「認知症状への対応」が32.3%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(26.1%)、「夜間の排泄」(25.4%)、「入浴・洗身」(22.9%)と続いています。一方、「不安を感じていることは、特にない」は8.1%となっています。

第8期調査と比較すると、「認知症状への対応」が3.6ポイント上昇する一方、「外出の付き添い、送迎等」は3.9ポイント、「入浴・洗身」は3.1ポイント、「夜間の排泄」は2.8ポイント低下しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要支援1』『要支援2』では「外出の付き添い、送迎等」が、『要介護1』『要介護2』『要介護3』『要介護5』『要介護2』では「認知症状への対応」が最も高くなっています。また、『要介護4』では「夜間の排泄」と「認知症場への対応」が同率で高くなっています。

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	等 外出の付き添い、送迎
全体	639	16.6	25.4	4.7	23.0	2.0	6.3	8.3	26.0
要支援1	108	10.2	13.0	4.6	16.7	-	3.7	5.6	26.9
要支援2	117	13.7	21.4	3.4	23.9	2.6	5.1	10.3	30.8
要介護1	159	17.0	27.7	5.7	23.9	4.4	5.7	5.0	25.2
要介護2	106	20.8	29.2	4.7	26.4	2.8	7.5	11.3	24.5
要介護3	79	22.8	30.4	2.5	25.3	-	7.6	11.4	24.1
要介護4	43	18.6	37.2	4.7	23.3	-	9.3	4.7	18.6
要介護5	27	14.8	29.6	11.1	18.5	-	11.1	14.8	29.6
	服薬	認知症状への対応	医療、栄養、面での対応（経管ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、その他の家事（掃除、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	は、不安に感じていること	わからない
全体	6.9	32.2	6.9	17.1	12.7	13.9	6.3	8.1	3.1
要支援1	6.5	21.3	4.6	23.1	18.5	14.8	6.5	13.9	5.6
要支援2	2.6	11.1	6.0	23.1	20.5	11.1	2.6	9.4	5.1
要介護1	10.1	47.2	5.7	16.4	10.7	15.7	4.4	6.3	3.1
要介護2	9.4	37.7	11.3	12.3	9.4	11.3	4.7	6.6	0.9
要介護3	6.3	38.0	3.8	12.7	7.6	16.5	10.1	3.8	1.3
要介護4	7.0	37.2	11.6	14.0	7.0	14.0	14.0	7.0	2.3
要介護5	-	33.3	11.1	7.4	3.7	14.8	14.8	11.1	-

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』『その他』では「認知症状への対応」が、『夫婦のみ世帯』では「外出の付き添い、送迎等」が最も高くなっています。

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	等 外出の付き添い、送迎
全体	560	16.6	25.4	4.8	24.1	2.0	5.7	8.4	25.7
単身世帯	164	15.9	18.3	4.9	20.7	3.0	3.0	7.9	20.1
夫婦のみ世帯	168	13.7	24.4	5.4	26.8	-	7.7	8.3	31.5
その他	228	19.3	31.1	4.4	24.6	2.6	6.1	8.8	25.4
	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買物等（掃除、その他の家事）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	わからない
全体	6.6	32.5	6.8	16.6	12.1	14.5	6.8	7.7	3.2
単身世帯	7.3	32.9	6.1	19.5	18.9	18.9	9.1	8.5	4.9
夫婦のみ世帯	7.7	26.2	6.5	19.0	13.1	12.5	3.6	7.7	2.4
その他	5.3	36.8	7.5	12.7	6.6	12.7	7.5	7.0	2.6

介護者別クロス

介護者別にみると、『配偶者』では「外出の付き添い、送迎等」が、『子』『子の配偶者』『孫』では「認知症状への対応」が、『兄弟・姉妹』では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、『その他』では「入浴・洗身」が最も高くなっています。

	合 計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	等 外出の付き添い、送迎
全体	628	16.6	25.6	4.9	23.1	2.1	6.4	8.4	25.8
配偶者	212	9.9	20.3	5.2	23.6	1.4	9.9	8.0	36.8
子	291	19.9	29.9	5.2	22.0	1.7	5.2	10.0	19.9
子の配偶者	77	26.0	32.5	6.5	26.0	2.6	1.3	7.8	19.5
孫	6	16.7	-	-	33.3	-	16.7	-	16.7
兄弟・姉妹	13	15.4	15.4	-	7.7	15.4	15.4	-	23.1
その他	29	6.9	13.8	-	27.6	3.4	-	3.4	24.1

	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等（掃除、その他の家事）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	わからない
全体	6.8	32.5	7.0	16.9	13.1	14.0	6.4	7.8	3.0
配偶者	8.0	25.9	8.0	18.4	13.2	15.6	4.2	8.0	3.3
子	5.8	37.5	6.5	15.1	14.8	13.7	7.9	7.2	1.7
子の配偶者	5.2	36.4	9.1	22.1	9.1	7.8	5.2	5.2	3.9
孫	16.7	66.7	-	-	-	16.7	-	-	16.7
兄弟・姉妹	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	30.8	-	23.1	-
その他	10.3	20.7	-	17.2	10.3	13.8	13.8	13.8	10.3

利用状況別クロス

介護保険サービスの利用状況別にみると、利用の有無にかかわらず「認知症状への対応」が最も高くなっています。また、『利用している』では「夜間の排泄」が27.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が15.6%と、『利用していない』に比べて高くなっています。

	合 計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	624	17.0	25.8	5.0	22.9	1.9	6.4	8.3	26.0
利用している	486	17.7	27.8	5.1	23.7	2.3	6.0	9.7	26.1
利用していない	138	14.5	18.8	4.3	20.3	0.7	8.0	3.6	25.4

	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	わからない
全体	6.7	32.2	6.9	17.1	13.0	14.1	6.1	7.9	3.0	
利用している	7.0	33.7	7.4	16.7	11.9	15.6	4.9	7.8	2.5	
利用していない	5.8	26.8	5.1	18.8	16.7	8.7	10.1	8.0	5.1	

認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『軽度あるいは該当しない方』では「外出の付き添い、送迎等」が、『認知症の方』では「認知症状への対応」が最も高くなっています。次いで、『軽度あるいは該当しない方』では「入浴・洗身」が、『認知症の方』では「夜間の排泄」が続いています。

	合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	等 外出の付き添い、送迎
全体	597	16.9	25.1	5.0	22.3	2.0	6.4	8.7	25.8
軽度あるいは該当しない方	271	12.5	17.7	3.3	23.2	1.1	5.9	9.6	31.4
認知症の方	326	20.6	31.3	6.4	21.5	2.8	6.7	8.0	21.2

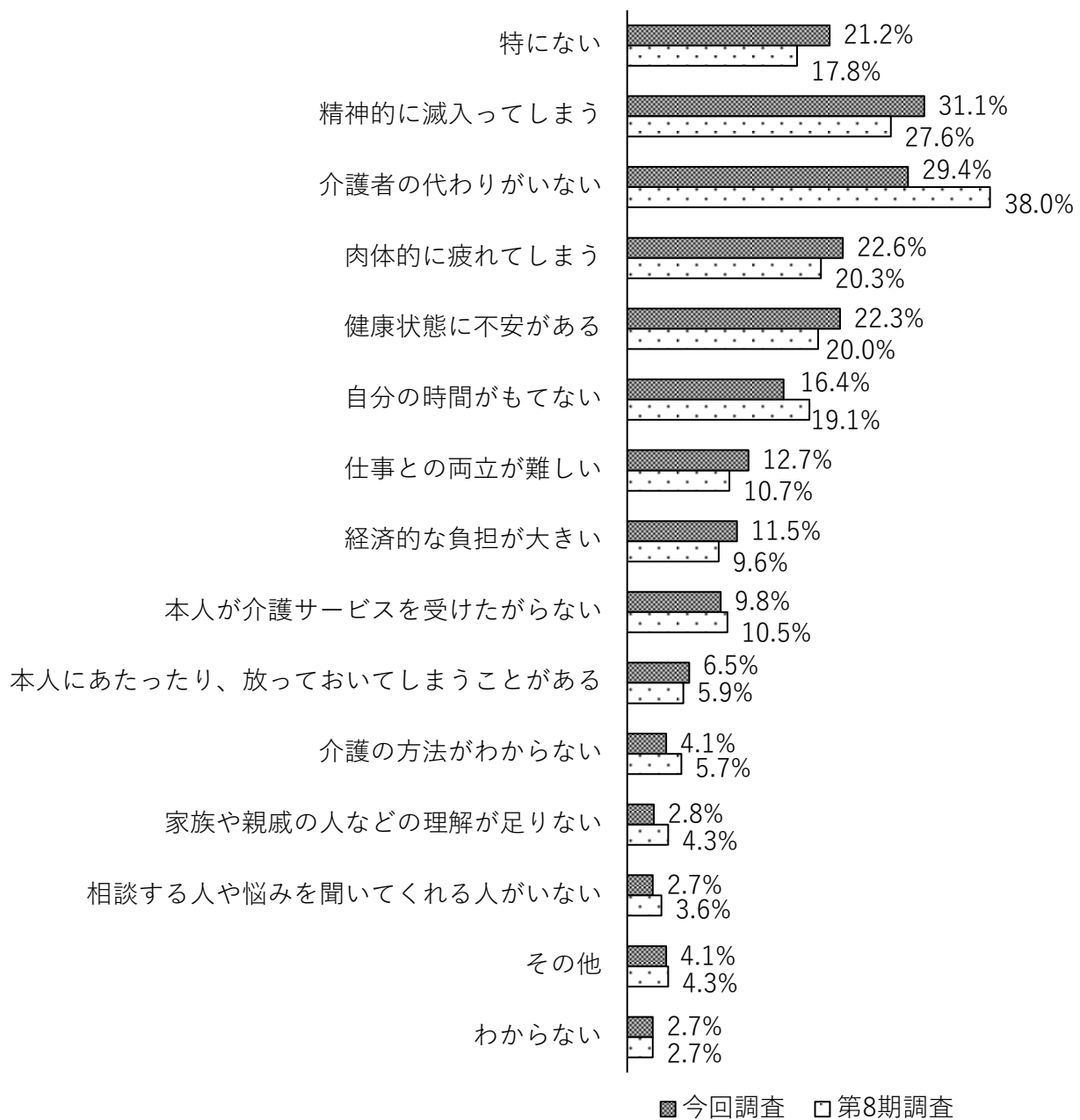
	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等（掃除、その他の家事）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	わからない
全体	6.7	32.8	6.7	17.3	12.6	13.9	6.5	7.9	3.2
軽度あるいは該当しない方	2.2	15.9	5.5	22.5	15.9	15.1	4.4	10.7	5.2
認知症の方	10.4	46.9	7.7	12.9	9.8	12.9	8.3	5.5	1.5

問24 主な介護者の方が介護する上で、どんなことに困っていますか。（3つまで選択可）

【N=707、439(第8期調査)】

介護をする上で困っていることについては、「精神的に滅入ってしまう」が31.1%と最も高く、次いで「介護者の代わりがない」(29.4%)、「肉体的に疲れてしまう」(22.6%)と続いています。一方、「特にない」は21.2%となっています。

第8期調査と比較すると、「介護者の代わりがない」が8.6ポイント低下する一方、「精神的に滅入ってしまう」は3.5ポイント上昇しています。また、「特にない」が3.4ポイント上昇しています。



世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』『夫婦のみ世帯』では「介護者の代わりがない」が、『その他』では「精神的に減入ってしまう」が最も高くなっています。また、『夫婦のみ世帯』では「健康状態に不安がある」が34.3%と、全体を12.8ポイント上回っています。

	合 計	特 に ない	い 介 護 の 方 法 が わ か ら な	受 本 人 が 介 護 サ ー ビ ス を	理 家 族 や 親 戚 の 人 な ど の 理 解 が 足 り な い	い 相 談 す る 人 や 悩 み を 聞 い て く れ る 人 が い な い	い 介 護 者 の 代 わ り が い な	う 精 神 的 に 減 入 っ て し ま	肉 体 的 に 疲 れ て し ま う	経 済 的 な 負 担 が 大 き い
全体	619	21.6	4.2	10.2	2.7	2.6	29.7	31.5	22.0	10.8
単身世帯	172	21.5	2.9	8.1	5.2	3.5	33.1	31.4	15.1	11.6
夫婦のみ世帯	198	19.7	2.0	10.6	1.0	3.0	37.9	27.8	27.3	11.1
その他	249	23.3	6.8	11.2	2.4	1.6	20.9	34.5	22.5	10.0
	仕事との両立が難しい	自分の時間がもてない	健康状態に不安がある	と放本人にあたり、こ とがある	その他	わからない				
全体	13.7	16.6	21.5	6.5	4.2	2.3				
単身世帯	20.9	17.4	11.6	8.1	3.5	2.9				
夫婦のみ世帯	7.1	13.1	34.3	5.1	3.0	1.5				
その他	14.1	18.9	18.1	6.4	5.6	2.4				

介護者別クロス

介護者別にみると、『配偶者』『兄弟・姉妹』では「介護者の代わりがない」が、『子』『子の配偶者』では「精神的に滅入ってしまう」が最も高くなっています。一方、『その他』では「特にない」が最も高くなっています。また、『配偶者』では「健康状態に不安がある」が35.2%と、全体を12.7ポイント上回っています。

	合計	特にない	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを受けられない	家族や親戚の人の理解が足りない	相談する人や悩みのない人	介護者の代わりがない	精神的に滅入ってしまう	肉体的に疲れてしまう	経済的な負担が大きい
全体	692	21.0	4.2	10.0	2.9	2.7	29.9	31.2	22.5	11.6
配偶者	256	19.5	3.1	10.5	2.0	2.7	35.5	28.1	30.9	12.1
子	304	19.7	5.6	8.2	3.6	3.3	28.3	34.5	18.1	11.2
子の配偶者	79	20.3	5.1	15.2	3.8	1.3	22.8	39.2	15.2	12.7
孫	6	33.3	-	33.3	-	-	16.7	16.7	33.3	16.7
兄弟・姉妹	14	28.6	-	-	-	-	42.9	14.3	35.7	14.3
その他	33	39.4	-	9.1	3.0	3.0	15.2	15.2	9.1	6.1

	仕事との両立が難しい	自分の時間がもてない	健康状態に不安がある	本人にあたり、放つとあつたり、とある	その他	わからない
全体	13.0	16.3	22.5	6.6	4.0	2.5
配偶者	4.3	11.7	35.2	6.3	2.7	2.3
子	18.4	19.4	14.8	8.9	4.3	1.6
子の配偶者	19.0	20.3	15.2	2.5	6.3	3.8
孫	16.7	-	16.7	-	-	-
兄弟・姉妹	28.6	14.3	28.6	-	-	-
その他	9.1	18.2	12.1	3.0	9.1	9.1

認知症自立度別クロス

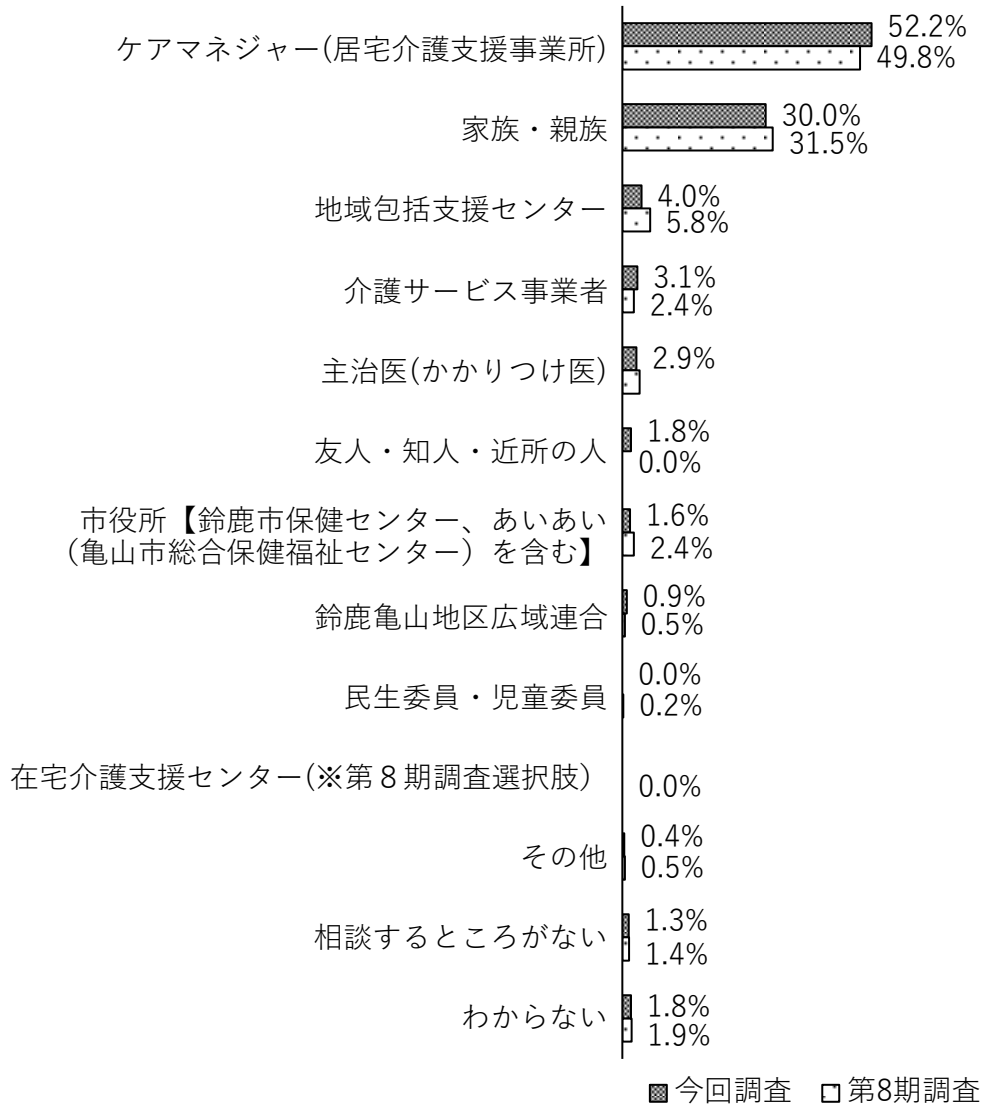
認知症自立度別にみると、『軽度あるいは該当しない方』では「特にない」が、『認知症の方』では「精神的に滅入ってしまう」が最も高くなっています。

	合計	特にない	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを受けられない	家族や親戚の人などの理解が足りない	相談する人や悩みを聞いてくれる人がいない	介護者の代わりがない	精神的に滅入ってしまう	肉体的に疲れてしまう	経済的な負担が大きい
全体	656	20.6	4.0	9.9	2.7	2.7	29.6	31.1	22.6	11.0
軽度あるいは該当しない方	297	27.9	4.4	9.4	2.0	2.7	25.9	20.5	17.8	8.1
認知症の方	359	14.5	3.6	10.3	3.3	2.8	32.6	39.8	26.5	13.4

	仕事との両立が難しい	自分の時間がもてない	健康状態に不安がある	本人にあたり、こ とがある	その他	わからない
全体	13.0	16.6	22.1	6.7	4.3	2.9
軽度あるいは該当しない方	10.8	13.5	25.6	4.0	2.7	4.0
認知症の方	14.8	19.2	19.2	8.9	5.6	1.9

問25 主な介護者の方が介護について相談したいとき、まずどこに相談しますか。(1つを選択)
【N=680、416(第8期調査)】

介護についての相談先については、「ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）」が52.2%と最も高く、次いで「家族・親族」が30.0%と続いています。以下、「地域包括支援センター」(4.0%)、「介護サービス事業者」(3.1%)と続きますが、いずれも5%以下と低くなっています。一方、「相談するところがない」は1.3%となっています。

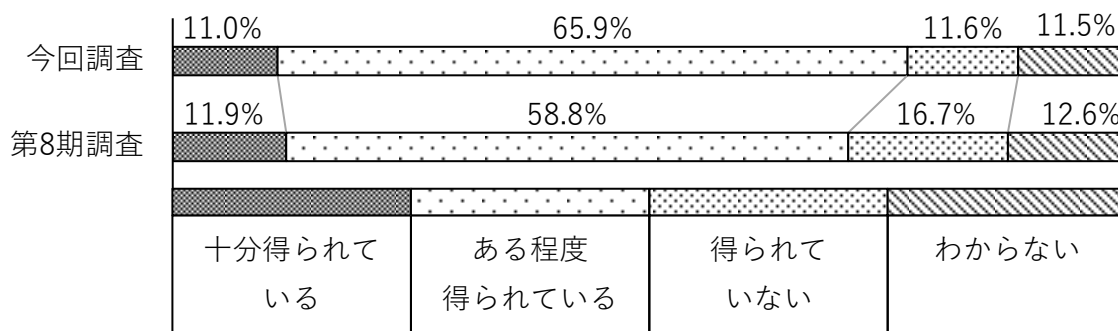


問26 主な介護者の方は、介護に関する情報を得られていますか。（1つを選択）

【N=757、461(第8期調査)】

介護に関する情報の入手状況については、「ある程度得られている」が65.9%を占めており、「十分得られている」(11.0%)を合わせた『得られている』は76.9%を占めています。一方、「得られていない」は11.6%となっています。

第8期調査と比較すると、「得られていない」が5.1ポイント低下する一方、「ある程度得られている」は7.1ポイント上昇しています。



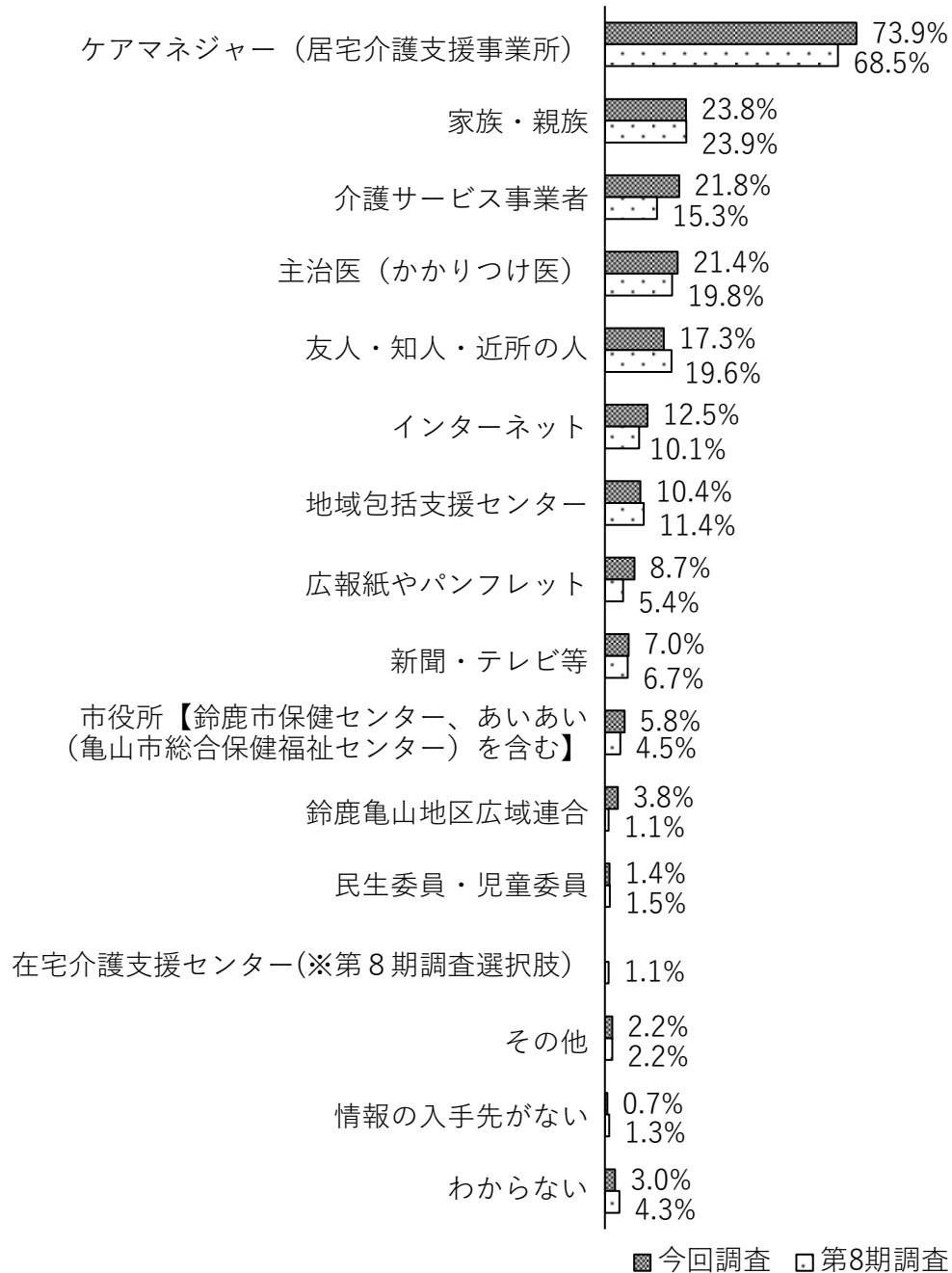
日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『得られている』は『鈴鹿第4』『鈴鹿第5』『亀山第1』では80%を超えています。一方、『鈴鹿第7』では「得られていない」が20.2%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています

	合計	十分得られている	ある程度得られている	得られていない	わからない
全体	756	11.0	65.9	11.6	11.5
鈴鹿第1	73	13.7	63.0	8.2	15.1
鈴鹿第2	100	14.0	63.0	13.0	10.0
鈴鹿第3	66	4.5	72.7	12.1	10.6
鈴鹿第4	57	10.5	70.2	10.5	8.8
鈴鹿第5	87	11.5	72.4	5.7	10.3
鈴鹿第6	65	9.2	69.2	12.3	9.2
鈴鹿第7	89	9.0	57.3	20.2	13.5
鈴鹿第8	49	6.1	67.3	10.2	16.3
亀山第1	81	18.5	64.2	4.9	12.3
亀山第2	89	9.0	64.0	16.9	10.1

問27 主な介護者の方は、介護に関する情報をどのような方法で入手していますか。（複数選択可）
【N=762、464(第8期調査)】

介護に関する情報の入手方法については、「ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）」が73.9%と最も高く、次いで「家族・親族」（23.8%）、「介護サービス事業者」（21.8%）と続いています。一方、「情報の入手先がない」は0.7%となっています。

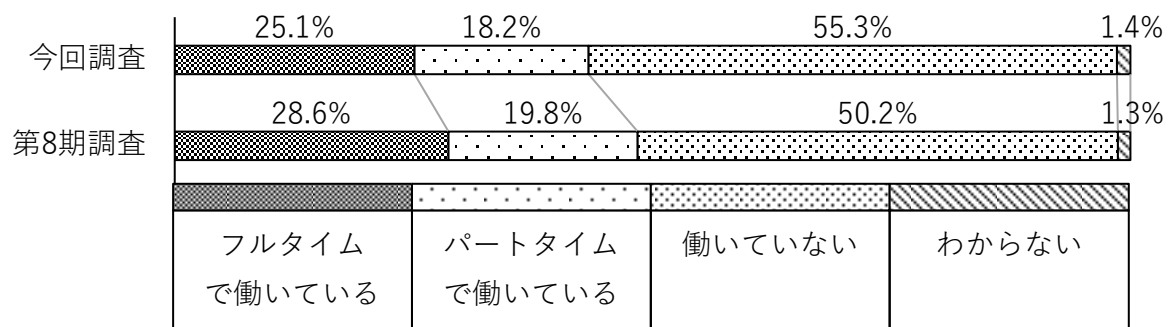


6 主な介護者の方の就労について【介護者への質問】

問28 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

【N=713、454(第8期調査)】

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が過半数(55.3%)を占め、「フルタイムで働いている」は25.1%、「パートタイムで働いている」は18.2%となっています
第8期調査と比較すると、「フルタイムで働いている」が3.5ポイント低下する一方、「働いていない」は5.1ポイント上昇しています。

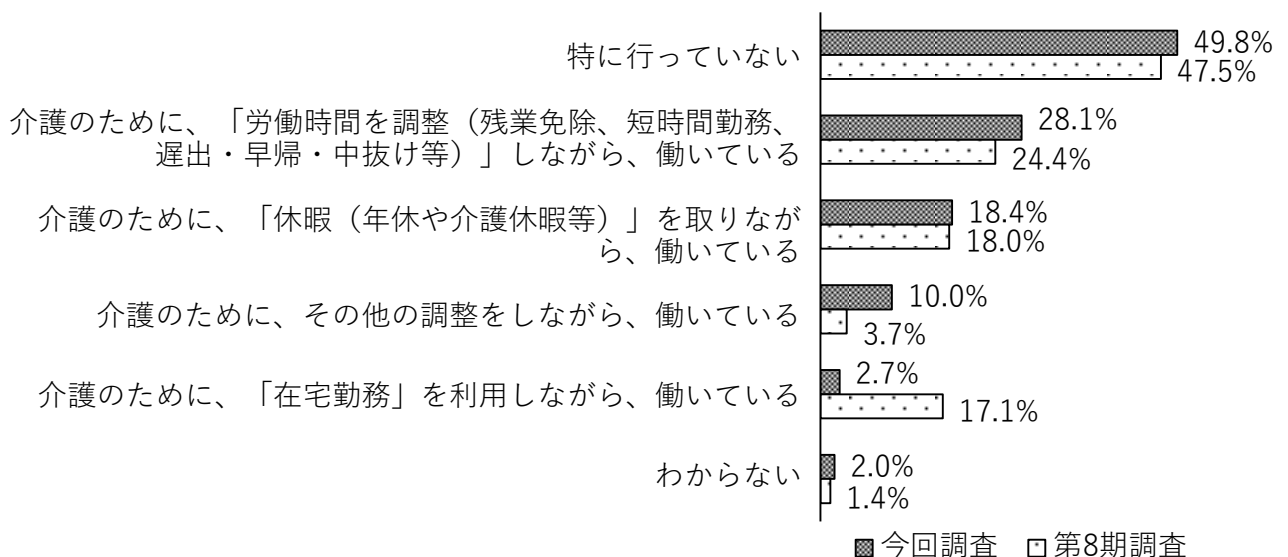


問28で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問28-② 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(複数選択可)【N=299、217(第8期調査)】

働き方の調整等の状況については、「特に行っていない」が49.8%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」(28.1%)、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」(18.4%)と続いています。

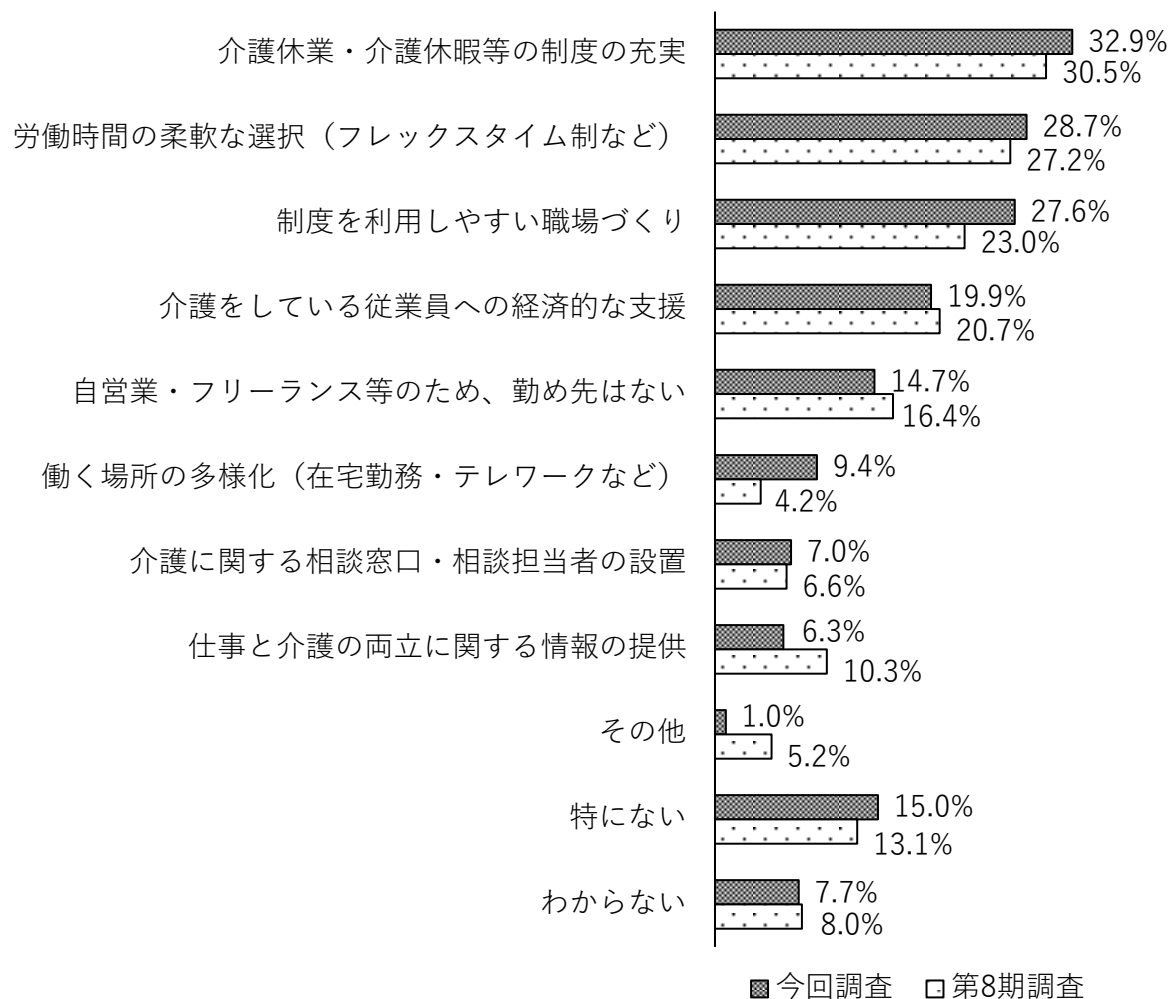
第8期調査と比較すると、「介護のために、その他の調整をしながら、働いている」が6.3ポイント、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が3.7ポイント、「特に行っていない」が2.3ポイント上昇する一方、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」は14.4ポイント低下しています。



問28-③ 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)【N=286、213(第8期調査)】

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.9%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」(28.7%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(27.6%)と続いています。一方、「特にない」は15.0%となっています。

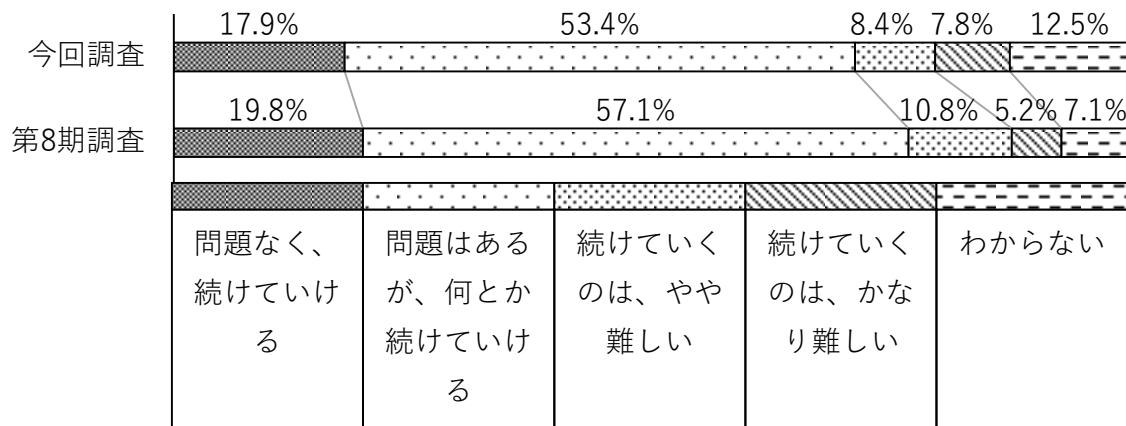
第8期調査と比較すると、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が5.2ポイント、「制度を利用しやすい職場づくり」が4.6ポイント上昇する一方、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」は4.0ポイント低下しています。



問28-④ 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)
【N=296、212(第8期調査)】

今後も働きながら介護を続けていけそうかどうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が53.4%を占め、「問題なく、続けていける」(17.9%)を合わせると『続けていける』は71.3%を占めています。一方、「続けていくのは、やや難しい」(8.4%)と「続けていくのは、かなり難しい」(7.8%)を合わせた『続けていくのは難しい』は16.2%となっています。

第8期調査と比較すると、『続けていける』が5.6ポイント低下しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『続けていける』は『要支援1』『要支援2』では90%近くを占めています。一方、『続けていくのは難しい』は『要介護4』では86.5%、『要介護3』では77.1%と高くなっています。

	合計	問題なく、 続けて	問題はあるが、 何とか 続けていける	続けていくのは、 やや 難しい	続けていくのは、 かなり 難しい	わからない
全体	288	14.6	45.1	11.5	20.8	8.0
要支援1	65	20.0	69.2	6.2	3.1	1.5
要支援2	54	25.9	61.1	7.4	5.6	-
要介護1	23	21.7	56.5	4.3	13.0	4.3
要介護2	28	25.0	28.6	-	-	46.4
要介護3	48	6.3	12.5	-	77.1	4.2
要介護4	37	-	-	62.2	24.3	13.5
要介護5	33	-	75.8	3.0	18.2	3.0

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『夫婦のみ世帯』では『続けていける』が77.5%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合 計	い け る 問 題 な く、 続 け て	と か 問 題 は あ る が、 い け る 何	や 続 け て い く の は、 や 難 し い	か 続 け て い く の は、 な り 難 し い	わ か ら な い
全体	269	18.6	52.8	9.3	7.8	11.5
単身世帯	111	20.7	49.5	9.0	9.9	10.8
夫婦のみ世帯	40	15.0	62.5	7.5	10.0	5.0
その他	118	17.8	52.5	10.2	5.1	14.4

介護者別クロス

介護者別にみると、『配偶者』『子』では『続けていける』が70%を超えて高くなっています。

	合 計	問 題 い け る な く、 続 け て	問 題 と か は 続 け て い る が、 何	続 け て い く の は、 や や 難 し い	続 け て い く の は、 か な り 難 し い	わ か ら な い
全体	288	18.4	52.8	8.7	7.6	12.5
配偶者	41	12.2	63.4	2.4	12.2	9.8
子	179	19.0	53.6	9.5	6.7	11.2
子の配偶者	51	21.6	45.1	11.8	5.9	15.7
孫	2	-	50.0	-	-	50.0
兄弟・姉妹	6	-	50.0	-	16.7	33.3
その他	9	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1

認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『認知症の方』、『軽度あるいは該当しない方』とも『続けていける』が70%を越えており、大きな差はみられません。

	合計	問題なく、 続けて	問題はあるが、 ける何	続けにくいのは、 や	続けにくいのは、 か	わからない
全体	278	18.3	54.0	8.3	7.2	12.2
軽度あるいは 該当しない方	113	22.1	48.7	8.0	7.1	14.2
認知症の方	165	15.8	57.6	8.5	7.3	10.9

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第6』では『続けていける』が84.3%と、他の日常生活圏域に比べて特に高くなっています。一方、『鈴鹿第5』『鈴鹿第7』『亀山第2』では『続けていくのは難しい』が20%以上あり、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	問題なく、 続けて	問題はあるが、 ける何	続けにくいのは、 や	続けにくいのは、 か	わからない
全体	296	17.9	53.4	8.4	7.8	12.5
鈴鹿第1	20	15.0	55.0	-	10.0	20.0
鈴鹿第2	37	35.1	37.8	5.4	8.1	13.5
鈴鹿第3	31	19.4	58.1	-	9.7	12.9
鈴鹿第4	21	14.3	61.9	4.8	14.3	4.8
鈴鹿第5	41	24.4	46.3	12.2	9.8	7.3
鈴鹿第6	19	21.1	63.2	-	-	15.8
鈴鹿第7	43	9.3	53.5	18.6	2.3	16.3
鈴鹿第8	17	23.5	47.1	5.9	5.9	17.6
亀山第1	31	6.5	64.5	9.7	6.5	12.9
亀山第2	36	11.1	55.6	13.9	11.1	8.3

7 ご本人の介護・療養生活について【介護者への質問】

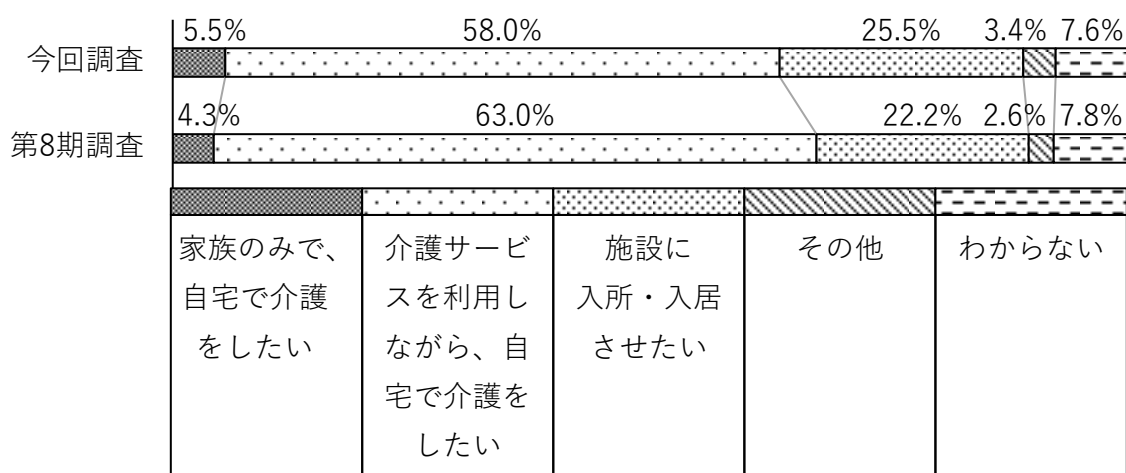
すべての介護者の方にお伺いします。

問29 今後、ご本人(あて名の方)の介護についてどのようにお考えですか。(1つを選択)

【N=728、460(第8期調査)】

今後の介護の考え方については、「介護サービスを利用しながら、自宅で介護をしたい」が58.0%を占め、「家族のみで、自宅で介護をしたい」は5.5%、「施設に入所・入居させたい」は25.5%となっています。

第8期調査と比較すると、「介護サービスを利用しながら、自宅で介護をしたい」が5.0ポイント低下する一方、「施設に入所・入居させたい」は3.3ポイント上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、いずれの要介護度でも「介護サービスを利用しながら、自宅で介護をしたい」が最も高く、特に『要介護5』では72.7%と高くなっています。一方、『要介護1』『要介護3』『要介護4』では「施設に入所・入居させたい」が30%以上あり、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	で家族のみで、 介護をしたい 自宅	で介護しながら、 サービスを利用 したい自宅	施設に入所・ 入居させたい	その他	わからない
全体	722	5.5	58.2	25.2	3.5	7.6
要支援1	110	6.4	58.2	18.2	3.6	13.6
要支援2	131	9.9	63.4	16.0	3.1	7.6
要介護1	181	5.5	54.7	32.6	2.2	5.0
要介護2	124	2.4	61.3	24.2	3.2	8.9
要介護3	88	5.7	50.0	33.0	4.5	6.8
要介護4	55	1.8	54.5	36.4	1.8	5.5
要介護5	33	3.0	72.7	9.1	12.1	3.0

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも「介護サービスを利用しながら、自宅で介護をしたい」が最も高く、特に『夫婦のみ世帯』では65.4%と高くなっています。一方、『単身世帯』では「施設に入所・入居させたい」が40.0%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	で家族のみで、 介護をしたい 自宅	で介護しながら、 サービスを利用 したい自宅	施設に入所・ 入居させたい	その他	わからない
全体	637	5.5	58.4	26.2	3.3	6.6
単身世帯	175	1.7	44.6	40.0	5.7	8.0
夫婦のみ世帯	205	8.8	65.4	20.5	0.5	4.9
その他	257	5.4	62.3	21.4	3.9	7.0

介護者別クロス

介護者別にみると、『兄弟・姉妹』では「施設に入所・入居させたい」が63.6%と最も高くなっています。一方、『配偶者』『子』『子の配偶者』では「介護サービスを利用しながら、自宅で介護をしたい」が過半数を占めており、特に『配偶者』では68.6%と高くなっています。

	合計	で家族の 介護を したい みで、 自宅	で介護 しながら したい サービス を自宅 利用	施設に 入所・ 入居 させたい	その他	わからない
全体	708	5.6	58.2	25.4	3.2	7.5
配偶者	264	9.5	68.6	14.8	1.1	6.1
子	318	4.1	55.0	28.6	4.1	8.2
子の配偶者	79	-	53.2	38.0	3.8	5.1
孫	6	16.7	33.3	33.3	-	16.7
兄弟・姉妹	11	9.1	9.1	63.6	-	18.2
その他	30	-	36.7	36.7	13.3	13.3

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、いずれの日常生活圏域でも「介護サービスを利用しながら、自宅で介護をしたい」が最も高く、特に『鈴鹿第5』では68.7%と高くなっています。一方、『鈴鹿第3』『鈴鹿第4』『鈴鹿第7』では「施設に入所・入居させたい」が30%以上あり、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

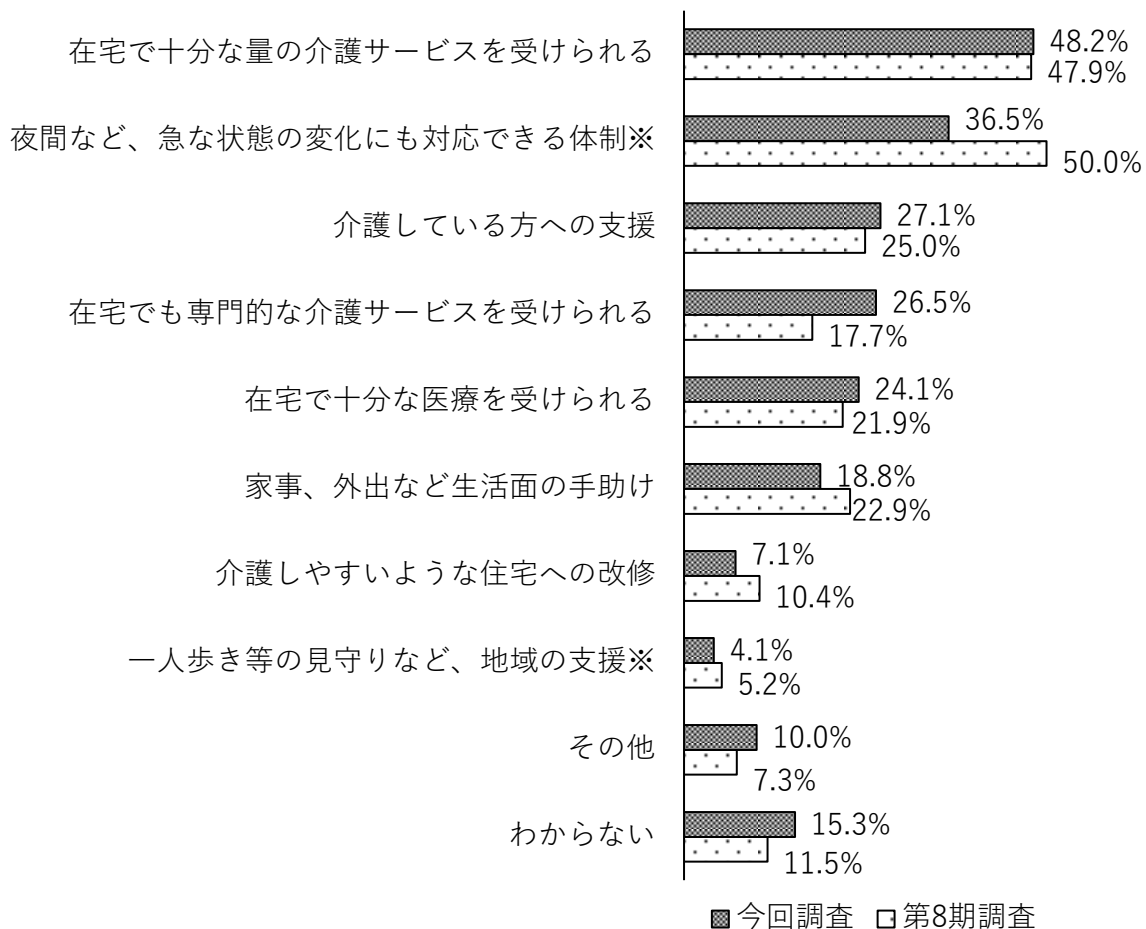
	合計	で家族の 介護を したい みで、 自宅	で介護 しながら したい サービス を自宅 利用	施設に 入所・ 入居 させたい	その他	わからない
全体	727	5.5	58.0	25.4	3.4	7.6
鈴鹿第1	70	7.1	67.1	12.9	7.1	5.7
鈴鹿第2	94	8.5	53.2	22.3	2.1	13.8
鈴鹿第3	67	4.5	46.3	37.3	4.5	7.5
鈴鹿第4	53	5.7	52.8	37.7	1.9	1.9
鈴鹿第5	83	6.0	68.7	22.9	-	2.4
鈴鹿第6	60	1.7	66.7	20.0	3.3	8.3
鈴鹿第7	84	4.8	45.2	31.0	3.6	15.5
鈴鹿第8	47	6.4	55.3	27.7	4.3	6.4
亀山第1	80	2.5	67.5	22.5	3.8	3.8
亀山第2	89	6.7	57.3	24.7	4.5	6.7

問29で「施設に入所・入居させたい」と回答した方にお伺いします。

問29-② どのような条件が整えば、自宅で生活が続けることができると思いますか。
(3つまで選択可)【N=170、96(第8期調査)】

どのような条件が整えば、自宅で生活が続けることができると思うかについては、「在宅で十分な量の介護サービスを受けられる」が48.2%と最も高く、次いで「夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制」(36.5%)、「介護している方への支援」(27.1%)と続いています。

第8期調査と比較すると、「在宅でも専門的な介護サービスを受けられる」が8.8ポイント上昇する一方、「夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制」は13.5ポイント低下しています。



※第8期調査選択肢：「夜間など、急な状態の変化にも安心できる体制」「徘徊(はいかい)の見守りなど、地域の支援」

要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要支援2』では「在宅でも専門的な介護サービスを受けられる」が最も高くなっていますが、他の要介護度ではいずれも「在宅で十分な量の介護サービスを受けられる」が最も高くなっています。

	合 計	介 護 サービスを受けられる	在宅で十分な量の介護サービスを受けることができる体制	夜間など、急な状態の変化にも対応できる	在宅でも専門的な介護サービスを受けることができる	在宅で十分な医療を受けられる	介護しやすい住宅への改修	一人歩き等の見守りなど、地域の支援	介護している方への支援	家事、外出など生活面の手助け	その他	わからない
全体	166	48.2	35.5	27.1	24.1	7.2	4.2	27.7	18.1	10.2	15.7	
要支援 1	19	57.9	52.6	21.1	21.1	-	5.3	21.1	10.5	10.5	10.5	
要支援 2	19	36.8	31.6	42.1	31.6	-	-	5.3	26.3	-	15.8	
要介護 1	54	42.6	37.0	27.8	24.1	11.1	5.6	27.8	18.5	7.4	18.5	
要介護 2	25	64.0	36.0	32.0	24.0	16.0	-	36.0	20.0	20.0	4.0	
要介護 3	28	39.3	25.0	17.9	21.4	7.1	7.1	35.7	21.4	7.1	28.6	
要介護 4	18	55.6	33.3	27.8	22.2	-	-	33.3	11.1	16.7	11.1	
要介護 5	3	66.7	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも「在宅で十分な量の介護サービスを受けられる」が最も高くなっています。また、『単身世帯』では「夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制」が46.2%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	在宅で十分な量の介護サービスを受けられる	夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制	在宅でも専門的な介護サービスを受けられる	在宅で十分な医療を受けられる	介護しやすい住宅への改修	一人歩き等の見守りなど、地域の支援	介護している方への支援	家事、外出など生活面の手助け	その他	わからない
全体	155	51.0	37.4	28.4	25.8	7.7	3.9	27.1	17.4	11.0	13.5
単身世帯	65	53.8	46.2	32.3	27.7	7.7	6.2	26.2	16.9	6.2	13.8
夫婦のみ世帯	39	41.0	35.9	30.8	25.6	2.6	2.6	28.2	17.9	15.4	10.3
その他	51	54.9	27.5	21.6	23.5	11.8	2.0	27.5	17.6	13.7	15.7

介護者別クロス

介護者別にみると、『配偶者』『子』『子の配偶者』では「在宅で十分な量の介護サービスを受けられる」が、『兄弟・姉妹』では「介護している方への支援」が、『その他』では「夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制」が最も高くなっています。

	合計	在宅で十分な量のサービスを受けられる	夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制	在宅でも専門的な介護を受けられる	在宅で十分な医療を受けられる	介護しやすいよう改修を行う	一人歩き等の地域の見守りなど	介護している方への支援	家事、外出などの生活面の手助けなど	その他	わからない
全体	164	48.2	37.2	26.8	24.4	6.7	4.3	27.4	18.9	9.8	15.2
配偶者	36	41.7	27.8	25.0	25.0	2.8	2.8	30.6	22.2	8.3	13.9
子	83	54.2	44.6	28.9	24.1	9.6	6.0	28.9	20.5	7.2	12.0
子の配偶者	29	48.3	27.6	31.0	20.7	3.4	-	20.7	17.2	24.1	13.8
孫	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
兄弟・姉妹	5	40.0	40.0	20.0	40.0	-	-	60.0	-	-	20.0
その他	9	33.3	44.4	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	-	33.3

日常生活圏域別クロス

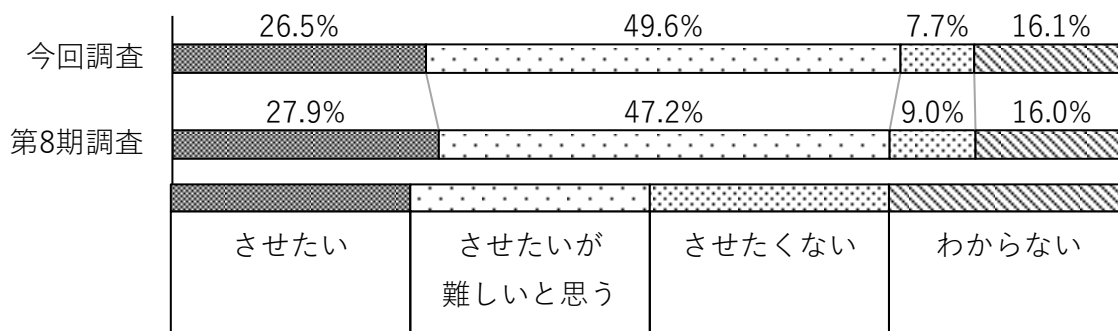
日常生活圏域別にみると、『亀山第1』では「夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制」が最も高くなっています。他の日常生活圏域ではいずれも「在宅で十分な量の介護サービスを受けられる」が最も高くなっていますが、『鈴鹿第1』では「在宅でも専門的な介護サービスを受けられる」が、『鈴鹿第3』では「介護している方への支援」が、『鈴鹿第5』『亀山第2』では「夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制」が同率で高くなっています。

	合計	在宅で十分な量のサービスを受けられる	夜間など、急な状態の変化にも対応できる体制	在宅でも専門的な介護を受けられる	在宅で十分な医療を受けられる	介護しやすいよう改修を行う	一人歩き等の地域の見守りなど	介護している方への支援	家事、外出などの生活面の手助けなど	その他	わからない
全体	169	48.5	36.1	26.6	23.7	7.1	4.1	27.2	18.3	10.1	15.4
鈴鹿第1	8	62.5	25.0	62.5	25.0	-	-	50.0	-	12.5	12.5
鈴鹿第2	19	57.9	31.6	10.5	26.3	5.3	5.3	31.6	5.3	-	31.6
鈴鹿第3	20	40.0	30.0	35.0	20.0	10.0	-	40.0	10.0	10.0	15.0
鈴鹿第4	20	50.0	30.0	20.0	15.0	10.0	5.0	30.0	35.0	10.0	5.0
鈴鹿第5	18	44.4	44.4	11.1	38.9	5.6	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1
鈴鹿第6	10	50.0	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	30.0	30.0	10.0	10.0
鈴鹿第7	26	53.8	34.6	38.5	11.5	3.8	3.8	30.8	26.9	11.5	7.7
鈴鹿第8	12	41.7	33.3	25.0	16.7	8.3	-	16.7	8.3	8.3	41.7
亀山第1	15	40.0	46.7	20.0	33.3	6.7	6.7	-	20.0	6.7	13.3
亀山第2	21	47.6	47.6	38.1	33.3	9.5	-	23.8	23.8	9.5	14.3

再びすべての介護者の方にお伺いします。

問30 主な介護者の方は、ご本人（あて名の方）を自宅で最期まで療養させたいと思いますか。
（1つを選択）【N=697、445(第8期調査)】

自宅で最期まで療養させたいと思うかどうかについては、「させたいが難しいと思う」が約半数(49.6%)を占めています。「させたい」は26.5%、「させたくない」は7.7%となっています。
第8期調査と比較すると、「させたいが難しいと思う」が2.4ポイント上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、いずれの要介護度でも「させたいが難しいと思う」が最も高くなっています。一方、『要介護2』では「させたくない」が12.7%と、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合計	させたい	させたいが難しいと思う	させたくない	わからない
全体	691	26.8	49.3	7.7	16.2
要支援1	102	25.5	42.2	4.9	27.5
要支援2	127	35.4	44.1	2.4	18.1
要介護1	173	23.7	52.0	9.8	14.5
要介護2	118	21.2	55.1	12.7	11.0
要介護3	87	26.4	47.1	9.2	17.2
要介護4	51	29.4	54.9	3.9	11.8
要介護5	33	30.3	54.5	9.1	6.1

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも「させたいが難しいと思う」が最も高くなっています。一方、『夫婦のみ世帯』では「させたい」が31.2%、『単身世帯』では「させたくない」が13.3%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	させたい	させたいが難しいと思う	させたくない	わからない
全体	618	26.2	51.0	7.8	15.0
単身世帯	166	19.9	51.8	13.3	15.1
夫婦のみ世帯	202	31.2	50.0	4.5	14.4
その他	250	26.4	51.2	6.8	15.6

介護者別クロス

介護者別にみると、『兄弟・姉妹』では「わからない」が、『孫』では「させたい」と「させたいが難しいと思う」が同率で最も高くなっていますが、他の介護者ではいずれも「させたいが難しいと思う」が最も高くなっています。また、『兄弟・姉妹』では「させたくない」が25.0%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	させたい	させたいが難しいと思う	させたくない	わからない
全体	682	26.4	50.3	7.6	15.7
配偶者	259	30.5	51.4	4.2	13.9
子	300	27.7	50.0	8.0	14.3
子の配偶者	78	12.8	53.8	11.5	21.8
孫	6	33.3	33.3	16.7	16.7
兄弟・姉妹	12	-	33.3	25.0	41.7
その他	27	22.2	44.4	14.8	18.5

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、いずれの日常生活圏域でも「させたいが難しいと思う」が最も高くなっています。また、『鈴鹿第2』『鈴鹿第5』では「させたい」が30%以上あり、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。一方、『鈴鹿第4』では「させたくない」が17.4%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

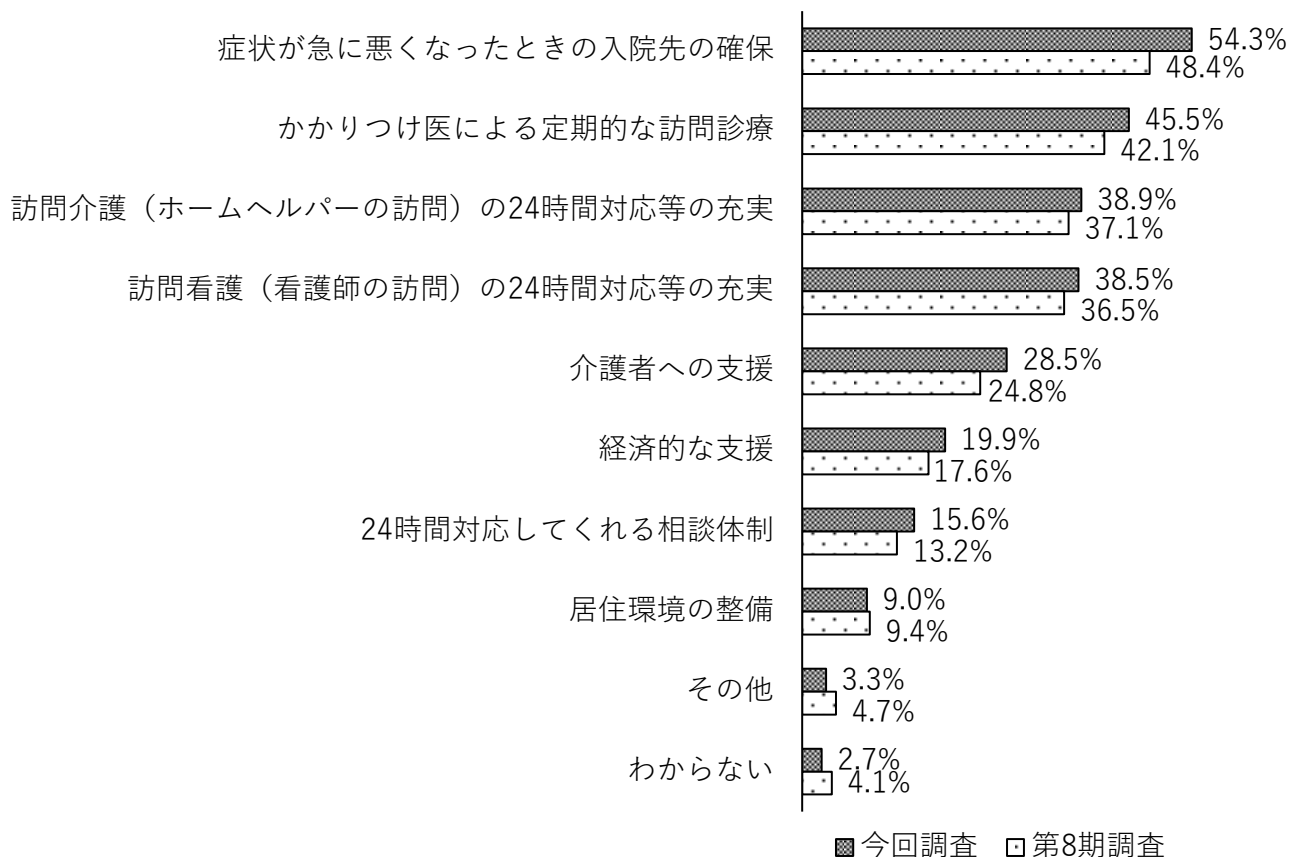
	合 計	さ せ た い	と さ せ た い が 難 し い	さ せ た く な い	わ か ら な い
全体	696	26.6	49.6	7.8	16.1
鈴鹿第1	67	25.4	53.7	4.5	16.4
鈴鹿第2	90	33.3	41.1	2.2	23.3
鈴鹿第3	66	21.2	56.1	12.1	10.6
鈴鹿第4	46	21.7	54.3	17.4	6.5
鈴鹿第5	85	32.9	44.7	5.9	16.5
鈴鹿第6	56	25.0	51.8	8.9	14.3
鈴鹿第7	80	22.5	43.8	7.5	26.3
鈴鹿第8	45	22.2	51.1	8.9	17.8
亀山第1	74	29.7	50.0	10.8	9.5
亀山第2	87	25.3	55.2	5.7	13.8

問30で「させたい」または「させたいが難しいと思う」と回答した方にお伺いします。

問30-② 自宅で最期まで療養するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで選択可)【N=512、318(第8期調査)】

自宅で最期まで療養するために必要なことについては、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が54.3%と最も高く、次いで「かかりつけ医による定期的な訪問診療」(45.5%)、「訪問介護(ホームヘルパーの訪問)の24時間対応等の充実」(38.9%)、「訪問看護(看護師の訪問)の24時間対応等の充実」(38.5%)と続いています。

第8期調査と比較すると、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が5.9ポイント、「介護者への支援」が3.7ポイント、「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が3.4ポイント上昇するなど、「居住環境の整備」以外のほとんどの項目が上昇しています。



要介護度別クロス

要介護度別にみると、『要介護3』では「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が、『要介護2』では「かかりつけ医による定期的な訪問診療」と「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の24時間対応等の充実」が同率で最も高くなっていますが、他の要介護度ではいずれも「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が最も高くなっています。また、『要介護5』では「訪問看護（看護師の訪問）の24時間対応等の充実」が60.7%と、他の要介護度に比べて高くなっています。

	合 計	かかりつけ医による定期的な訪問診療の充実	訪問看護（看護師等の訪問）の充実	訪問介護（ホームヘルパー等の訪問）の充実	24時間対応してくれる相談体制	介護者への支援	症状が急に悪くなったときの入院先の確保	居住環境の整備	経済的な支援	その他	わからない
全体	507	45.4	38.9	39.1	15.4	28.8	54.2	8.9	19.7	3.4	2.8
要支援 1	66	43.9	39.4	30.3	24.2	30.3	59.1	10.6	16.7	1.5	6.1
要支援 2	97	48.5	36.1	40.2	15.5	26.8	57.7	6.2	15.5	3.1	-
要介護 1	129	43.4	40.3	38.8	10.9	31.0	57.4	7.8	22.5	1.6	3.1
要介護 2	87	46.0	35.6	46.0	21.8	29.9	37.9	13.8	18.4	5.7	3.4
要介護 3	61	52.5	36.1	29.5	4.9	29.5	49.2	11.5	26.2	4.9	4.9
要介護 4	39	35.9	35.9	46.2	15.4	28.2	59.0	5.1	17.9	5.1	-
要介護 5	28	42.9	60.7	46.4	17.9	17.9	71.4	3.6	21.4	3.6	-

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』では「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の24時間対応等の充実」が、『夫婦のみ世帯』『その他』では「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が最も高くなっています。また、『夫婦のみ世帯』では「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が51.6%と、他の世帯類型に比べて高くなっています。

	合計	かかりつけ医による定期的な訪問診療	訪問看護（24時間対応の充実）	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の24時間対応の充実	24時間体制で対応してくれる	介護者への支援	症状が急に悪くなったときの入院先の確保	居住環境の整備	経済的な支援	その他	わからない
全体	461	46.0	39.3	39.5	15.0	29.3	52.7	9.3	19.1	3.7	2.4
単身世帯	115	40.9	40.9	46.1	13.9	28.7	45.2	11.3	19.1	4.3	3.5
夫婦のみ世帯	159	51.6	32.1	38.4	15.7	28.3	54.1	6.3	17.6	3.8	1.9
その他	187	44.4	44.4	36.4	15.0	30.5	56.1	10.7	20.3	3.2	2.1

介護者別クロス

介護者別にみると、『孫』では「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が、『兄弟・姉妹』では「介護者への支援」と「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が同率で、最も高くなっていますが、他の介護者ではいずれも「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が最も高くなっています。

	合計	かかりつけ医による定期的な訪問診療	訪問看護（24時間対応の充実）	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の24時間対応の充実	24時間体制で対応してくれる	介護者への支援	症状が急に悪くなったときの入院先の確保	居住環境の整備	経済的な支援	その他	わからない
全体	504	45.4	38.3	38.7	15.9	28.8	54.4	8.9	19.8	3.2	2.8
配偶者	205	49.8	32.7	33.7	17.1	27.8	57.6	4.9	22.0	2.0	2.9
子	225	44.4	44.4	40.9	16.0	28.4	52.0	13.8	17.3	3.6	1.8
子の配偶者	51	39.2	35.3	47.1	13.7	37.3	49.0	5.9	21.6	5.9	2.0
孫	3	66.7	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3
兄弟・姉妹	4	-	-	25.0	-	75.0	75.0	-	25.0	-	25.0
その他	16	31.3	43.8	56.3	12.5	12.5	62.5	6.3	25.0	6.3	6.3

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第6』では「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が、『鈴鹿第5』では「訪問看護（看護師の訪問）の24時間対応等の充実」と「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が同率で最も高くなっていますが、他の日常生活圏域ではいずれも「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が最も高くなっています。

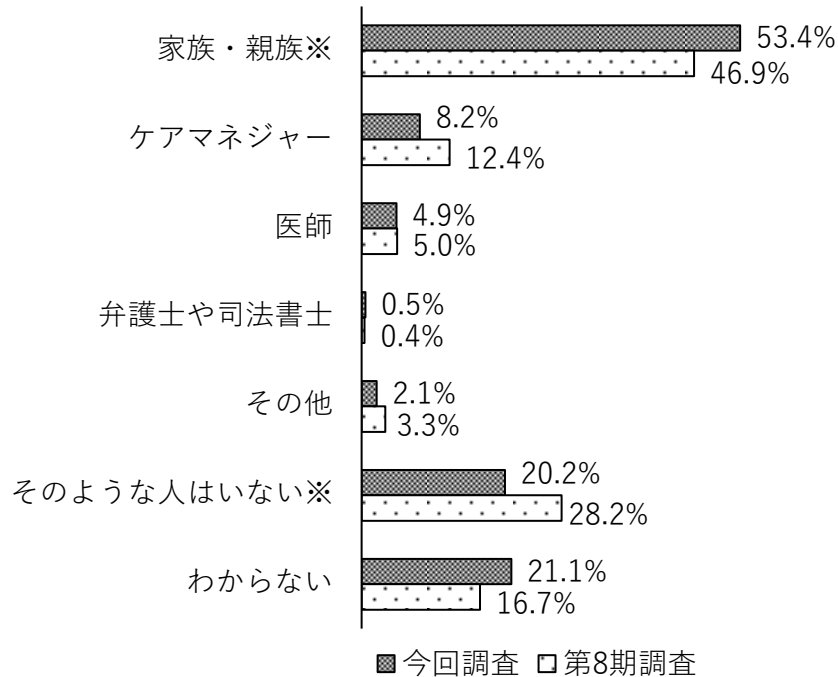
	合 計	か か り つ け 医 に よ る 定 期 な 訪 問 診 療	問 （ の 充 実	訪 問 看 護 （ 看 護 師 の 訪 問 ） の 2 4 時 間 対 応 等 の 充 実	訪 問 介 護 （ ホ ー ム ヘ ル パ ー の 訪 問 ） の 2 4 時 間 対 応 等 の 充 実	2 4 時 間 対 応 し て く れ る 相 談 体 制	介 護 者 へ の 支 援	症 状 が 急 に 悪 く な っ た と き の 入 院 先 の 確 保	居 住 環 境 の 整 備	経 済 的 な 支 援	そ の 他	わ か ら な い
全体	511	45.4	38.6	38.9	15.5	28.6	54.4	9.0	19.8	3.3	2.7	
鈴鹿第 1	52	46.2	38.5	46.2	17.3	25.0	50.0	7.7	21.2	-	3.8	
鈴鹿第 2	65	52.3	38.5	41.5	16.9	32.3	53.8	10.8	16.9	1.5	1.5	
鈴鹿第 3	48	39.6	27.1	33.3	14.6	22.9	50.0	18.8	16.7	6.3	8.3	
鈴鹿第 4	35	31.4	31.4	45.7	11.4	37.1	62.9	5.7	20.0	5.7	-	
鈴鹿第 5	65	43.1	47.7	41.5	20.0	24.6	47.7	6.2	21.5	6.2	3.1	
鈴鹿第 6	41	68.3	24.4	41.5	17.1	29.3	48.8	4.9	29.3	4.9	-	
鈴鹿第 7	52	46.2	40.4	38.5	15.4	32.7	55.8	17.3	25.0	1.9	1.9	
鈴鹿第 8	31	35.5	35.5	22.6	16.1	41.9	45.2	6.5	25.8	3.2	6.5	
亀山第 1	55	40.0	45.5	36.4	9.1	23.6	61.8	5.5	16.4	3.6	1.8	
亀山第 2	67	46.3	44.8	37.3	14.9	25.4	64.2	6.0	11.9	1.5	1.5	

再びすべての介護者の方にお伺いします。

問31 ご本人（あて名の方）が人生の終末期のことについて話している人はいますか。（複数選択可）
【N=731、461(第8期調査)】

人生の終末期のことについて話している相手については、「家族・親族」が53.4%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」(8.2%)、「医師」(4.9%)と続いています。一方、「そのような人はいない」は20.2%となっています。

第8期調査と比較すると、「家族・親族」が6.5ポイント上昇する一方、「そのような人はいない」は8.0ポイント低下しています。また、「ケアマネジャー」も4.2ポイント低下しています。



※第8期調査選択肢：「家族と話している」「誰とも話していない」

性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『65～74歳女性』では「そのような人はいない」が36.8%と最も高くなっていますが、他の性・年齢ではいずれも「家族・親族」が最も高くなっています。

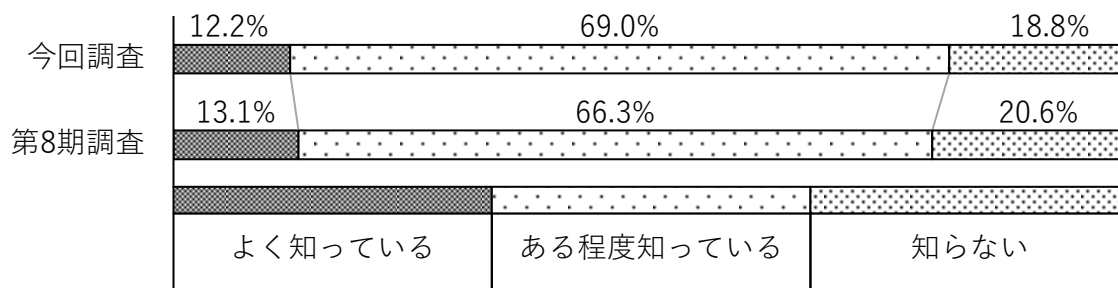
		合計	家族・親族	医師	ケアマネジャー	弁護士や司法書士	その他	ない そのような人はい	わからない
男性	全体	264	57.6	6.1	9.5	0.8	2.7	19.7	17.8
	64歳未満	7	42.9	14.3	-	-	14.3	28.6	14.3
	65～74歳	45	46.7	6.7	8.9	2.2	2.2	28.9	15.6
	75～84歳	119	54.6	5.9	7.6	-	3.4	21.8	18.5
	85歳以上	93	67.7	5.4	12.9	1.1	1.1	11.8	18.3
女性	全体	466	50.9	4.5	7.9	0.4	1.7	20.6	23.0
	64歳未満	10	50.0	10.0	40.0	-	-	30.0	20.0
	65～74歳	38	23.7	5.3	10.5	-	5.3	36.8	23.7
	75～84歳	136	55.1	5.1	6.6	0.7	1.5	18.4	19.9
	85歳以上	282	52.5	3.9	7.1	0.4	1.4	19.1	24.5

問32 認知症は、単なる物忘れとは異なり、アルツハイマー病や脳血管障害などの病気が主な原因となって引き起こされるため、予防したり、進行を遅らせたりすることができると言われています。主な介護者の方は認知症についてどの程度知っていますか。（1つを選択）

【N=738、466(第8期調査)】

認知症の認知状況については、「ある程度知っている」が69.0%を占め、「よく知っている」(12.2%)を合わせると『知っている』は81.2%を占めています。一方、「知らない」は18.8%となっています。

第8期調査と比較すると、『知っている』が1.8ポイント上昇しています。



認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『認知症の方』は『知っている』が85.7%と、『軽度あるいは該当しない方』を10.0ポイント上回っています。

	合計	よく知っている	ある程度知っている	知らない
全体	683	12.0	69.4	18.6
軽度あるいは該当しない方	292	8.9	66.8	24.3
認知症の方	391	14.3	71.4	14.3

日常生活圏域別クロス

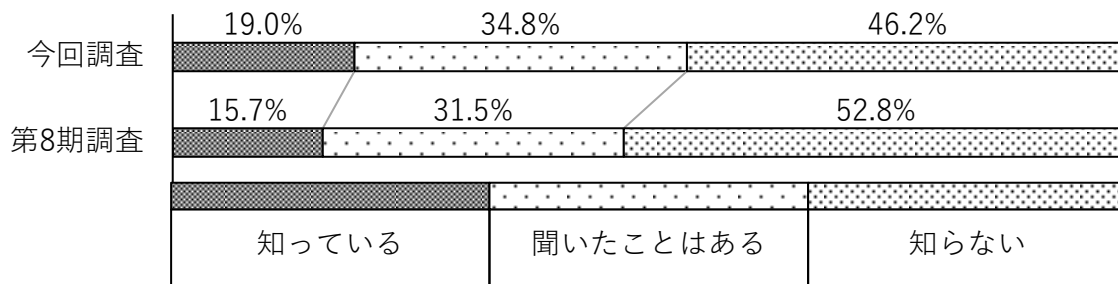
日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第3』
『鈴鹿第6』では『知っている』が85%以上と高くなっています。一方、『亀山第1』では「知らない」が25.0%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

	合 計	い よ く 知 っ て	知 あ る て 程 い 度 る	知 ら な い
全体	737	12.2	68.9	18.9
鈴鹿第1	71	8.5	70.4	21.1
鈴鹿第2	97	11.3	71.1	17.5
鈴鹿第3	68	10.3	77.9	11.8
鈴鹿第4	56	16.1	64.3	19.6
鈴鹿第5	86	17.4	60.5	22.1
鈴鹿第6	60	15.0	70.0	15.0
鈴鹿第7	87	9.2	70.1	20.7
鈴鹿第8	48	10.4	72.9	16.7
亀山第1	76	11.8	63.2	25.0
亀山第2	88	12.5	70.5	17.0

問33 「認知症サポーター」（認知症に関する学習会を受講し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者）についてご存じですか。（1つを選択）【N=733、464(第8期調査)】

「認知症サポーター」の認知状況については、「知らない」が46.2%を占めています。「知っている」は19.0%、「聞いたことはある」は34.8%となっています。

第8期調査と比較すると、「知っている」が3.3ポイント、「聞いたことはある」が3.3ポイント上昇しています。



認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『認知症の方』では「知っている」が21.9%と、『軽度あるいは該当しない方』を5.7ポイント上回っています。

	合計	知っている	聞いたことはある	知らない
全体	679	19.4	34.2	46.4
軽度あるいは該当しない方	290	16.2	35.5	48.3
認知症の方	389	21.9	33.2	45.0

日常生活圏域別クロス

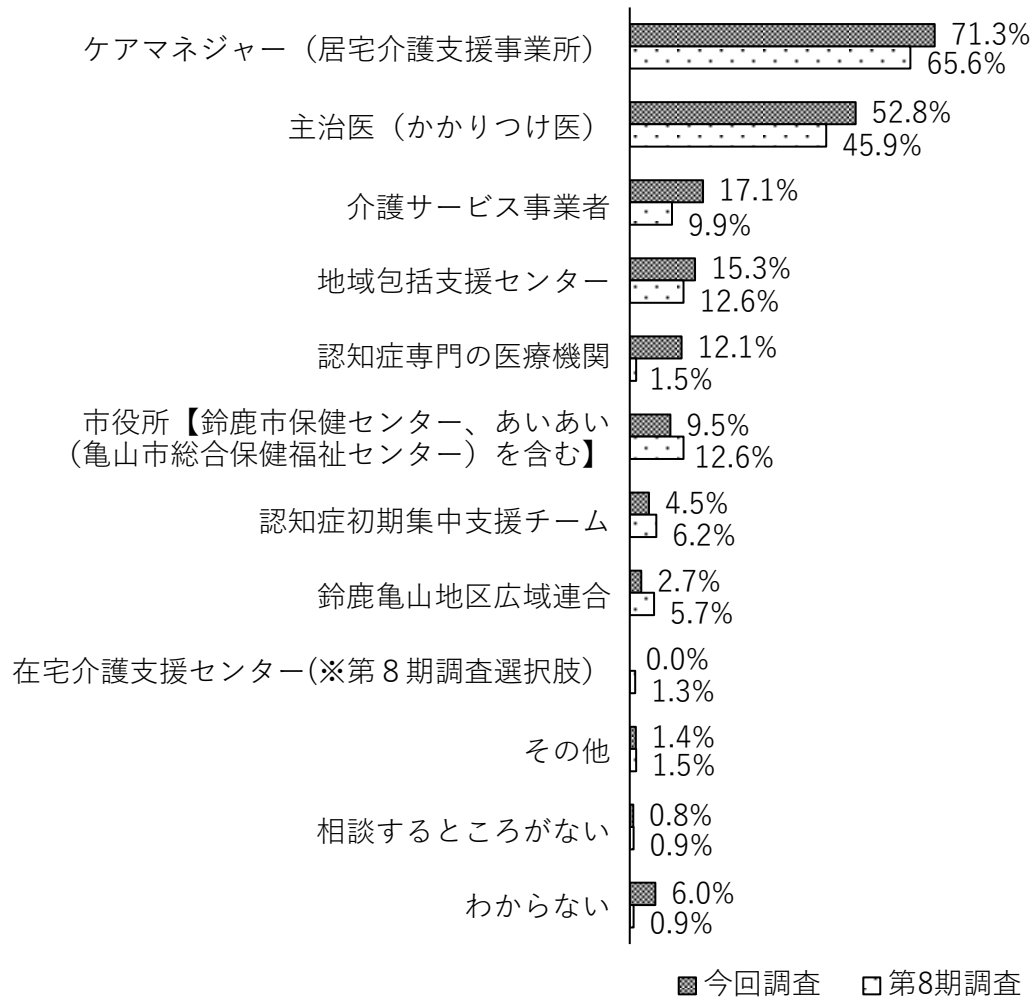
日常生活圏域別にみると、『亀山第2』では「知らない」が25.3%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。一方、『鈴鹿第1』では「知らない」が57.7%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

	合 計	知 っ て い る	あ 聞 いた こ と は	知 ら ない
全体	732	19.0	34.8	46.2
鈴鹿第1	71	15.5	26.8	57.7
鈴鹿第2	95	18.9	35.8	45.3
鈴鹿第3	68	19.1	47.1	33.8
鈴鹿第4	55	18.2	25.5	56.4
鈴鹿第5	85	17.6	36.5	45.9
鈴鹿第6	60	21.7	35.0	43.3
鈴鹿第7	87	18.4	42.5	39.1
鈴鹿第8	48	14.6	39.6	45.8
亀山第1	76	18.4	27.6	53.9
亀山第2	87	25.3	31.0	43.7

問34 認知症について相談する場合、どの相談窓口にご相談しますか。(複数選択可)

【N=738、453(第8期調査)】

認知症について相談する場合の相談先については、「ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）」が71.3%と最も高く、次いで「主治医（かかりつけ医）」(52.8%)、「介護サービス事業者」(17.1%)と続いています。一方、「相談するところがない」は0.8%となっています。



認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、いずれの認知症自立度でも「ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）」が最も高く、次いで「主治医（かかりつけ医）」が続いています。『軽度あるいは該当しない方』では「地域包括支援センター」が、『認知症の方』では「介護サービス事業者」が3番目に高くなっています。

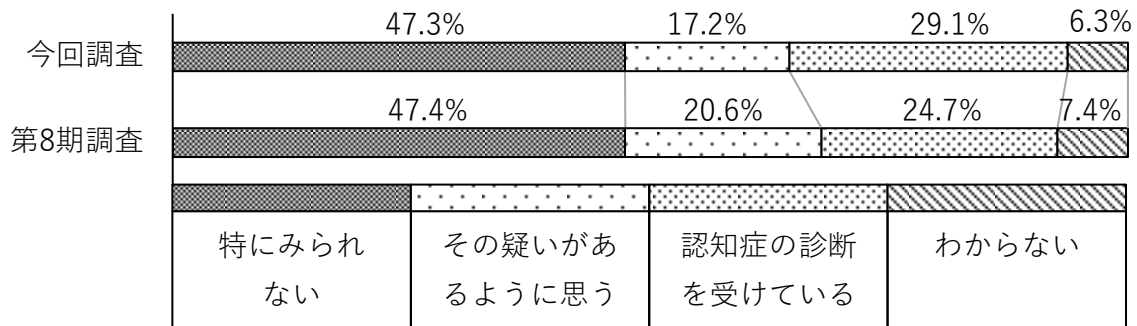
	合計	認知症初期集中支援チーム	ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）	介護サービス事業者	地域包括支援センター	市役所（「鈴鹿市保健センター、あいあい（亀山市総合保健福祉センター）を含む」）	鈴鹿亀山地区広域連合	主治医（かかりつけ医）	認知症専門の医療機関
全体	684	4.4	71.3	17.0	15.2	9.1	2.6	53.1	12.3
軽度あるいは該当しない方	293	4.4	64.5	11.9	19.5	10.9	1.7	50.2	9.6
認知症の方	391	4.3	76.5	20.7	12.0	7.7	3.3	55.2	14.3
	その他	相談するところがない	わからない						
全体	1.3	0.7	6.0						
軽度あるいは該当しない方	1.0	0.7	9.6						
認知症の方	1.5	0.8	3.3						

問35 ご本人（あて名の方）には認知症の症状がみられますか。（1つを選択）

【N=725、462(第8期調査)】

認知症の症状については、「特にみられない」が47.3%、「認知症の診断を受けている」が29.1%、「その疑いがあるように思う」が17.2%となっています。

第8期調査と比較すると、「認知症の診断を受けている」が4.4ポイント上昇しています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『75～84歳男性』『85歳以上女性』では「認知症の診断を受けている」が30%を超えています。また、『75～84歳女性』では「その疑いがあるように思う」が22.1%と、他の性・年齢に比べて高くなっています。

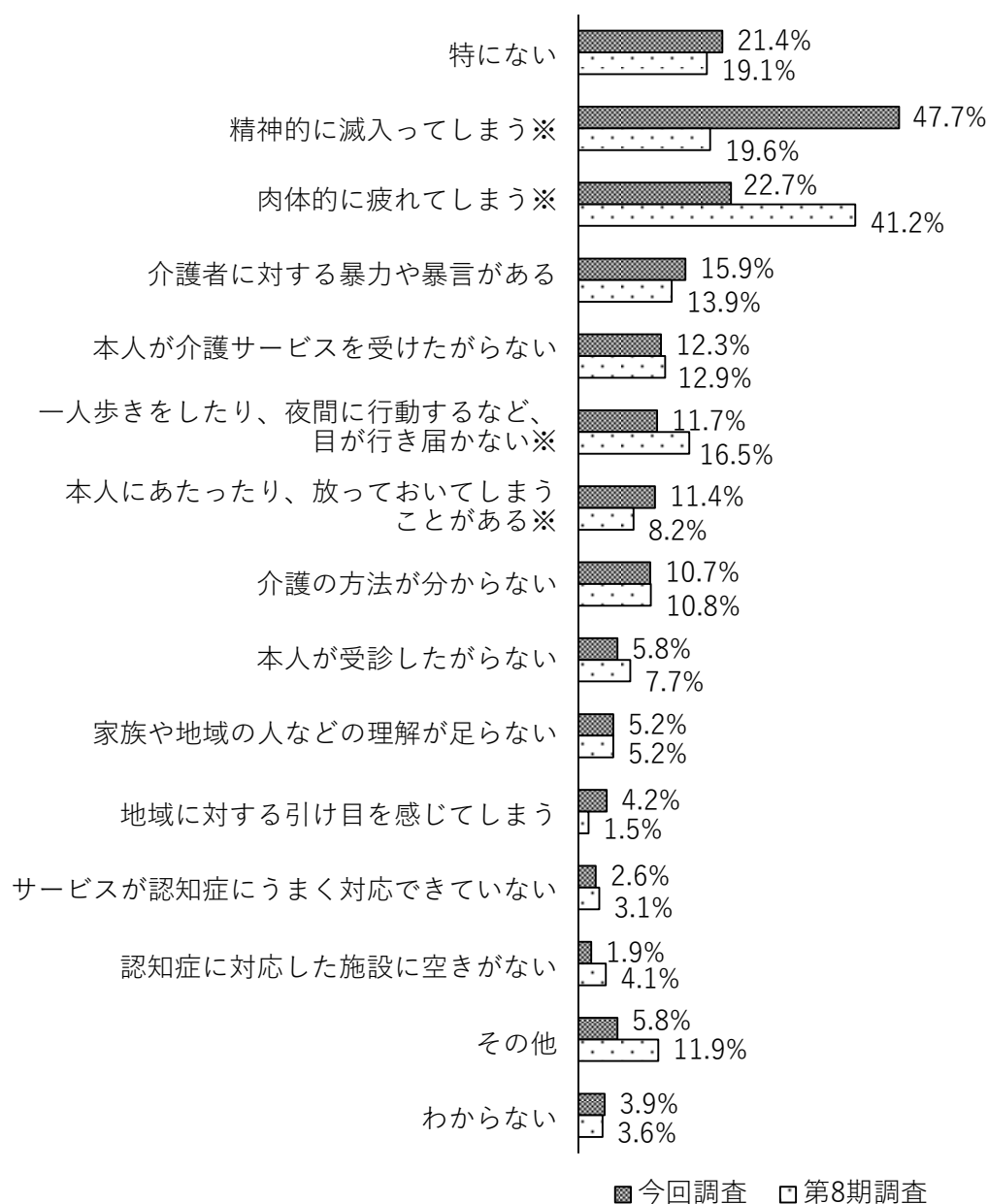
		合計	特にみられない	その疑いがあるように思う	認知症の診断を受けている	わからない
男性	全体	261	53.3	16.5	25.3	5.0
	64歳未満	7	71.4	-	28.6	-
	65～74歳	48	60.4	14.6	20.8	4.2
	75～84歳	114	46.5	17.5	31.6	4.4
	85歳以上	92	56.5	17.4	19.6	6.5
女性	全体	463	43.8	17.7	31.3	7.1
	64歳未満	9	88.9	-	11.1	-
	65～74歳	37	59.5	5.4	29.7	5.4
	75～84歳	136	41.9	22.1	28.7	7.4
	85歳以上	281	41.3	17.8	33.5	7.5

問35で「その疑いがあるように思う」または「認知症の診断を受けている」と回答した方にお伺いします。

問35－② 認知症に対して、主な介護者の方が困っていることは何ですか。（3つまで選択可）
【N=308、194(第8期調査)】

認知症に対して主な介護者が困っていることについては、「精神的に滅入ってしまう」が47.7%と最も高く、次いで「肉体的に疲れてしまう」(22.7%)、「介護者に対する暴力や暴言がある」(15.9%)と続いています。一方、「特にない」は21.4%となっています。

第8期調査と比較すると、「精神的に滅入ってしまう」が28.1ポイント上昇する一方、「肉体的に疲れてしまう」は18.5ポイント低下しています。



※第8期調査選択肢：「介護者が精神的にふさぎこんでしまう」「介護者が肉体的に疲れてしまう」「徘徊したり、夜間に行動するなど、目が行き届かない」「介護者が本人に八つ当たりしてしまう」

認知症自立度別クロス

認知症自立度別にみると、『軽度あるいは該当しない方』『認知症の方』のどちらも「精神的に滅入ってしまう」が最も高くなっています。次いで『軽度あるいは該当しない方』では「特にない」が、『認知症の方』では「肉体的に疲れてしまう」が続いています。また、『軽度あるいは該当しない方』では「本人が介護サービスを受けたがらない」が19.0%と、『認知症の方』を7.8ポイント上回っています。『認知症の方』では「介護者に対する暴力や暴言がある」が17.6%と、『軽度あるいは該当しない方』を12.8ポイント上回っています。

	合計	特にない	間一歩 が行き届かないなど、 目夜	暴言がある 介護者に対する暴力や	地域に 感じて 引け目	家族や 地域の 人など の	介護の 方法が 分から ない	本人が 受診し たがら ない	本人が 介護サ ービス を受 けられ ない	ま く サ ー ビ ス に 対 応 し て い な い
全体	292	21.2	12.0	15.8	4.5	5.5	10.3	6.2	12.3	2.4
軽度あるいは 該当しない方	42	28.6	2.4	4.8	4.8	9.5	7.1	7.1	19.0	2.4
認知症の方	250	20.0	13.6	17.6	4.4	4.8	10.8	6.0	11.2	2.4

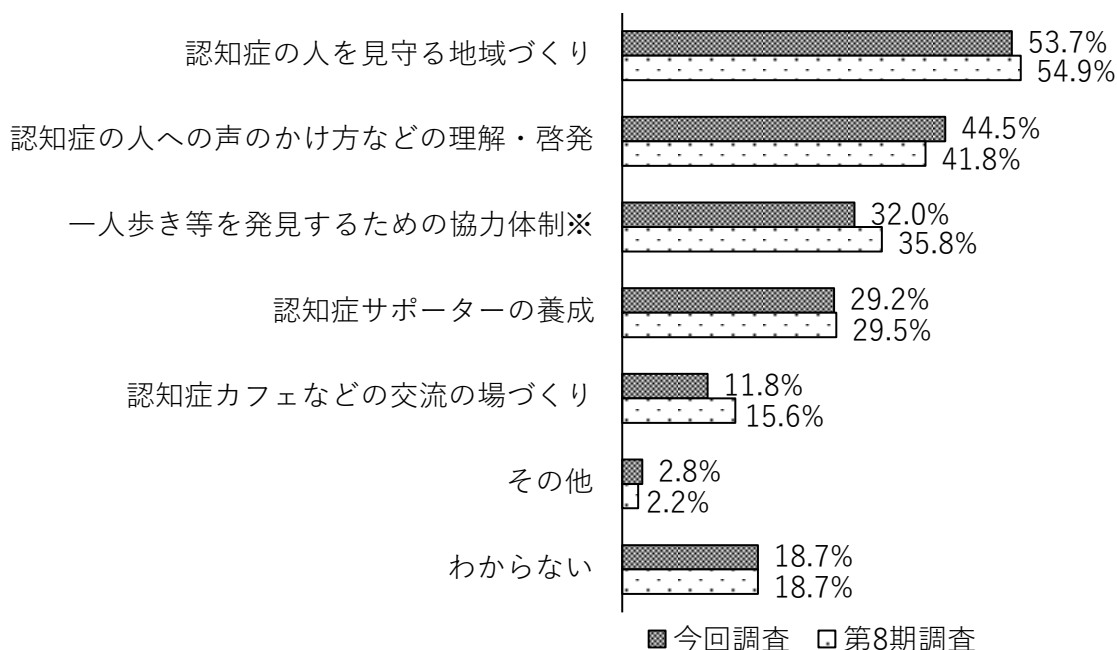
	認知症 に 対 応 し た 施 設	精 神 的 に 滅 入 っ て し ま う	肉 体 的 に 疲 れ て し ま う	本 人 に あ い た つ た り 、 こ と が あ る	そ の 他	わ か ら な い
全体	2.1	47.9	22.3	11.3	5.8	3.8
軽度あるいは 該当しない方	2.4	31.0	19.0	9.5	2.4	11.9
認知症の方	2.0	50.8	22.8	11.6	6.4	2.4

再びすべての介護者の方にお伺いします。

問36 認知症の人が地域の中で暮らしていくために、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで選択可)【N=712、455(第8期調査)】

認知症の人が地域の中で暮らしていくために必要なことについては、「認知症の人を見守る地域づくり」が53.7%と最も高く、次いで「認知症の人への声のかけ方などの理解・啓発」(44.5%)、「一人歩き等を発見するための協力体制」(32.0%)と続いています。

第8期調査と比較すると、「認知症の人への声のかけ方などの理解・啓発」が2.7ポイント上昇する一方、「一人歩き等を発見するための協力体制」「認知症カフェなどの交流の場づくり」は3.8ポイント低下しています。

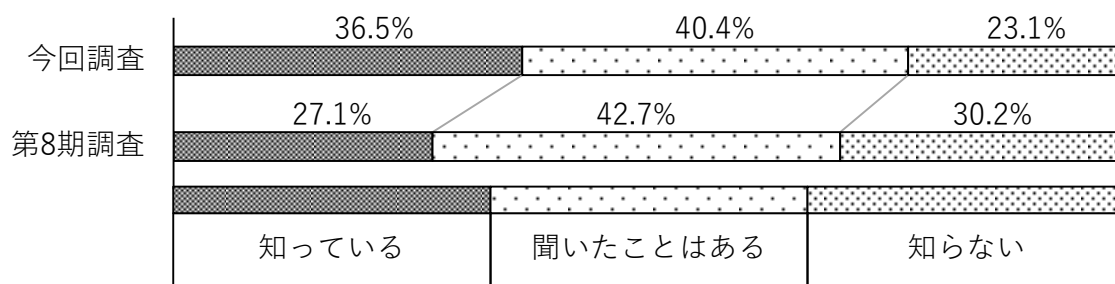


※第8期調査選択肢：「徘徊（はいかい）を発見するための協力体制」

問37 認知症などにより物事の判断能力が十分でない人に代わり、家庭裁判所が選んだ「成年後見人」が財産管理などを行う制度（成年後見制度）があります。主な介護者の方は、「成年後見制度」のことをご存じですか。(1つを選択)【N=737、461(第8期調査)】

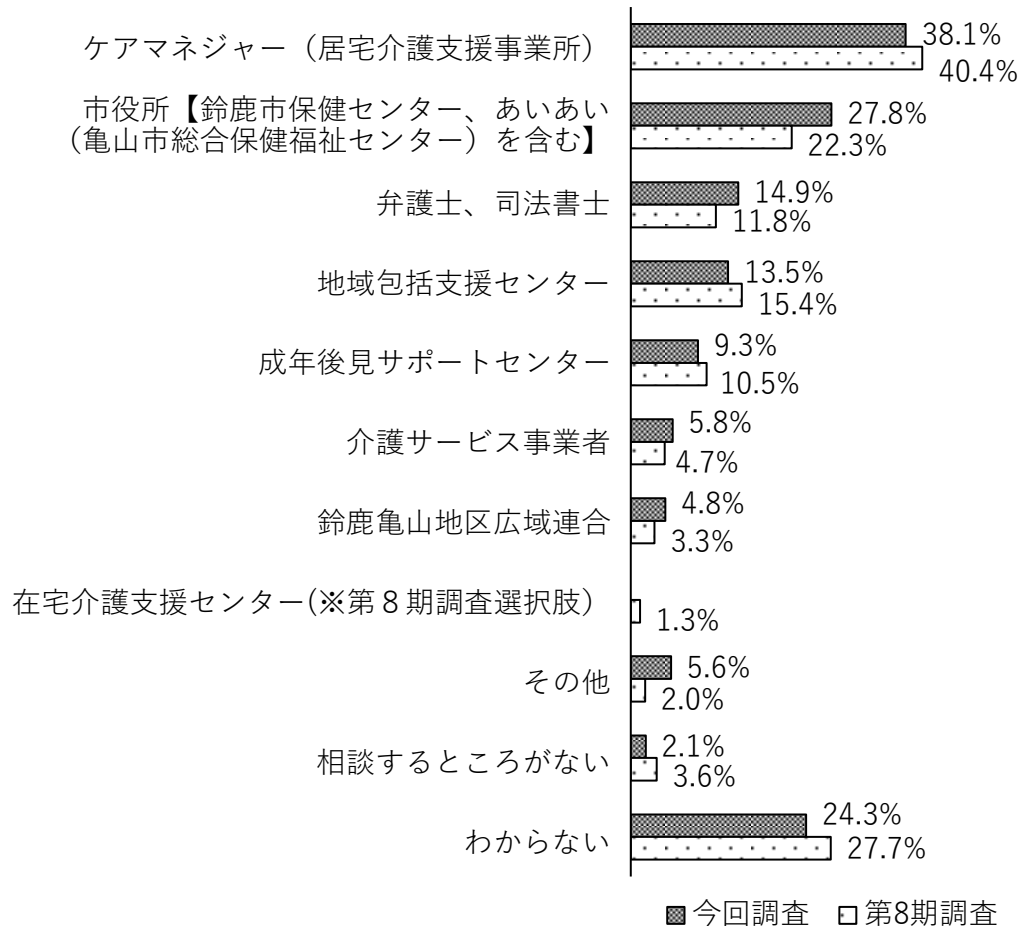
「成年後見制度」の認知状況については、「聞いたことはある」が40.4%を占めており、「知っている」は36.5%、「知らない」は23.1%となっています。

第8期調査と比較すると、「知っている」が9.4ポイント上昇しています。



問38 成年後見や財産管理などについて相談する場合、どの相談窓口にご相談しますか。(複数選択可)
【N=712、448(第8期調査)】

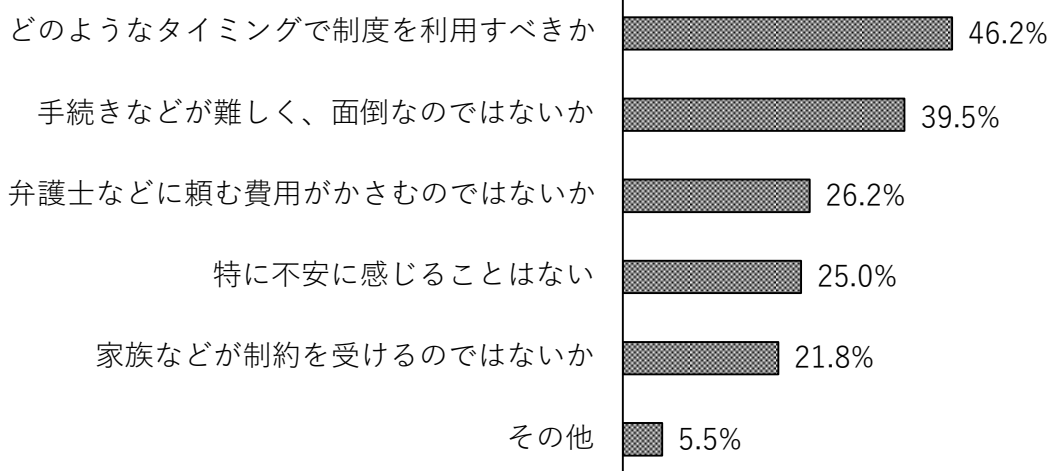
成年後見や財産管理などの相談先については、「ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）」が38.1%と最も高く、次いで「市役所【鈴鹿市保健センター、あいあいを含む】」（27.8%）、「弁護士、司法書士」（14.9%）と続いています。一方、「相談するところがない」は2.1%となっています。



問39 成年後見や財産管理などが必要になった場合、どのようなことに不安を感じますか。

(複数選択可) 【N=688】

成年後見や財産管理などが必要になった場合に不安を感じることは、「どのようなタイミングで制度を利用すべきか」が46.2%と最も高く、次いで「手続きなどが難しく、面倒なのではないか」(39.5%)、「弁護士などに頼む費用がかさむのではないか」(26.2%)と続いています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『65～74歳男性』『75～84歳』男女、『85歳以上女性』では「どのようなタイミングで制度を利用すべきか」が、『64歳未満男性』『85歳以上男性』『65～74歳女性』では「手続きなどが難しく、面倒なのではないか」が最も高くなっています。『64歳未満女性』では「どのようなタイミングで制度を利用すべきか」と「手続きなどが難しく、面倒なのではないか」が同率となっています。

		合計	特に不安に感じる	どのようなタイミングで利用すべきか	手続きなどが難しく、面倒なのではないか	家族などが制約を受けるのではないか	費用がかさむのではないか	弁護士に頼む費用がかさむのではないか	その他
男性	全体	240	22.5	47.9	42.5	22.9	29.2	5.4	
	64歳未満	6	33.3	33.3	50.0	33.3	33.3	-	
	65～74歳	45	15.6	57.8	40.0	33.3	35.6	2.2	
	75～84歳	106	21.7	49.1	40.6	26.4	25.5	6.6	
	85歳以上	83	26.5	42.2	45.8	12.0	30.1	6.0	
女性	全体	447	26.4	45.4	38.7	21.7	25.1	5.6	
	64歳未満	8	25.0	50.0	50.0	12.5	37.5	-	
	65～74歳	34	23.5	47.1	55.9	17.6	23.5	2.9	
	75～84歳	134	26.1	44.0	34.3	21.6	30.6	8.2	
	85歳以上	271	26.9	45.8	38.4	22.5	22.1	4.8	

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、いずれの世帯類型でも「どのようなタイミングで制度を利用すべきか」が最も高く、次いで「手続きなどが難しく、面倒なのではないか」が続いており、世帯類型による差はほとんどみられません。

	合計	こ と は 不 安 に 感 じ る	す べ ぐ の よ う な 制 度 を タ イ ミ ン グ で 利 用 ミ ス	な い 、 手 続 き な ど が 難 し く 、 面 倒 な の で は な い か	か 受 け る な ど が 制 約 を 受 け る こ と が 多 い か	は 費 用 が か か る こ と が 多 い か	弁 護 士 な ど の 利 用 が 多 い か	そ の 他
全体	612	24.3	47.2	40.0	20.9	25.5		5.4
単身世帯	177	24.3	44.1	43.5	20.3	30.5		4.5
夫婦のみ世帯	187	23.0	49.7	43.3	17.1	24.1		4.8
その他	248	25.4	47.6	35.1	24.2	23.0		6.5

日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第6』『鈴鹿第7』『鈴鹿第8』では「手続きなどが難しく、面倒なのではないか」が、他の日常生活圏域では「どのようなタイミングで制度を利用すべきか」が最も高くなっています。

	合計	こ と は 不 安 に 感 じ る	す べ ぐ の よ う な 制 度 を タ イ ミ ン グ で 利 用 ミ ス	な い 、 手 続 き な ど が 難 し く 、 面 倒 な の で は な い か	か 受 け る な ど が 制 約 を 受 け る こ と が 多 い か	は 費 用 が か か る こ と が 多 い か	弁 護 士 な ど の 利 用 が 多 い か	そ の 他
全体	687	25.0	46.3	39.6	21.8	26.1		5.5
鈴鹿第1	63	28.6	47.6	30.2	14.3	25.4		1.6
鈴鹿第2	88	37.5	39.8	30.7	13.6	17.0		3.4
鈴鹿第3	61	21.3	44.3	29.5	16.4	24.6		13.1
鈴鹿第4	53	24.5	52.8	34.0	34.0	26.4		-
鈴鹿第5	83	20.5	57.8	51.8	24.1	28.9		7.2
鈴鹿第6	54	16.7	44.4	46.3	29.6	33.3		5.6
鈴鹿第7	81	24.7	43.2	49.4	19.8	33.3		6.2
鈴鹿第8	45	33.3	33.3	48.9	31.1	28.9		4.4
亀山第1	75	24.0	48.0	36.0	24.0	22.7		5.3
亀山第2	84	19.0	47.6	39.3	20.2	23.8		7.1

8 地域における支援体制(地域包括ケア)について

【介護者への質問】

すべての介護者の方にお伺いします。

問40 鈴鹿亀山地区には、介護サービスなどに関する身近な相談の場として、鈴鹿市内に8か所、亀山市内に2か所の「地域包括支援センター」があります。地域包括支援センターをご存知ですか。(1つを選択)【N=724、450(第8期調査)】

地域包括支援センターの認知状況については、「自分の居住する地区を担当するセンターを知っている」が63.5%を占め、「地域包括支援センターのことは知っているが、自分の居住する地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない」は23.8%、「地域包括支援センターのことは知らない」は12.7%となっています。

第8期調査と比較すると、「地域包括支援センターのことは知らない」が5.5ポイント低下する一方、「地域包括支援センターのことは知っているが、自分の居住する地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない」は4.5ポイント上昇しています。

今回調査	63.5%	23.8%	12.7%
第8期調査	62.4%	19.3%	18.2%
	自分の居住する地区を担当するセンターを知っている	地域包括支援センターのことは知っているが、自分の居住する地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない	地域包括支援センターのことは知らない

性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも「自分の居住する地区を担当するセンターを知っている」が最も高く、特に『64歳未満男性』『65～74歳男性』では70%を超えています。一方、『75～84歳男性』では「地域包括支援センターのことは知らない」が16.5%と、他の性・年齢に比べて高くなっています。

		合計	自分の居住する地区を担当するセンターを知っている	地域包括支援センターのことは知らない	地域包括支援センターのことは知らない
男性	全体	261	67.8	19.5	12.6
	64歳未満	7	71.4	14.3	14.3
	65～74歳	47	70.2	19.1	10.6
	75～84歳	115	66.1	17.4	16.5
	85歳以上	92	68.5	22.8	8.7
女性	全体	462	61.0	26.2	12.8
	64歳未満	9	55.6	33.3	11.1
	65～74歳	36	58.3	27.8	13.9
	75～84歳	137	58.4	28.5	13.1
	85歳以上	280	62.9	24.6	12.5

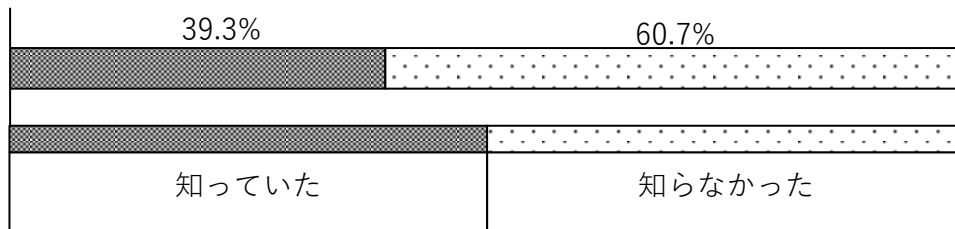
日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、いずれの日常生活圏域でも「自分の居住する地区を担当するセンターを知っている」が最も高く、特に『鈴鹿第3』では74.6%と高くなっています。一方、『亀山第1』では「地域包括支援センターのことは知らない」が24.0%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

	合 計	自分の居住する地区を担当するセンターを知っている	地域包括支援センターがあるが、自分の居住する地区を担当するセンターのことは知らない	地域包括支援センターのことは知らない
全体	723	63.5	23.8	12.7
鈴鹿第1	70	67.1	24.3	8.6
鈴鹿第2	94	61.7	28.7	9.6
鈴鹿第3	63	74.6	22.2	3.2
鈴鹿第4	56	62.5	21.4	16.1
鈴鹿第5	87	66.7	20.7	12.6
鈴鹿第6	60	63.3	25.0	11.7
鈴鹿第7	82	67.1	18.3	14.6
鈴鹿第8	47	63.8	31.9	4.3
亀山第1	75	54.7	21.3	24.0
亀山第2	89	56.2	25.8	18.0

問41 地域包括支援センターは、令和3年4月から箇所数が増え、担当区域が狭くなり、きめ細やかな対応が可能になりました。このことはご存知でしたか。（1つを選択）【N=735】

地域包括支援センターの箇所数が増え、担当区域が狭くなり、きめ細やかな対応が可能になったことを「知っていた」は39.3%となっており、「知らなかった」が60.7%を占めています。



日常生活圏域別クロス

日常生活圏域別にみると、『鈴鹿第8』では「知っていた」が50.0%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。一方、『鈴鹿第4』『亀山第1』では「知らなかった」が65%以上と高くなっています。

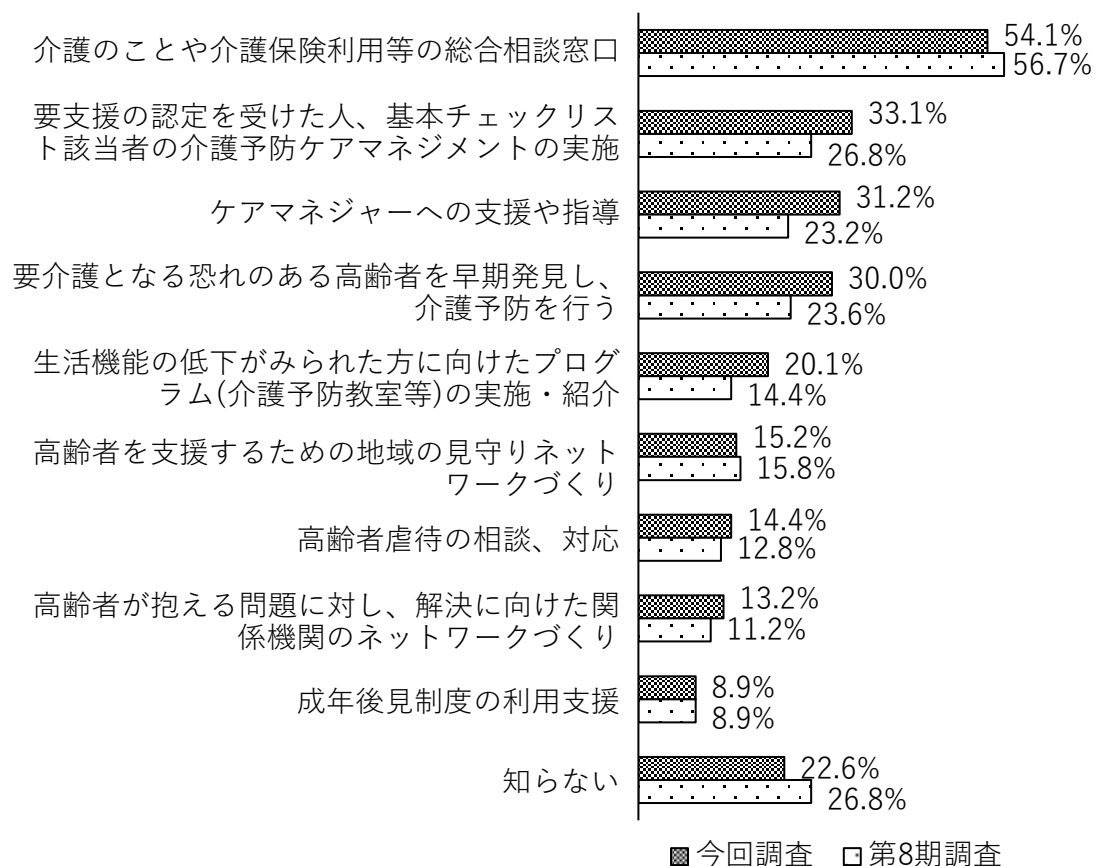
	合計	知っていた	知らなかった
全体	734	39.4	60.6
鈴鹿第1	71	38.0	62.0
鈴鹿第2	95	37.9	62.1
鈴鹿第3	65	44.6	55.4
鈴鹿第4	55	32.7	67.3
鈴鹿第5	89	40.4	59.6
鈴鹿第6	63	39.7	60.3
鈴鹿第7	82	45.1	54.9
鈴鹿第8	48	50.0	50.0
亀山第1	76	32.9	67.1
亀山第2	90	35.6	64.4

問42 「地域包括支援センター」の役割として知っているものはどれですか。(複数選択可)

【N=717、436(第8期調査)】

「地域包括支援センター」の役割として知っているものについては、「介護のことや介護保険利用等の総合相談窓口」が54.1%と最も高く、次いで「要支援の認定を受けた人、基本チェックリスト該当者の介護予防ケアマネジメントの実施」(33.1%)、「ケアマネジャーへの支援や指導」(31.2%)と続いています。一方、「知らない」は22.6%となっています。

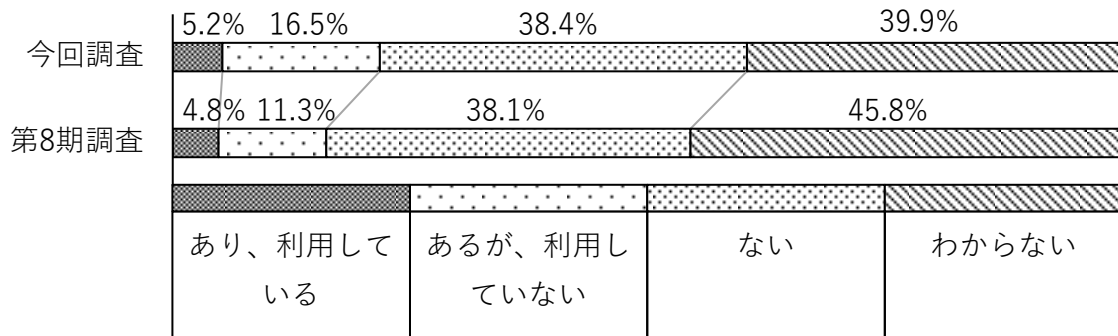
第8期調査と比較すると、「知らない」が4.2ポイント低下する一方、「ケアマネジャーへの支援や指導」は8.0ポイント、「要介護となる恐れのある高齢者を早期発見し、介護予防を行う」は6.4ポイント、「要支援の認定を受けた人、基本チェックリスト該当者の介護予防ケアマネジメントの実施」は6.3ポイント、「生活機能の低下がみられた方(要介護認定の非該当者、基本チェックリスト該当者等)に向けたプログラム(介護予防教室等)の実施・紹介」は5.7ポイント上昇しており、役割の認知は進んでいます。



問43 ご本人（あて名の方）の住んでいる地域には、住民どうしの支え合い活動（サロン活動、ごみ出し・草取りなどの手助け、買い物の付き添いなど）がありますか。また、その活動による手助けを利用していますか。（1つを選択）【N=770、441(第8期調査)】

居住地域の住民どうしの支え合い活動の有無とその手助けの利用状況については、「わからない」が39.9%と最も高く、次いで「ない」が38.4%と続いています。「あり、利用している」は5.2%、「あるが、利用していない」は16.5%となっています。

第8期調査と比較すると、「あるが、利用していない」が5.2ポイント上昇しています。



日常生活圏域別クロス

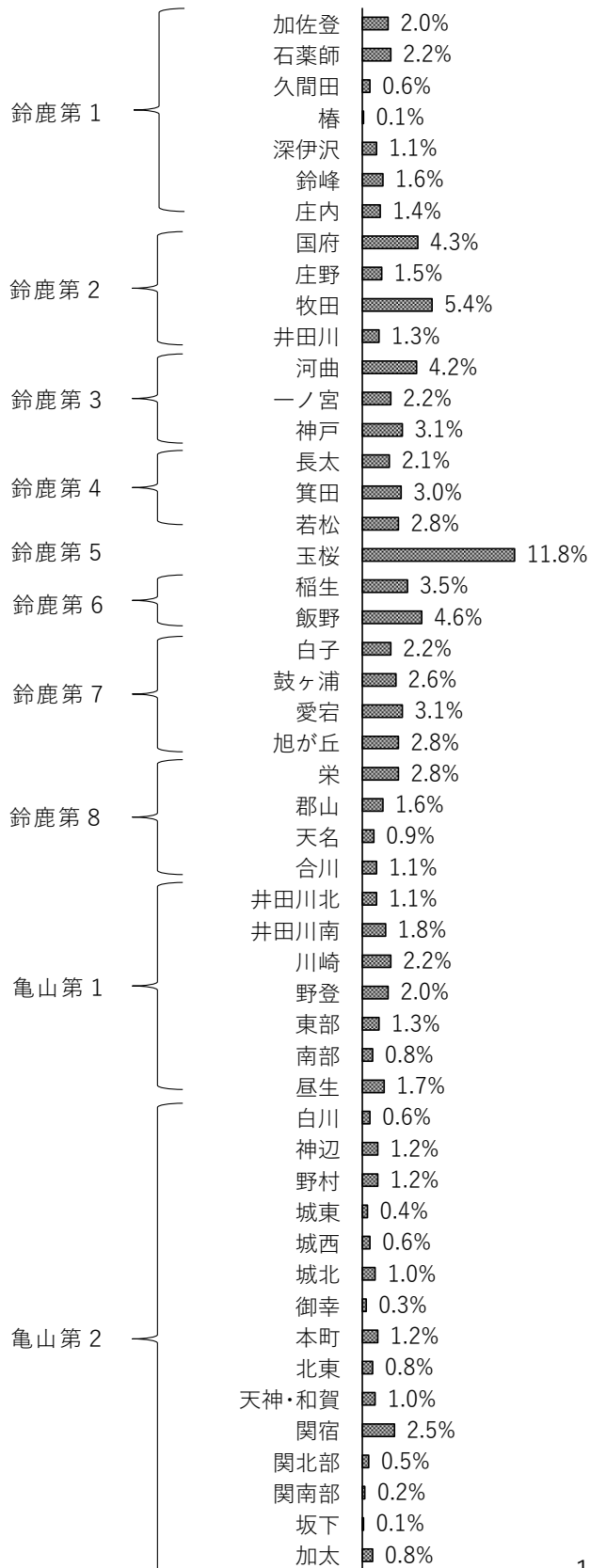
日常生活圏域別にみると、『亀山第2』では「あり、利用している」が11.5%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。一方、『鈴鹿第3』では「ない」が51.5%と、他の日常生活圏域に比べて高くなっています。

	合計	てあり、 利用し	しある が、 ない利 用	ない	わ か ら ない
全体	769	5.2	16.5	38.4	39.9
鈴鹿第1	74	4.1	14.9	47.3	33.8
鈴鹿第2	102	4.9	24.5	34.3	36.3
鈴鹿第3	68	2.9	1.5	51.5	44.1
鈴鹿第4	57	5.3	3.5	43.9	47.4
鈴鹿第5	90	2.2	15.6	35.6	46.7
鈴鹿第6	66	6.1	24.2	30.3	39.4
鈴鹿第7	88	2.3	14.8	43.2	39.8
鈴鹿第8	49	4.1	30.6	26.5	38.8
亀山第1	79	7.6	25.3	35.4	31.6
亀山第2	96	11.5	10.4	35.4	42.7

属性

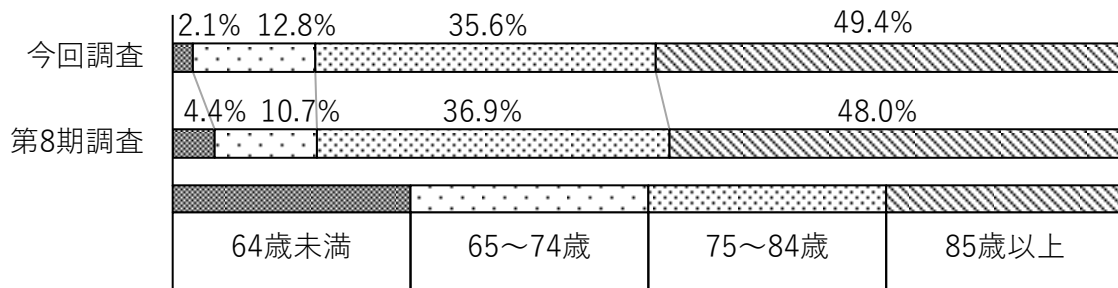
居住地区【N=985】

居住地区については、「玉桜」が11.8%と最も高く、次いで「牧田」(5.4%)、「飯野」(4.6%)と続いています。



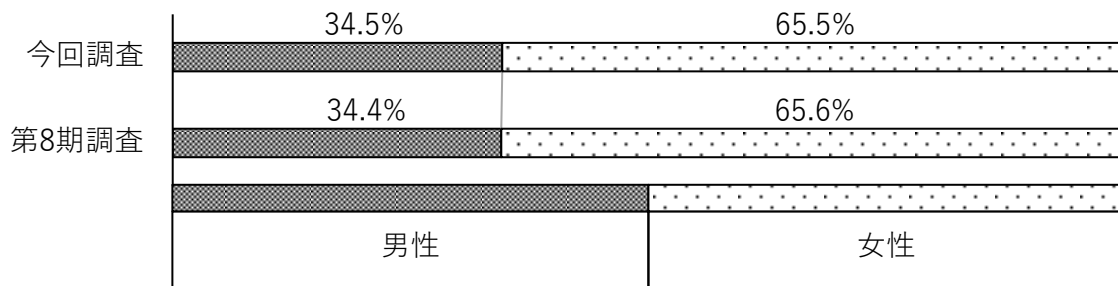
年齢【N=985、569(第8期調査)】

年齢については、「85歳以上」が48.0%と最も高く、次いで「75～84歳」(36.9%)、「65～74歳」(10.7%)と続いています。75歳以上が85.0%を占めています。



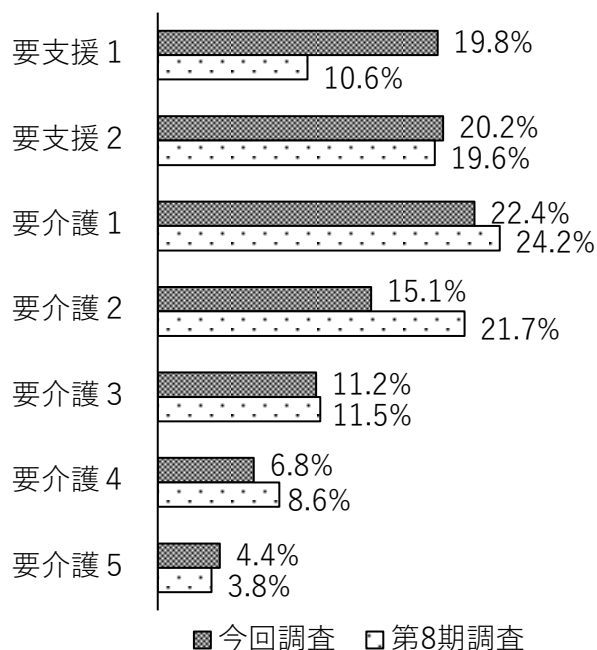
性別【N=985、569(第8期調査)】

性別については、「女性」が65.6%、「男性」が34.4%と、「女性」が「男性」の約2倍となっています。



要介護度【N=979、557(第8期調査)】

要介護度については、「要介護1」が22.4%と最も高く、次いで「要支援2」(20.2%)、「要支援1」(19.8%)と続いています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『64歳未満男性』『65～74歳』の男女では「要支援2」が、『75歳以上』男性と『85歳以上女性』では「要介護1」が、『75～84歳女性』では「要支援1」が最も高くなっています。また、『64歳未満女性』では「要支援2」と「要介護2」が同率で高くなっています。

		合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	全体	335	17.3	18.8	23.9	16.4	12.8	6.9	3.9
	64歳未満	8	-	37.5	25.0	12.5	12.5	-	12.5
	65～74歳	65	16.9	23.1	20.0	13.8	16.9	6.2	3.1
	75～84歳	151	18.5	15.2	21.9	19.9	13.9	5.3	5.3
	85歳以上	111	17.1	19.8	28.8	13.5	9.0	9.9	1.8
女性	全体	644	21.1	21.0	21.6	14.4	10.4	6.8	4.7
	64歳未満	13	7.7	30.8	15.4	30.8	7.7	-	7.7
	65～74歳	61	14.8	26.2	23.0	13.1	9.8	3.3	9.8
	75～84歳	196	30.6	19.9	19.9	11.2	10.2	5.1	3.1
	85歳以上	374	17.6	20.3	22.5	15.8	10.7	8.6	4.5

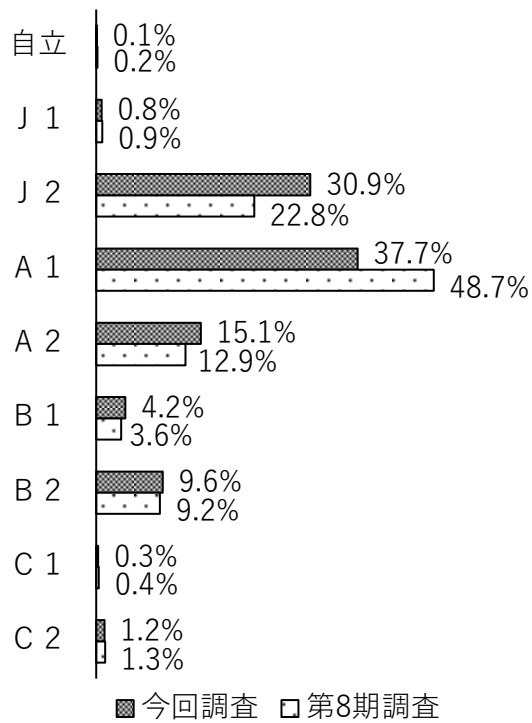
世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』では「要介護1」が、『夫婦のみ世帯』『その他』では「要介護1」が最も高くなっています。

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	848	20.0	20.0	22.5	15.1	11.2	6.8	4.2
単身世帯	288	25.0	20.1	22.6	15.3	8.0	5.2	3.8
夫婦のみ世帯	251	19.5	18.3	22.3	13.9	13.9	7.6	4.4
その他	309	15.9	21.4	22.7	15.9	12.0	7.8	4.5

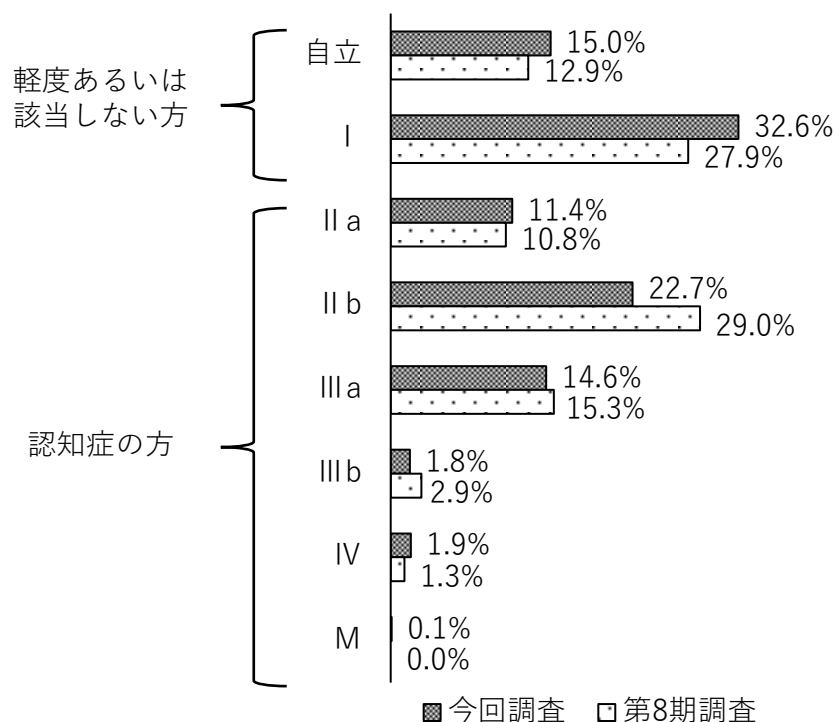
障害自立度【N=906、556(第8期調査)】

障害自立度については、「A1」が37.7%と最も高く、次いで「J2」(30.9%)、「A2」(15.1%)と続いています。



認知症自立度【N=906、556(第8期調査)】

認知症自立度については、「Ⅰ」が32.6%と最も高く、次いで「Ⅱb」(22.7%)、「自立」(15.0%)と続いています。『軽度あるいは該当しない方』が47.6%、『認知症の方』が52.5%となっています。



性・年齢別クロス

性・年齢別にみると、『75歳以上男性』『85歳以上女性』では『認知症の方』が過半数を占めています。

		合計	該 軽 当 度 し あ る い 方 は	認 知 症 の 方
男 性	全体	310	46.8	53.2
	64歳未満	8	62.5	37.5
	65～74歳	58	51.7	48.3
	75～84歳	142	47.9	52.1
	85歳以上	102	41.2	58.8
女 性	全体	596	48.0	52.0
	64歳未満	12	66.7	33.3
	65～74歳	54	53.7	46.3
	75～84歳	183	56.8	43.2
	85歳以上	347	41.8	58.2

世帯類型別クロス

世帯類型別にみると、『単身世帯』『その他』では『認知症の方』が過半数を占めています。

	合 計	該 軽 当 度 し あ る い 方 は	認 知 症 の 方
全体	784	47.6	52.4
単身世帯	269	47.2	52.8
夫婦のみ世帯	230	51.7	48.3
その他	285	44.6	55.4